

---

---

平成20年度  
地域情報プラットフォーム推進事業  
地域活性化分野(移住・交流支援系)

実証実験報告書

---

---

平成21年3月  
株式会社 富士通総研

1. 全体構成の設計の提示	3
1.1 地域活性化分野(移住交流分野)のワンストップサービスの概要	3
1.1.1 移住交流分野の現状と課題	3
(1) 現状	3
①都市生活者の地方移住ニーズの高まり	3
②農山漁村等エリアにおける過疎対策	3
③「長期滞在」、「二地域居住」、「移住・定住」に関するニーズの高まり	3
(2) 課題	3
1.1.2 実証実験の目的（課題の解決に向けて）	4
1.1.3 実証システムのイメージ	5
(1) 実証内容	5
① 移住希望者のニーズ把握・分析	5
② 移住希望者のスムーズ移住に向けた地域生活学習のためのワンストップポータル構築	5
③ ワンストップポータルシステムの構築	6
④モニターツアーの実施によるシステム評価	6
(2) 実証実験の推進と全体評価の実施	6
1.2 次期モデルの提示	7
1.2.1 次期モデルの考え方	7
1.2.2 次期モデルの機能要件例	7
1.3 T O B eモデルの提示	8
1.3.1 T o B eモデルの考え方	8
1.3.2 T o B eモデルの機能要件例	8
2. 全体構成の設計の提示	9
2.1 実証システム基本設計	9
2.1.1 通信情報一覧	9
2.1.2 通信手順	10
2.1.3 システム操作イメージ	16
2.2 実証システム連携設計書	20
2.2.1 機能概要	20
2.2.2 通信構成	23
2.2.3 通信関数	28
2.3 SOAP 通信定義仕様	31
3. 実用化と普及に向けた制度面・運用面における課題の解決策	46
3.1 実用化と普及に向けた制度面・運用面における課題の解決策	46
3.1.1 制度面の具体的な仕組み	46
(1) 利用者情報の通信連携	46
① ワンストップポータルの提供	46
② インターネット市民塾の活用	46
(2) 各地の移住交流関連施策、制度および受け入れを希望する対象の相違	46
① 利用者登録時アンケートの実施	46
② e-ラーニング受講後アンケートの実施	47
③ 現地調査の実施	47
(3) 移住希望者が必要となる情報の整備	48
① 移住者向け移住・交流データ（コンテンツデータ）の提供	48
3.1.2 運用面の具体的な仕組み	49

(1) 地域情報プラットフォームに準拠したワンストップサービス導入のメリット .....	49
① 受け入れ側住民向け移住・交流データ（コンテンツデータ）の提供 .....	50
(2) 各地域のデータ更新頻度の差異により発生する課題 .....	50
① 掲示板、相談支援窓口の設置 .....	50
4. 地域活性化分野でのワンストップサービスの定量的・定性的効果 .....	51
4.1 移住・交流ポータルにおける定量的・定性的効果 .....	51
4.1.1 ポータルサイト利用における定量的効果 .....	51
4.1.2 ポータルサイト上での Web アンケートから見た定量的・定性的評価 .....	53
(1) 利用者属性 .....	53
(2) 受講前アンケート .....	54
(3) 都市住民向けコンテンツデータ受講後アンケート .....	61
(4) 地域住民向けコンテンツデータ受講後アンケート .....	74
4.2 ロジックモデルに沿った評価 .....	76
4.2.1 地域活性化に関する評価 .....	76
4.2.2 地域情報プラットフォームに関する評価 .....	77
4.3 モデル地域へのフィードバックによる成果 .....	78
4.3.1 和歌山県田辺市 .....	78
4.3.2 高知県室戸市 .....	78
4.3.3 鹿児島県薩摩川内市 .....	79
5. 相互接続検証結果の提示 .....	80
5.1 地域活性化分野(地域内外の交流促進) .....	80
5.1.1 検証環境の開発 .....	80
(1) システム構成 .....	80
(2) 環境設定 .....	82
(3) テストデータ .....	90
5.1.2 検証項目および結果 .....	93
(1) スケジュール .....	93
(2) 検証結果 .....	94
6. 実証実験成果に関する普及啓発に係る活動の実施の報告 .....	98
6.1 プロモーション活動 .....	98
6.1.1 イベントにおけるプロモーション .....	98
(1) 「海外ロングステイ・国内デュアルライフフェア 2008」へのブース出展 .....	98
6.1.2 インターネットを活用したプロモーション .....	98
(1) 移住・交流推進機構との協力・連携 .....	98
(2) 財団法人全国地域情報化推進機構との連携 .....	98
(3) オプトインメールの配信 .....	98
(4) NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会等のインターネット市民塾との連携 .....	99
(5) 関連するサイトとのリンク .....	99

## 1. 全体構成の設計の提示

### 1.1 地域活性化分野(移住交流分野)のワンストップサービスの概要

#### 1.1.1 移住交流分野の現状と課題

##### (1) 現状

###### ①都市生活者の地方移住ニーズの高まり

団塊世代の大量退職に伴い、都会を離れて事前豊かな田舎で余生を過ごしたい、というニーズが高まってきている。

###### ②農山漁村等エリアにおける過疎対策

急激な少子高齢化と人口減少、既存産業の衰退・空洞化が進み、新たな人口増加と産業振興施策、地域活性化の知恵・技術等の必要性の増大が求められている。

###### ③「長期滞在」、「二地域居住」、「移住・定住」に関するニーズの高まり

都市生活者の地方移住ニーズの高まり、農山漁村等エリアにおける過疎対策の双方のニーズを解決する施策として、「長期滞在」、「二地域居住」、「移住・定住」等を推進する取り組みが全国の自治体、各省庁等で展開されている。

##### (2) 課題

①地域の生活習慣、コミュニケーション等への不安から、多くの都市住民が実際に移住するまではなかなか進んでいない。

###### 【主な理由】

- ・鮮度の高い情報が入手できない
- ・地域の住民や移住者の生の声が聞きたい
- ・移住に関する相談窓口が明確になっていない。
- ・複数の移住先候補のホームページを渡り歩く必要がある。
- ・各地域には長所短所が必ずあるが、長所のみが誇大表現されている傾向がある。

②受入側の市町村をはじめとして、様々な機関が地域情報を提供しているが、移住等希望の都市住民にとって「どれが最も利用しやすい・分かりやすい情報」なのか分からない。また実際に、現状では「生活していく上で参考になるレベルの情報提供」は全体的に量・質ともに不足している。

###### 【主な理由】

- ・インターネットの文字情報のみでは、現地の本当の状況がつかめない。
- ・移住をテーマとしたサイトは多数存在するが、どれも類似した内容である。
- ・病院、学校などの存在と位置は分かっても、それらの善し悪しがわからない。

③短期的な滞在でのもてなし意識、移住等での受入意識など、多くの受入側の市町村では態勢・認識等が不足している。しかし最近、北海道や長野県などの移住等先進的な地域では、官民連携等による様々な取組みを通じて、受入体制のレベルアップが進んできている。

## 1.1.2 実証実験の目的（課題の解決に向けて）

上記の課題解決に向けて本プロジェクトでは、以下の解決策を仮説として提示した。

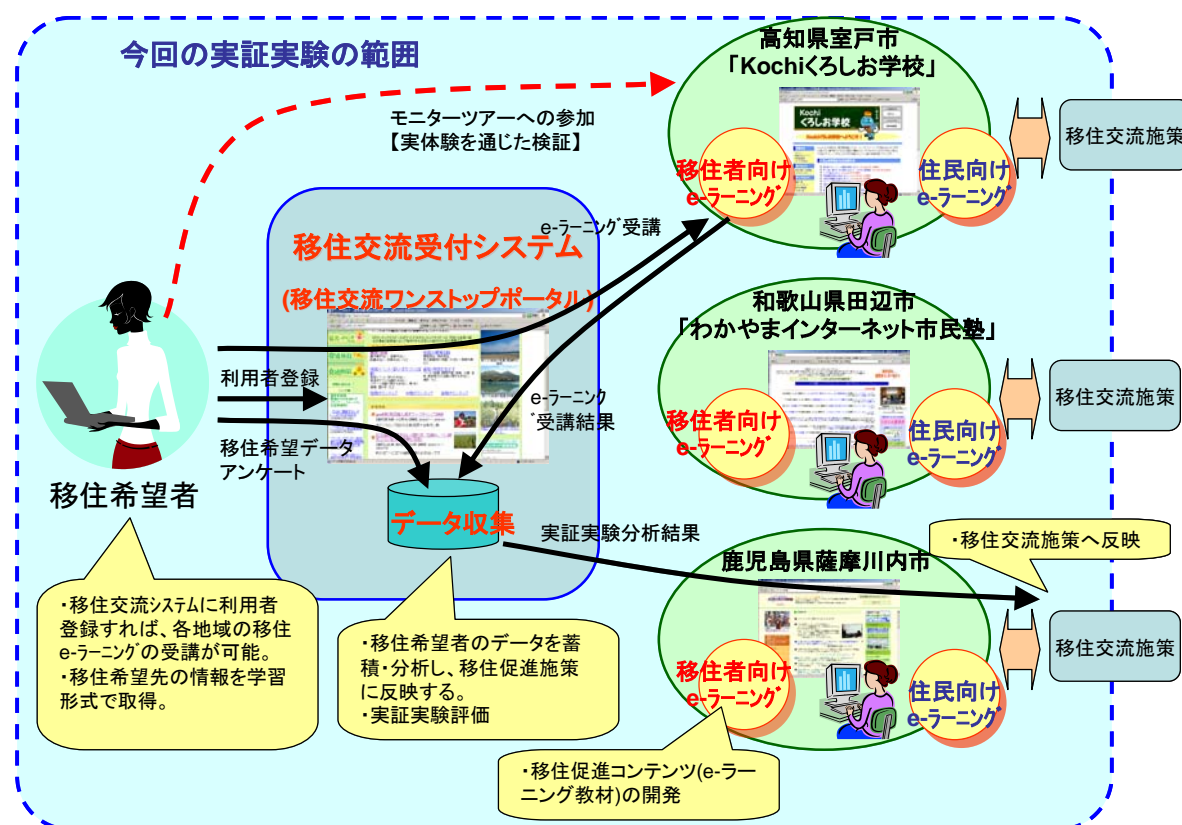
これらの解決策が効果があるかを測定すること、また、実験結果から自治体における今後の移住交流施策に反映すべき項目を抽出することを目的とした。

また、解決策は地域情報プラットフォームの導入によるものを抽出した。

地域の課題	解決策
①都市生活者の田舎暮らしでの困りごとや不安の解消と楽しみ演出	<p>移住希望者のスムーズ移住に向けた地域生活学習のためのワンストップポータル構築</p> <p>ワンストップサービス、認証連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のサイトを渡り歩くことなく、一箇所で必要な複数の情報を取得できる。</li> </ul> <p>システム（サイト）間連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各サイトにログインする必要がない。（SSO）</li> <li>・各地域の状況が比較しやすくなる。</li> </ul> <p>効果的な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習形式や動画による地域の本当の姿を見せることができる。</li> <li>・分かりやすく、楽しみながら情報を取得できる</li> </ul>
②移住等での地域側（受入側）の態勢づくりとレベルアップ	<p>『移住希望者のスムーズ移住に向けた地域生活学習のためのワンストップポータル構築』内 市民向けe-ラーニングシステムとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が移住受入側に対する意識を高める。</li> </ul>
③都市生活者の移住・定住、長期滞在等に対する多様なニーズへの対策	<p>移住希望者のニーズ把握・分析 （将来的に参加地域等の増加に伴う多選択化推進）</p>

### 1.1.3 実証システムのイメージ

移住・交流分野における前述の課題が解決に向けて、ワンストップで学習形式による情報提供の仕組みを構築した。



#### (1) 実証内容

##### ① 移住希望者のニーズ把握・分析

これまでに総務省をはじめとした各省庁等が行ってきた「移住・交流」に関する既存調査資料の分析、地域活性化センター、移住交流推進機構（JOIN）等と連携した移住希望者等への調査等により、移住希望者の「生活関連で必要とする情報」、「生活関連で想定される困りごと」等について詳細に把握した。

また、実証3地域における移住・交流施策の調査と課題を整理と、移住実践者からの意見を採り入れた効果的な情報提供の方式を検討した。

これらの内容は、各地の移住情報に盛り込まれている。

##### ② 移住希望者のスムーズ移住に向けた地域生活学習のためのワンストップポータルの構築

a. 「地域情報プラットフォーム標準仕様書 V2.0」に基づいた移住希望者向け地域生活関連 e-ラーニング仕様の作成

『移住希望者のニーズ把握・分析』により、必要と思われる移住希望者向け地域生活関連情報を整理し、「地域情報プラットフォーム標準仕様書 V2.0」に基づいた e-ラーニング仕様として整理した。

---

**b. 市民向け e-ラーニングシステムでのノウハウの活用**

高知県、富山県、和歌山県等で取組まれている「インターネット市民塾（住民自らがコンテンツ制作する快適な地域生活に向けた e-ラーニングシステム）」の仕組みを利用して、移住希望者は、移住先のさまざまな「生活関連情報」を事前に学ぶこと、地域住民にはスムーズな受け入れに向けた「コミュニティ教育」を実施した。

**③ ワンストップポータルシステムの構築**

実証実験に参加する団体の e-ラーニングシステム、参加地域（自治体）の移住関連情報等を、地域情報プラットフォーム機能により接続し、相互の移住促進を図る。

**④ モニターツアーの実施によるシステム評価**

対象地域の県、地域活性化センター等と連携した移住等を希望するモニターを募集し、各地域に関する事前学習として、移住希望者向け地域生活関連 e-ラーニングを取組んで頂いた。その上で、各地域でのモニターツアーに参加頂き、e-ラーニングの事前学習により「スムーズ」に地域のことを理解し、溶け込みやすかったか、システムの利便性・要望等について聞くアンケート・ヒアリングを実施した。

**(2) 実証実験の推進と全体評価の実施**

実証実験を着実に推進していくために、本事業の関係者等により構成される「スムーズ移住のための学び空間構築プロジェクト推進協議会」を設置・開催し、事業推進に向けた各種検討・調整を行った。また、システムの稼動状況、モニター調査結果等を踏まえて、本システムが移住・定住希望者と地域住民・文化等との交流やスムーズな移住・定住の促進に向けたワンストップサービスになり得るのかについて評価・検証した。

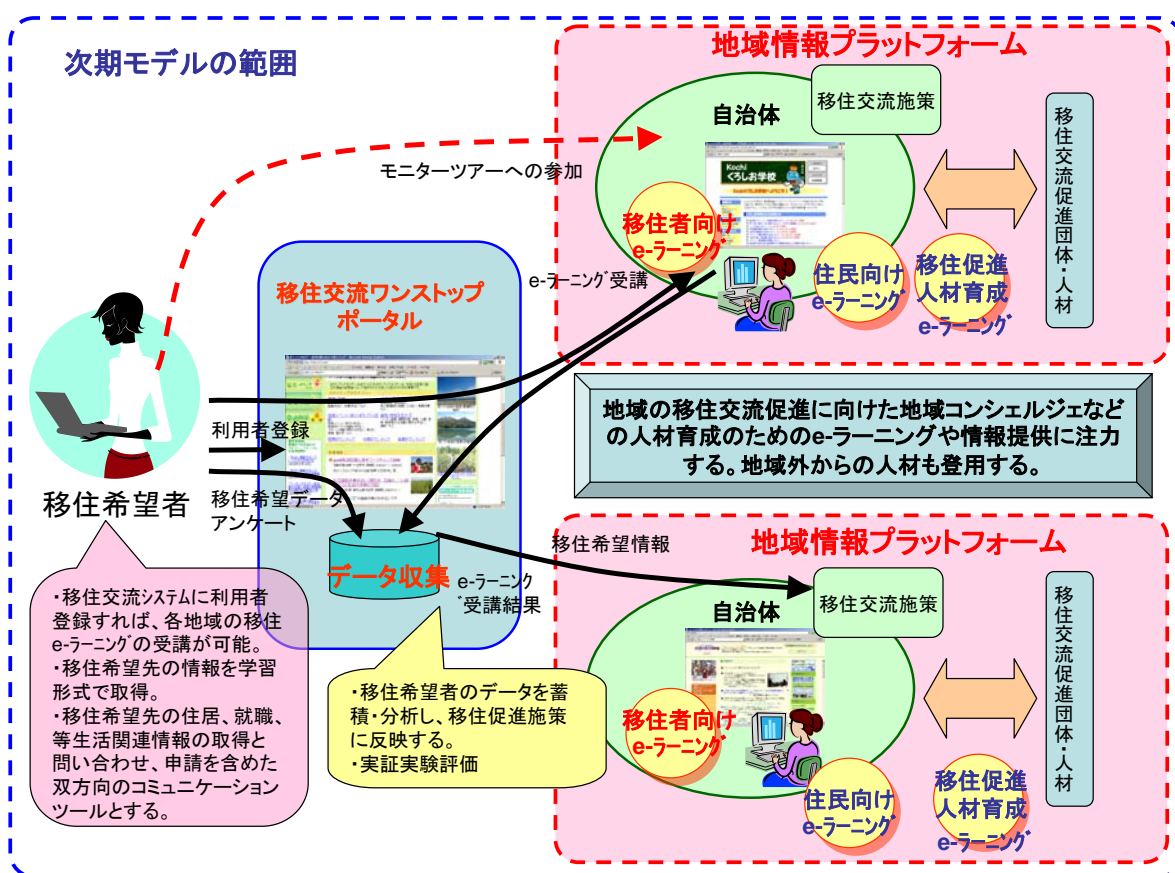
## 1.2 次期モデルの提示

### 1.2.1 次期モデルの考え方

今回の実証実験により、地域の移住交流施策の整備状況は認められたが、単純に人口を増加させ地域を活性化させるだけでなく、テーマを絞った人材を求める必要があることが判明した。

これを実現するためには、地域の人材受入の体制の強化が必要であり、地域コンシェルジュ等の移住を促進する人材や団体を整備し、移住に関する専門的な知見・ノウハウを集中させ移住受入のワンストップ機能を構築する必要がある。

そこで、次期モデルとしては地域の人材育成に焦点をあてたIT活用を目指すこととし、具体的には自治体と連携した人材育成の仕組みをeラーニング形式で構築することである。



### 1.2.2 次期モデルの機能要件例

- 移住促進人材は地域内外から募集ができること
- 地域の移住交流施策が反映された教材であること。
- タイムリーかつ確実に利用者に必要な情報が提供されること
- 自治体と移住交流促進団体とネットワーク接続されていること
- 利用者の個人情報の保護がなされていること
- 高齢者の利用を考慮したユーザビリティを確保すること

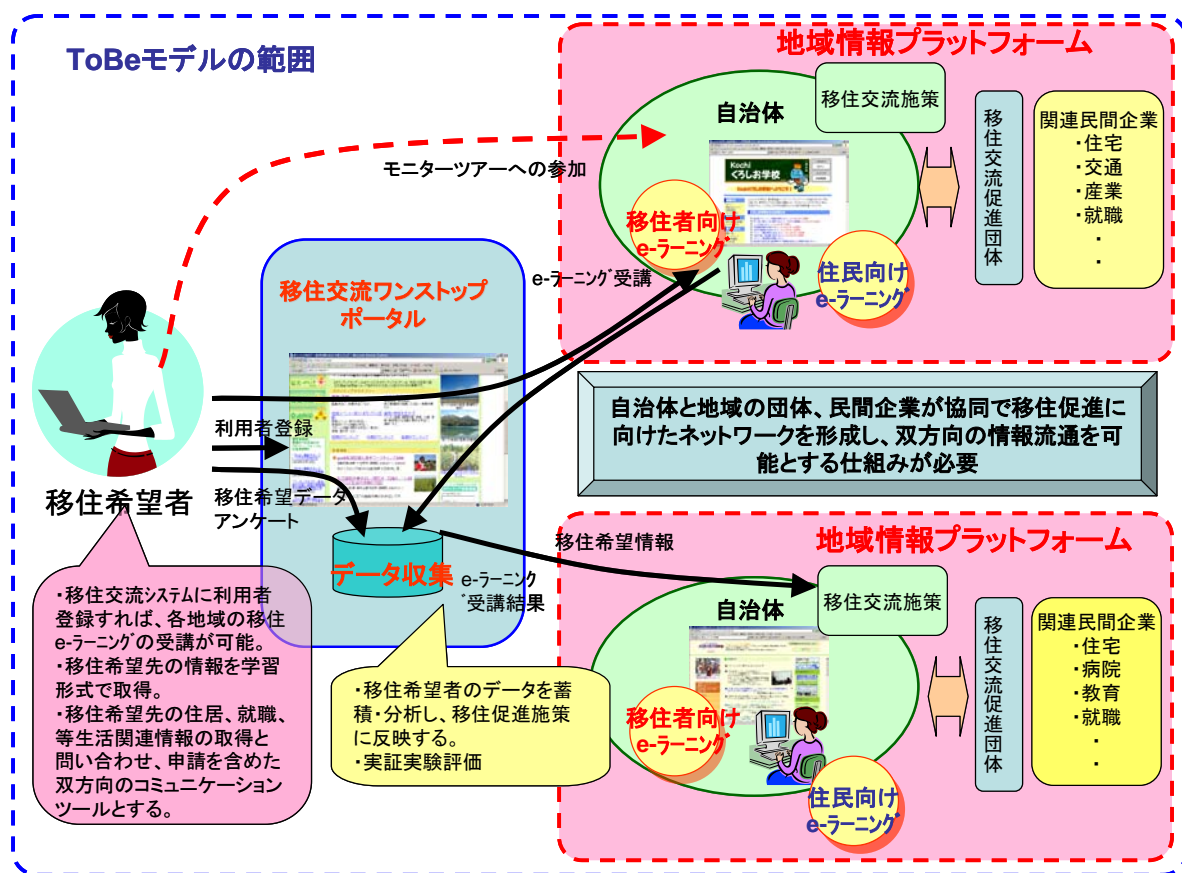
### 1.3 ToBeモデルの提示

#### 1.3.1 ToBeモデルの考え方

次期モデルで整備した移住交流促進団体・人材が移住交流に関するワンストップサービスを実施する。具体的には、地域の民間企業（住宅会社、不動産業者、交通機関、銀行、商工会議所など）をネットワーク接続し、移住希望者が移住に至るまでの様々な支援を行う。住居や就職の手配、斡旋、現地の最新情報の提供を地域ぐるみで実践し、移住希望者の不安を払拭できる体制を整備する。

この際、自治体、移住交流促進団体、民間企業の間で移住希望者のデータをシームレスに連携するため、地域情報プラットフォーム仕様に則した通信を構築する。利用者の個人情報については、サイト間を跨がるセキュリティ対策が必要である。

また、引越しワンストップサービスとの連携も考慮する。



#### 1.3.2 ToBeモデルの機能要件例

次期モデルに加え、以下の機能が必要とされる。

- 安全な官民連携システムを実現する強固なセキュリティ対策が施されていること
- 移住希望者、自治体、移住交流促進団体・人材、民間企業のそれぞれに利用しやすいシステムであること

## 全体構成の設計の提示

### 2.1 実証システム基本設計

#### 2.1.1 通信情報一覧

現システム	対象業務	市民塾 受付頻度 (起動)
0. ログイン情報	受講、アンケート回答	随時 (URL 呼出)
1. 利用者登録情報	会員登録	随時 (デーモン)
	会員情報登録修正	随時 (デーモン)
	退会	随時 (デーモン)
2. 受講情報	(1) 受講履歴情報	受講履歴照会

#### 0. ログイン情報

講座受講 (アンケート回答) に先立ち、市民塾サーバが利用者情報を取得するためメッセージ交換を行う。

#### 1. 利用者登録情報

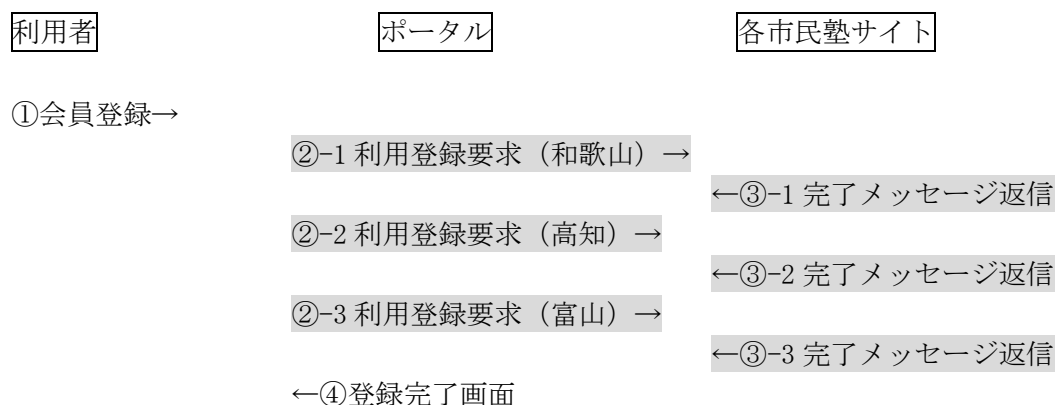
ポータルにて利用登録されたとき、各市民塾サイトにも利用登録するためのメッセージ交換を行う。

#### 2. 受講情報

講座受講情報に関するメッセージ交換を行なう。ポータルの要求にて、各市民塾サイトは、受講履歴情報あるいはアンケート回答結果を送信する。

## 2.1.2 通信手順

### (1) 会員登録の通信手順



#### 概要

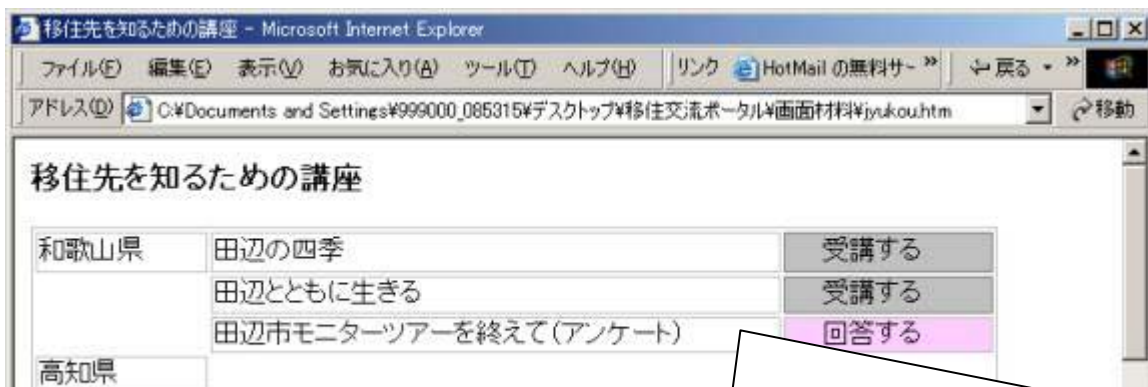
②更新区分（新規、修正、削除）、ユーザーID、パスワード、ニックネーム、メールアドレス、氏名 を送信する

※参考 利用者情報項目 を参照

④市民塾サイトの完了メッセージにより結果を返す

※市民塾サイトの更新結果により受講可能講座を判定する（2. 受講 を参照）

(2) 受講  
講座一覧 (ポータル)



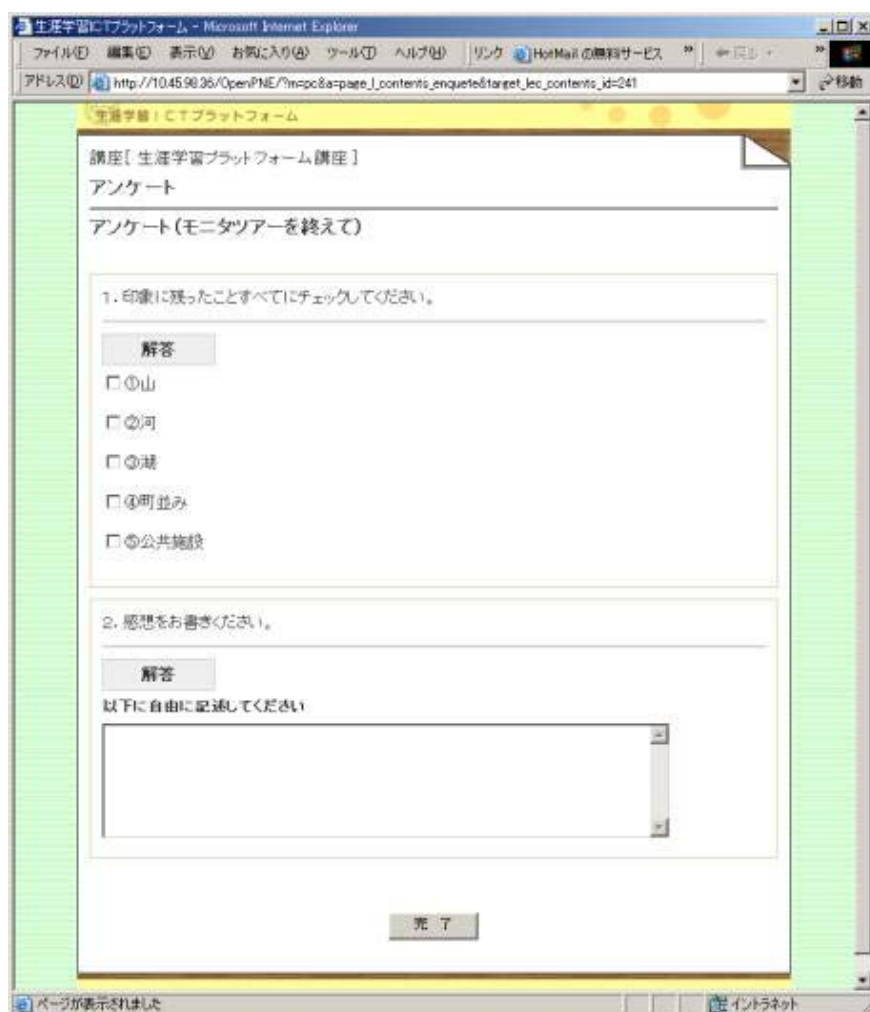
「受講する」「回答する」ページ表示例  
(講座ページアドレス+セッション ID) をリンク  
[http://FQDN/?m=pc&a=page\\_l\\_lecture\\_page&target Lec\\_lecture\\_id=51&sid=482167...](http://FQDN/?m=pc&a=page_l_lecture_page&target Lec_lecture_id=51&sid=482167...)



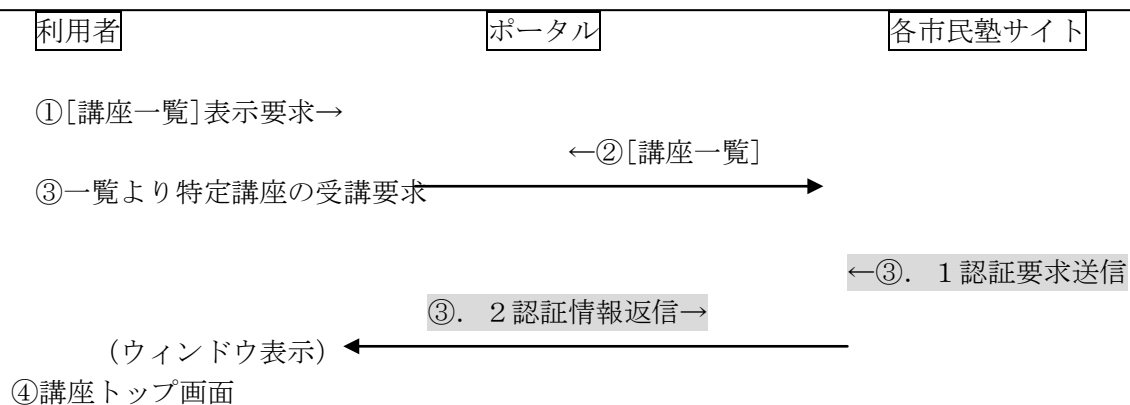
教材一覧より 「学習」 教材ページ表示例



教材一覧より 「アンケート」 教材ページ表示例



## 受講ページ表示までの通信手順



## 概要

- ② 市民塾サイトの URL にセッション ID を付加し、講座一覧を表示
  - ※セッション ID は、ポータルにて利用者毎にユニークコードとして振り出す。
  - ※セッション ID は、URL 直接入力による不正利用防止のため有効期限管理を行なう
- ③. 1 利用者認証ができないとき、セッション ID にて問合せる
- ③. 2 セッション ID に該当する利用者 ID、パスワードをセッション ID とともに返信する

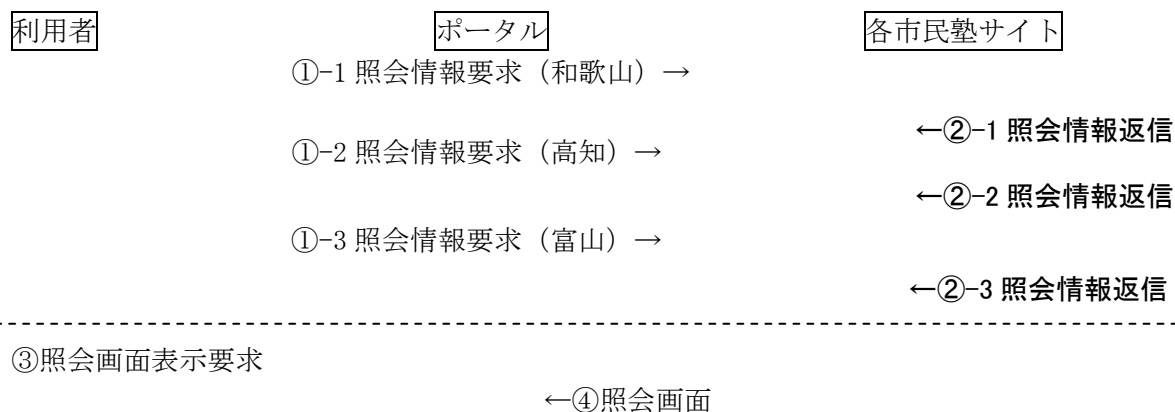
## (3) 講座受講履歴照会

講座受講履歴照会 (ポータル)



学習日	開始時刻	講座名
2009/02/15	10:05	田辺市モニターツアーを終えて(アンケート)
2008/12/10	11:53	田辺の四季
2008/12/10	12:15	田辺とともに生きる

講座受講履歴照会表示までの通信手順



概要

- ① 照会情報を取得するため、ユーザーID、教材区分（学習 o r アンケート）、教材 ID にて問い合わせる
- ② 要求に応じ照会情報を返信する  
 学習教材のとき：（ユーザーID、教材区分、教材 ID、学習年月日、開始時刻、学習年月日、開始時刻、・・・）

### 2.1.3 システム操作イメージ

#### 【ポータルサイト（移住・交流の学び舎）TOP画面】

##### ①会員登録（ログイン）

- ・既存会員の方はログインできます。
- ・会員希望の方は会員登録へ進みます。

##### ②サイトの案内と利用規約

本ポータルサイトのご案内と利用規約を掲載しております。

##### ③関連リンク

移住・交流に役立つ情報サイト、応援自治体等へのリンク集へ進みます。

##### ④お知らせ

新着情報や講座開設等のお知らせを掲示しております。

##### ⑤文字サイズの変更と検索

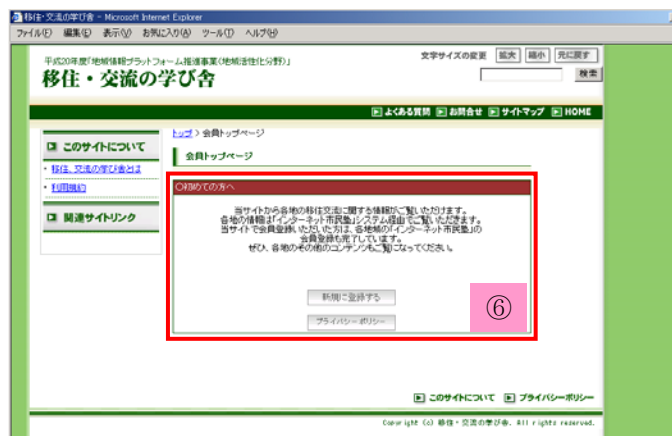
- ・サイト内で表示されている文字サイズ変更が可能です。
- ・文字列検索により講座を検索することが可能です。



#### 【会員登録案内画面】

##### ⑥会員登録の案内

ご案内とプライバシーポリシーを掲載し、新規会員登録に進みます。



【会員情報入力画面】

⑦会員情報入力

会員登録に必要な情報を入力します。また、本サイト通じたPUSH型情報の入手有無を選択することで、手軽に情報を入手できます。

会員登録

あなたの情報を登録して下さい

■ID	[123ABC]	必須 6~12文字の半角英数
■パスワード	[123ABC]	必須 6~12文字の半角英数
■ハンドルネーム	まなびやたろう	必須 ※種別欄などを利用する際に表示される別名
■メールアドレス	xxxxxx@xxxx.xxxxx	必須
■氏名	移住 太郎	必須
■フリガナ	イジュウ タロウ	
■性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性	必須
■住所		
-郵便番号	9999999	(〒1234567(ハイフンなし))
-都道府県	東京都	都道府県を選択 必須
-住所	港区111-1111	必須
■電話番号	011-111-1111	(〒012-3456-7890)
■FAX番号	011-111-1111	(〒012-3456-7890)

【会員情報確認画面】

⑧情報登録ステータス

会員情報の登録状況をステータス表示しています。

会員登録 内容確認

しばらくお待ち下さい...

あなたの情報を確認して下さい

■ID	123ABC
■パスワード	123ABC
■ハンドルネーム	まなびやたろう
■メールアドレス	xxxxxx@xxxx.xxxxx
■氏名	移住 太郎
■フリガナ	イジュウ タロウ
■性別	男性
■住所	
-郵便番号	9999999
-都道府県	東京都
-住所	港区111-1111
■電話番号	011-111-1111
■FAX番号	011-111-1111

⑨登録内容表示

登録した会員情報を表示します。

【会員マイページ画面】

⑩受講前アンケート

講座受講前に移住・交流に対する現時点の考えを回答するアンケートを表示します。

⑪移住希望者むけコンテンツデータ

移住希望者向け講座を表示します。

< 田辺市 >

- ・熊野の自然と暮らす～くらしガイド編
- ・熊野の自然と暮らす～移住者の声編

< 室戸市 >

- ・住みたい町、ご案内します
- ・移住体験者に聞く

< 薩摩川内市 >

- ・薩摩川内市 ご案内します
- ・簡単に暮らすー移住・交流者の声 いりき町ー

⑫受入住民向けコンテンツデータ

受入住民向け講座を表示します。

< 共通 >

- ・移住主を受入れるための心構え

⑬会員情報参照

会員情報に基づく情報を表示します。

- ・受講履歴を表示します。
- ・会員情報を修正、更新できます。



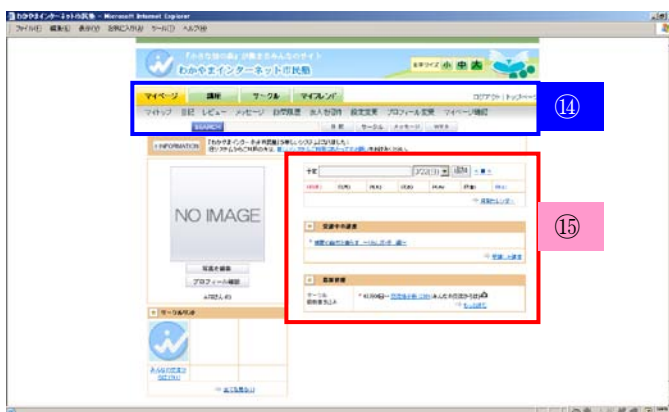
【講座受講画面】

⑭相談窓口メニュー

SNS機能を活用して、講師ならびに自治体窓口へ講座や自治体（移住関連）に関する問合せやサークル・コミュニティ活動へ参加できます。

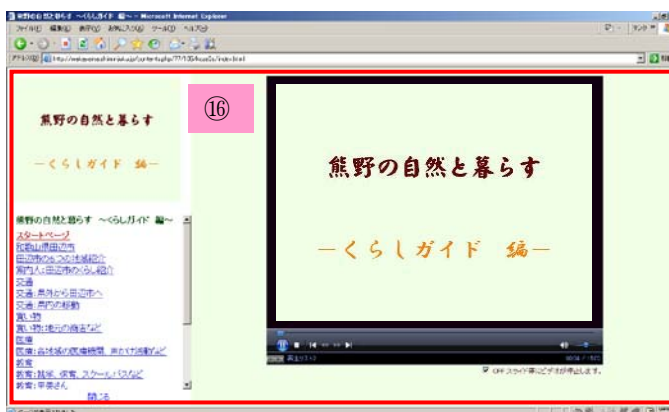
⑮講座体系

ポータルサイトにて選択した講座の体系や章立と併せて、受講後アンケート等を表示します。



⑯講座受講

インデックスと動画形式による講座が表示されます。



【受講履歴参照画面】

⑰受講履歴照会

ポータルサイトを経由し、受講した講座の状況を一元的に表示します。



## 2.2 実証システム連携設計書

### 2.2.1 機能概要

移住交流ポータルシステムにおける市民塾システムの機能について説明する。

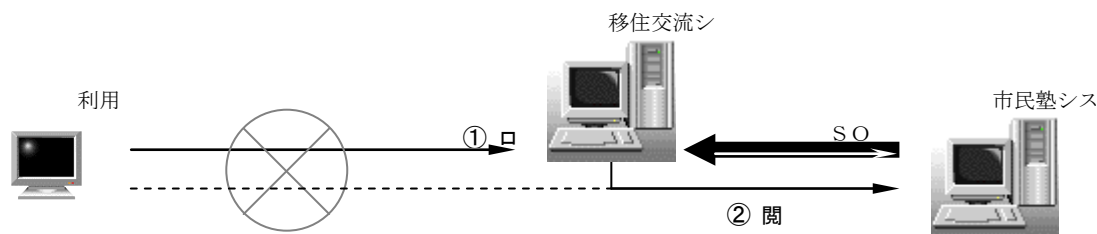
3自治体（和歌山、高知、鹿児島）の市民塾システムを対象とし、移住交流ポータルシステムを窓口としたワンストップサービスの連携を行う。（市民塾システム間の連携は行わない。）

現行の市民塾システムに追加する機能を以下に示す。

- ① SSO（シングルサインオン）による市民塾システムへの利用連携
- ② 移住交流ポータルシステムから利用者（市民塾システム）の登録（修正、退会）
- ③ 移住交流ポータルシステムから講座（市民塾システム）への受講登録
- ④ 移住交流ポータルシステムへの情報提供（受講履歴情報）

#### (1) SSO（シングルサインオン）機能

利用者が移住交流ポータルシステムにログインしてユーザー認証されると、各市民塾サイトの利用者ページをログインすることなく利用できる機能である。



市民塾システムへのリンクは、URLのクエリパラメタに「sid=xxxxxxx」を加える。  
xxxxxxx は、移住交流ポータルシステムで管理する一意の値とする。

ポータルマイページから、講座を選択する際、「講座ページ」をリンクする。

ページ	URL
マイページ	http://市民塾サイト/?m=pc&a=page_h_home&sid=xxxxxxx
講座ページ	http://市民塾サイト/?m=pc&a=page_l_lecture_page&target Lec_lecture_id=講座番号 &sid=xxxxxxx
教材ページ ※	http://市民塾サイト/?m=pc&a=page_l_contents_教材種別名 &target Lec_contents_id=教材番号&sid=xxxxxxx
受講状況ページ ※	http://市民塾サイト/?m=pc&a=page_l_state_member_contents &target_base_grades_time=1&target Lec_lecture_id=講座番号 &target Lec_contents_id=教材番号&sid=xxxxxxx
掲示板（講座）ページ	http://市民塾サイト/?m=pc&a=page_l_bbs_detail &target Lec_lecture_topic_id=掲示板番号

※ 情報配信機能によりURL（sidを除く）を通知

移住交流ポータルシステムでユーザー認証が行われているかは、sidをキーとしてSOAP通信により情報を取得し判断する。

なお、市民塾システム側で既にユーザー認証が行われているようであれば、移住交流ポータル

システム側でのユーザー認証の確認は行わない。

ログアウトについて

移住交流ポータルシステムでログアウトしても、各市民塾サイトはログアウトされない。(各市民塾サイトでログアウト、もしくは、ブラウザを閉じる操作が必要である。)

(2) 利用登録連携

移住交流ポータルシステムに登録(修正、退会)した利用者情報は、3自治体(和歌山、高知、鹿児島)の市民塾システムに反映する。



利用者が移住交流システムに送った情報は、SOAP通信により各市民塾システムに通知し、それぞれに登録(修正、削除)される。

ポータルでのユーザーIDは6~12文字(半角英数字)にする。

登録時に市民塾システムで設定される利用者情報を以下に示す。

項目名	入力値	設定値	和歌山	高知	鹿児島
ユーザーID	○	'\$'+入力値	○	○	○
パスワード	○		○	○	○
メールアドレス	○		○	○	○
ニックネーム	○		○	○	○
ディリー・ニュース		受け取らない	○	○	○
週間カレンダー		日曜始まり	○	○	○
メール受信設定		受け取らない	○	○	○
訪問履歴お知らせメール		受け取らない	○	○	○
メールマガジン受信設定		受け取らない	○	○	○
日記公開範囲		公開しない	○	○	○
忍び足モード		訪問履歴を残さない	○	○	○

移住交流ポータルシステムと連携しない利用者のユーザーIDとの重複を避けるため、先頭に'\$'を加えて登録する。

(市民塾システムの利用者登録操作ではユーザーIDに記号を許していない)

削除時の対象項目を以下に示す。

- ・利用者登録情報
  - ユーザーID、パスワード、メールアドレス、ニックネームなど利用者が登録した個人情報の削除
- ・講座受講情報
  - 受講中の状態を強制取消に設定
- ・サークル情報
  - 削除対象者が作成した掲示板(コメント、画像、添付ファイルを含む)の削除(他人が作成した掲示板にコメントした記事は削除されない)

サークル管理者であれば管理者を交代（サークルメンバーで一番古い人）  
 サークルメンバーがいなくなる場合には、サークルを削除

・ 日記

日記に投稿した記事（コメント、画像を含む）を削除（他人の日記にコメントした記事は削除されない）

・ その他

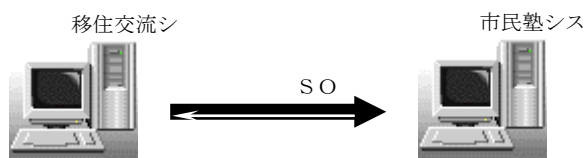
スケジュールの削除

レビュー（メンバーの声、講座応援メッセージ）の削除

マイフレンドの削除（相手側を含む）

(3) 受講登録

移住交流ポータルシステムからの受講要求に対して、市民塾システムの講座を受講状態とする。



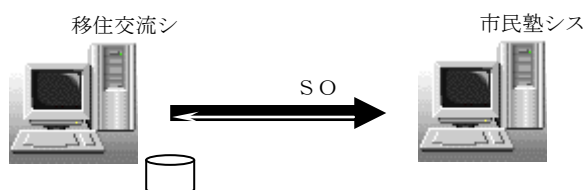
指定された利用者（ユーザーID）を、指定された講座（講座番号）に受講登録する。  
 （移住交流ポータルシステムで講座番号を管理しておく必要がある）

■ 利用者の新規登録時の受講登録要求

新たに登録した利用者に、移住交流ポータルシステム管理下の全ての講座への受講登録を要求する。

(4) 情報提供

移住交流ポータルシステムからの要求に対する情報を通知する。



■ 受講者履歴情報

市民塾システムの教材一覧（講師用講座ページ → 教材管理）の相対番号（1を基点）、ユーザーIDをキーとして教材の受講履歴情報を通知する。

（移住交流ポータルシステムで教材一覧と同様の情報を管理しておく必要がある）

## 2.2.2 通信構成

移住交流ポータルシステム（VC#.NET）と市民塾システム間（PHP）のSOAP通信の構成について説明する。

SOAP通信では、市民塾システムより要求するクライアント型構成と、市民塾システムが要求を受けて情報を配信するサーバー型構成の仕組みを備える。

### (1) クライアント型構成

SSO（シングルサインオン）機能で用いる構成で、SOAP通信サービスを定義するファイル、SOAP関数の実態は移住交流ポータルシステムに配置する。（市民塾システムから呼び出す関数）

定義ファイル

```
http://移住交流ポータルサイト/soap.wsdl
```

SOAPサービス

```
http://移住交流ポータルサイト/soap.asmx
```

クライアント型構成での組み込み例を以下に示す。

### 要求側（市民塾システム）

```
<?php
$obj = new SoapClient("http://移住交流ポータルサイト/soap.wsdl");
$rtn = $obj->SoapFunction(array('prm' => '1234'));
echo $rtn->SoapFunctionResult;
?>
```

### soap.asmx.cs（移住交流ポータルシステム）

```
using System;
using System.Collections;
using System.ComponentModel;
using System.Data;
using System.Diagnostics;
using System.Web;
using System.Web.Services;

[WebService(Namespace="http://移住交流ポータルサイト/")]
public class Service1 : System.Web.Services.WebService
{
    public Service1()
    {
        InitializeComponent();
    }
    コンポーネント デザイナで生成されたコード
    [WebMethod]
    public string SoapFunction(string prm)
    {
        return "$" + prm;
    }
}
```

## soap.wsdl (移住交流ポータルシステム)

```

    <?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
    <wsdl:definitions
      xmlns:http="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/http/"
      xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
      xmlns:s="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
      xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
      xmlns:tns="http://移住交流ポータルサイト/"
      xmlns:tm="http://microsoft.com/wsdl/mime/textMatching/"
      xmlns:mime="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/mime/"
      targetNamespace="http://移住交流ポータルサイト/"
      xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
      <wsdl:types>
        <s:schema elementFormDefault="qualified"
          targetNamespace="http://移住交流ポータルサイト/">
          <s:element name="SoapFunction">
            <s:complexType>
              <s:sequence>
                <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="prm" type="s:string" />
              </s:sequence>
            </s:complexType>
          </s:element>
          <s:element name="SoapFunctionResponse">
            <s:complexType>
              <s:sequence>
                <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="SoapFunctionResult" type="s:string" />
              </s:sequence>
            </s:complexType>
          </s:element>
        </s:schema>
      </wsdl:types>
      <wsdl:message name="SoapFunctionSoapIn">
        <wsdl:part name="parameters" element="tns:SoapFunction" />
      </wsdl:message>
      <wsdl:message name="SoapFunctionSoapOut">
        <wsdl:part name="parameters" element="tns:SoapFunctionResponse" />
      </wsdl:message>
      <wsdl:portType name="ServiceSoap">
        <wsdl:operation name="SoapFunction">
          <wsdl:input message="tns:SoapFunctionSoapIn" />
          <wsdl:output message="tns:SoapFunctionSoapOut" />
        </wsdl:operation>
      </wsdl:portType>
      <wsdl:binding name="ServiceSoap" type="tns:ServiceSoap">
        <soap:binding transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" style="document" />
        <wsdl:operation name="SoapFunction">
          <soap:operation soapAction="http://移住交流ポータルサイト/SoapFunction"
            style="document" />
          <wsdl:input>
            <soap:body use="literal" />
          </wsdl:input>
          <wsdl:output>
            <soap:body use="literal" />
          </wsdl:output>
        </wsdl:operation>
      </wsdl:binding>
      <wsdl:service name="Service">
        <wsdl:port name="ServiceSoap" binding="tns:ServiceSoap">
          <soap:address location="http://移住交流ポータルサイト/soap.asmx" />
        </wsdl:port>
      </wsdl:service>
    </wsdl:definitions>
  
```

## (2) サーバー型構成

利用者登録連携機能、受講登録機能、情報提供機能で用いる構成で、SOAP通信サービスを定義するファイル、SOAP関数の実態は市民塾システムに配置する。(市民塾システムで提供する関数)

定義ファイル

```
http://市民塾サイト/soap.wsdl
```

SOAPサービス

```
http://市民塾サイト/SoapServer.php
```

サーバー型構成での組み込み例を以下に示す。

## SoapServer.php (市民塾システム)

```
<?php
    $options = array(
        "encoding" => "UTF-8",
        "soap_version" => SOAP_1_2,
    );

    class SoapClass {
        function SoapFunction($key) {
            return array('SoapFunctionResult' => '$' . $key->prm);
        }
    }

    $server = new SoapServer("http://市民塾サイト/soap.wsdl", $options);
    $server->setClass("SoapClass");
    $server->handle();
?>
```

## 要求側（移住交流ポータルシステム）

```
using System;

static void Main(string[] args)
{
    string rtn;
    WebReference.SoapService obj = new WebReference.SoapService();
    rtn = obj.SoapFunction("1234");
    Console.WriteLine(rtn);
}

namespace WebReference
{
    using System.Diagnostics;
    using System.Xml.Serialization;
    using System;
    using System.Web.Services.Protocols;
    using System.ComponentModel;
    using System.Web.Services;

    [System.Diagnostics.DebuggerStepThroughAttribute()]
    [System.ComponentModel.DesignerCategoryAttribute("code")]
    [System.Web.Services.WebServiceBindingAttribute(
        Name="ServiceSoap", Namespace="http://市民塾サイト/")]
    public class SoapService : System.Web.Services.Protocols.SoapHttpClientProtocol
    {
        public SoapService()
        {
            this.Url = "http://市民塾サイト/SoapServer.php";
            this.Proxy = new System.Net.WebProxy();
        }

        [System.Web.Services.Protocols.SoapDocumentMethodAttribute(
            "http://市民塾サイト/SoapFunction",
            RequestNamespace="http://市民塾サイト/",
            ResponseNamespace="http://市民塾サイト/",
            Use=System.Web.Services.Description.SoapBindingUse.Literal,
            ParameterStyle=System.Web.Services.Protocols.SoapParameterStyle.Wrapped)]
        public string SoapFunction(string prm)
        {
            object[] results = this.Invoke("SoapFunction", new object[] {prm});
            return ((string) (results[0]));
        }

        public System.IAsyncResult BeginSoapFunction(
            string prm, System.AsyncCallback callback, object asyncState)
        {
            return this.BeginInvoke("SoapFunction", new object[] {prm}, callback,
asyncState);
        }

        public string EndSoapFunction(System.IAsyncResult asyncResult)
        {
            object[] results = this.EndInvoke(asyncResult);
            return ((string) (results[0]));
        }
    }
}
```

## soap.wsdl (市民塾システム)

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<wsdl:definitions
xmlns:http="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/http/"
xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns:s="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
xmlns:tns="http://市民塾サイト/"
xmlns:tm="http://microsoft.com/wsdl/mime/textMatching/"
xmlns:mime="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/mime/"
targetNamespace="http://市民塾サイト/"
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  <wsdl:types>
    <s:schema elementFormDefault="qualified"
      targetNamespace="http://市民塾サイト/">
      <s:element name="SoapFunction">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="prm" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="SoapFunctionResponse">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="SoapFunctionResult" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
    </s:schema>
  </wsdl:types>
  <wsdl:message name="SoapFunctionSoapIn">
    <wsdl:part name="parameters" element="tns:SoapFunction" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="SoapFunctionSoapOut">
    <wsdl:part name="parameters" element="tns:SoapFunctionResponse" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:portType name="ServiceSoap">
    <wsdl:operation name="SoapFunction">
      <wsdl:input message="tns:SoapFunctionSoapIn" />
      <wsdl:output message="tns:SoapFunctionSoapOut" />
    </wsdl:operation>
  </wsdl:portType>
  <wsdl:binding name="ServiceSoap" type="tns:ServiceSoap">
    <soap:binding transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" style="document" />
    <wsdl:operation name="SoapFunction">
      <soap:operation soapAction="http://市民塾サイト/SoapFunction"
        style="document" />
      <wsdl:input>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
  </wsdl:binding>
  <wsdl:service name="Service">
    <wsdl:port name="ServiceSoap" binding="tns:ServiceSoap">
      <soap:address location="http://市民塾サイト/SoapServer.asmx" />
    </wsdl:port>
  </wsdl:service>
</wsdl:definitions>
```

## 2.2.3 通信関数

移住交流ポータルシステムと市民塾システム間の通信関数について説明する。

## 関数一覧

対象機能	関数名	概要
SSO (シングルサインオン) 機能	GetUserKey	認証情報通知
利用者登録連携機能	CheckUserID	ユーザーID検証
	InsertUserInfo	利用者情報登録
	UpdateUserInfo	利用者情報変更
	DeleteUserInfo	利用者情報削除
受講登録機能	SetLectureAttend	受講登録
情報提供機能	GetAttendHistory	受講履歴情報取得

※ 関数で扱うユーザーIDには、先頭に '\$' を付けないで引渡しを行う。

## 【 GetUserKey 】 認証情報通知

キー値によりユーザーIDを取得する。

rtn = GetUserKey(key)

key: 移住交流ポータルシステムから受け取った一意の値

rtn: ユーザーIDを通知する。

## 【 CheckUserID 】 ユーザーID検証

ユーザーIDの重複を検証する。

rtn = CheckUserID(uid)

uid: ユーザーID

rtn: 検証結果を通知する。

0 : 重複なし

-1 : 重複あり

-9 : システムエラー

**【 InsertUserInfo 】 利用者情報登録**

利用者情報を新規に登録する。

```
rtn = InsertUserInfo(inf)
```

inf : カンマ区切りで以下の登録情報を指定する。

ユーザー I D, パスワード, メールアドレス, ニックネーム
----------------------------------

rtn : 登録結果を通知する。

- 0 : 正常終了
- 1 : ユーザー I D の重複あり
- 9 : システムエラー

**【 UpdateUserInfo 】 利用者情報変更**

利用者情報を変更する。

```
rtn = UpdateUserInfo(uid, inf)
```

uid : 変更前のユーザー I D

inf : カンマ区切りで以下の登録情報を指定する。

ユーザー I D, パスワード, メールアドレス, ニックネーム
----------------------------------

rtn : 登録結果を通知する。

- 0 : 正常終了
- 1 : 該当するユーザー I D がない
- 9 : システムエラー

**【 DeleteUserInfo 】 利用者情報削除**

利用者情報を削除する。

```
rtn = DeleteUserInfo(uid)
```

uid : ユーザー I D

rtn : 削除結果を通知する。

- 0 : 正常終了
- 1 : 該当するユーザー I D がない
- 9 : システムエラー

**【 SetLectureAttend 】 受講登録**

講座に利用者を追加する。

rtn = SetLectureAttend(uid, lno)

uid : ユーザー I D

lno : 講座番号

rtn : 登録状態を通知する。

- 0 : 正常終了
- 1 : 該当するユーザー I D がない
- 2 : 登録済み
- 9 : システムエラー

市民塾システム側で各講座へ利用者を自動割当するため、利用者登録時に、この電文も渡す。

**【 GetAttendHistory 】 受講履歴情報取得**

ユーザー I D と教材番号 (教材一覧の相対番号) より受講履歴情報を通知する。

rtn = GetAttendHistory(uid, lno, cno)

uid : ユーザー I D

lno : 講座番号

cno : 教材番号

rtn : カンマ区切りで以下の受講履歴情報を通知する。

情報の取得に失敗した場合は NULL を通知する。

ユーザー I D, 教材 I D, 教材区分, 教材名, 教材 URL, 受講状況 URL, 学習日時

■ 教材区分

- normal, web : WEBテキスト (HTML ページ)
- test : テスト教材
- enquete : アンケート
- report : レポート
- forum : フォーラム
- none : 見出し (未設定)

■ 教材 URL

教材ページの URL

■ 受講状況 URL

利用者 (ユーザー I D) に対する教材 (教材 I D) の学習状況ページの URL

■ 学習日時

yyyy/mm/dd HH:MM 形式で、複数回受講している場合は、カンマで区切って設定する。  
未受講の場合は値を設定しない。

## 2.3 SOAP 通信定義仕様

### 2.3.1 クライアント型WEBサービス

市民塾システムより、移住交流ポータルシステムのSOAP関数を呼び出す。



以下のURLより、市民塾システムから移住交流ポータルシステムの GetUserKey 関数を呼び出し、処理結果を表示する。

URL

http://市民塾サイト/SoapClient.php?sid=キー

#### 【 市民塾システム 】

##### ■ WEB構成

SoapClient.php	実行URL
----------------	-------

#### 【 移住交流ポータルシステム 】

##### ■ WEB構成

Web.config	WEBサービス定義ファイル
Global.asax	WEBサービス基本動作インターフェース
soap.wsdl	SOAP定義ファイル
PortalService.asmx	SOAP関数インターフェース
bin / PortalService.dll	SOAP関数DLL (実態)

##### ■ プログラム構成

Global.asax.cs	WEBサービス基本動作
PortalService.asmx.cs	SOAP関数
参照設定	System System.Data System.Web System.Web.Services System.XML

## SoapClient.php

```
<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
<title>SOAP関数</title>
</head>
<body>
<?php
////////////////////////////////////
$obj = new SoapClient("http://移住交流ポータルサイト/soap.wsdl ");
$key = $_GET['sid'];
$rtn = $obj->GetUserKey(array('key' => $key);
echo ' GetUserKey = ' . $rtn->SoapFunctionResult . chr(10);
////////////////////////////////////
?>
</body>
</html>
```

## PortalService.asmx.cs

```
using System;
using System.Collections;
using System.ComponentModel;
using System.Data;
using System.Diagnostics;
using System.Web;
using System.Web.Services;

[WebService(Namespace="http://移住交流ポータルサイト/")]
public class PortalService : System.Web.Services.WebService
{
    public PortalService()
    {
        InitializeComponent();
    }
    コンポーネント デザイナで生成されたコード
    [WebMethod]
    public string GetUserKey(string key)
    {
        return ログインID;
    }
}
```

## soap.wsdl

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<wsdl:definitions
  xmlns:http="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/http/"
  xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
  xmlns:s="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
  xmlns:tns="http://移住交流ポータルサイト/"
  xmlns:tm="http://microsoft.com/wsdl/mime/textMatching/"
  xmlns:mime="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/mime/"
  targetNamespace="http://移住交流ポータルサイト/"
  xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">
  <wsdl:types>
    <s:schema elementFormDefault="qualified"
      targetNamespace="http://移住交流ポータルサイト/">
      <s:element name="GetUserKey">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="key" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="GetUserKeyResponse">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="GetUserKeyResult" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
    </s:schema>
  </wsdl:types>
  <wsdl:message name="GetUserKeySoapIn">
    <wsdl:part name="parameters" element="tns:GetUserKey" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:message name="GetUserKeySoapOut">
    <wsdl:part name="parameters" element="tns:GetUserKeyResponse" />
  </wsdl:message>
  <wsdl:portType name="PortalServiceSoap">
    <wsdl:operation name="GetUserKey">
      <wsdl:input message="tns:GetUserKeySoapIn" />
      <wsdl:output message="tns:GetUserKeySoapOut" />
    </wsdl:operation>
  </wsdl:portType>
  <wsdl:binding name="PortalServiceSoap" type="tns:PortalServiceSoap">
    <soap:binding transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" style="document" />
    <wsdl:operation name="GetUserKey">
      <soap:operation
        soapAction="http://移住交流ポータルサイト/GetUserKey" style="document" />
      <wsdl:input>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:input>
      <wsdl:output>
        <soap:body use="literal" />
      </wsdl:output>
    </wsdl:operation>
  </wsdl:binding>
  <wsdl:service name="PortalService">
    <wsdl:port name="PortalServiceSoap" binding="tns:PortalServiceSoap">
      <soap:address location="http://移住交流ポータルサイト/PortalService.asmx" />
    </wsdl:port>
  </wsdl:service>
</wsdl:definitions>

```

### 2.3.2 サーバー型WEBサービス

移住交流ポータルシステムより、市民塾システムのSOAP関数を呼び出す。



DOSプロンプトより以下のコマンドを実行することにより、市民塾システムのSOAP関数を呼び出し、処理結果を表示する。

コマンド

PortalServer.exe **関数番号** **パラメタ**

関数番号：呼び出すSOAP関数の番号を指定する。

- 1 CheckUserID 関数
- 2 InsertUserInfo 関数
- 3 UpdateUserInfo 関数
- 4 DeleteUserInfo 関数
- 5 SetLectureAttend 関数
- 6 GetAttendHistory 関数

パラメタ：呼び出すSOAP関数のパラメタを指定する。パラメタが複数存在する場合には、空白で区切り指定する。

#### 【 市民塾システム 】

##### ■ WEB構成

soap.wsdl	SOAP定義ファイル
SoapServer.php	SOAP関数インターフェース

#### 【 移住交流ポータルシステム 】

##### ■ 実行モジュール

PortalServer.exe	実行モジュール
------------------	---------

##### ■ プログラム構成

SoapCommand.cs	コマンドインターフェース (実態)
SoapService.cs	SOAP関数インターフェース
<b>参照設定</b>	System System. Data System. Web System. Web. Services System. XML

## SoapServer.php

```
<?php
////////////////////////////////////
$options = array('encoding' => 'UTF-8', 'soap_version' => SOAP_1_2);
$server = new SoapServer('http://市民塾サイト/soap.wsdl', $options);
$server->setClass('SoapClass');
$server->handle();
////////////////////////////////////
class SoapClass {
    function CheckUserID($arg) {
        $uid = '$' . trim($arg->uid);
        return array('CheckUserIDResult' => (string) $this->_CheckUserID($uid));
    }
    function InsertUserInfo($arg) {
        $ary = split(',', $arg->inf);
        $uid = '$' . trim($ary[0]);
        $pwd = trim($ary[1]);
        $seml = trim($ary[2]);
        $snck = trim($ary[3]);
        return array('InsertUserInfoResult' => (string) $this->_InsertUserInfo($uid, $pwd, $seml,
$snck));
    }
    function UpdateUserInfo($prm) {
        $uid = '$' . trim($arg->uid);
        $ary = split(',', $arg->inf);
        $nid = '$' . trim($ary[0]);
        $pwd = trim($ary[1]);
        $seml = trim($ary[2]);
        $snck = trim($ary[3]);
        return array('UpdateUserInfoResult' =>
(string) $this->_UpdateUserInfo($uid, $nid, $pwd, $seml, $snck));
    }
    function DeleteUserInfo($prm) {
        $uid = '$' . trim($arg->uid);
        return array('DeleteUserInfoResult' => (string) $obj->_DeleteUserInfo($uid));
    }
    function SetLectureAttend($prm) {
        $uid = '$' . trim($arg->uid);
        $lno = trim($arg->lno);
        return array('SetLectureAttendResult' => (string) $obj->_SetLectureAttend($uid, $lno));
    }
    function GetAttendHistory($prm) {
        $uid = '$' . trim($arg->uid);
        $lno = trim($arg->lno);
        $cno = trim($arg->cno);
        return array('GetAttendHistoryResult' => (string) $obj->_GetAttendHistory($uid, $lno, $cno));
    }
}
////////////////////////////////////
?>
```

## soap.wsdl

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<wsdl:definitions xmlns:http="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/http/"
xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns:s="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
xmlns:tns="http://市民塾サイト/"
xmlns:tm="http://microsoft.com/wsdl/mime/textMatching/"
xmlns:mime="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/mime/"
targetNamespace="http://市民塾サイト/"
xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/">
  <wsdl:types>
    <s:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="http://市民塾サイト/">
      <s:element name="CheckUserID">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="uid" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="CheckUserIDResponse">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="CheckUserIDResult" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="InsertUserInfo">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="inf" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="InsertUserInfoResponse">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="InsertUserInfoResult" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
      <s:element name="UpdateUserInfo">
        <s:complexType>
          <s:sequence>
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="uid" type="s:string" />
            <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="inf" type="s:string" />
          </s:sequence>
        </s:complexType>
      </s:element>
    </s:schema>
  </wsdl:types>

```

(続く)

(続き)

```
<s:element name="UpdateUserInfoResponse">
  <s:complexType>
    <s:sequence>
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="UpdateUserInfoResult" type="s:string" />
    </s:sequence>
  </s:complexType>
</s:element>
<s:element name="DeleteUserInfoResponse">
  <s:complexType>
    <s:sequence>
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="DeleteUserInfoResult" type="s:string" />
    </s:sequence>
  </s:complexType>
</s:element>
<s:element name="SetLectureAttend">
  <s:complexType>
    <s:sequence>
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="uid" type="s:string" />
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="lno" type="s:string" />
    </s:sequence>
  </s:complexType>
</s:element>
<s:element name="SetLectureAttendResponse">
  <s:complexType>
    <s:sequence>
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="SetLectureAttendResult" type="s:string" />
    </s:sequence>
  </s:complexType>
</s:element>
<s:element name="GetAttendHistory">
  <s:complexType>
    <s:sequence>
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="uid" type="s:string" />
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="lno" type="s:string" />
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="cno" type="s:string" />
    </s:sequence>
  </s:complexType>
</s:element>
<s:element name="GetAttendHistoryResponse">
  <s:complexType>
    <s:sequence>
      <s:element minOccurs="0" maxOccurs="1" name="GetAttendHistoryResult" type="s:string" />
    </s:sequence>
  </s:complexType>
</s:element>
</s:schema>
</wsdl:types>
```

(続く)

(続き)

```
<wsdl:message name="CheckUserIDSoapIn">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:CheckUserID" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="CheckUserIDSoapOut">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:CheckUserIDResponse" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="InsertUserInfoSoapIn">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:InsertUserInfo" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="InsertUserInfoSoapOut">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:InsertUserInfoResponse" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="UpdateUserInfoSoapIn">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:UpdateUserInfo" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="UpdateUserInfoSoapOut">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:UpdateUserInfoResponse" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="DeleteUserInfoSoapIn">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:DeleteUserInfo" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="DeleteUserInfoSoapOut">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:DeleteUserInfoResponse" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="SetLectureAttendSoapIn">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:SetLectureAttend" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="SetLectureAttendSoapOut">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:SetLectureAttendResponse" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="GetAttendHistorySoapIn">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:GetAttendHistory" />
</wsdl:message>
<wsdl:message name="GetAttendHistorySoapOut">
  <wsdl:part name="parameters" element="tns:GetAttendHistoryResponse" />
</wsdl:message>
```

(続く)

(続き)

```
<wsdl:portType name="SoapServiceSoap">
  <wsdl:operation name="CheckUser ID">
    <wsdl:input message="tns:CheckUser IDSoapIn" />
    <wsdl:output message="tns:CheckUser IDSoapOut" />
  </wsdl:operation>
  <wsdl:operation name="InsertUserInfo">
    <wsdl:input message="tns:InsertUser InfoSoapIn" />
    <wsdl:output message="tns:InsertUser InfoSoapOut" />
  </wsdl:operation>
  <wsdl:operation name="UpdateUserInfo">
    <wsdl:input message="tns:UpdateUser InfoSoapIn" />
    <wsdl:output message="tns:UpdateUser InfoSoapOut" />
  </wsdl:operation>
  <wsdl:operation name="DeleteUserInfo">
    <wsdl:input message="tns:DeleteUser InfoSoapIn" />
    <wsdl:output message="tns:DeleteUser InfoSoapOut" />
  </wsdl:operation>
  <wsdl:operation name="SetLectureAttend">
    <wsdl:input message="tns:SetLectureAttendSoapIn" />
    <wsdl:output message="tns:SetLectureAttendSoapOut" />
  </wsdl:operation>
  <wsdl:operation name="GetAttendHistory">
    <wsdl:input message="tns:GetAttendHistorySoapIn" />
    <wsdl:output message="tns:GetAttendHistorySoapOut" />
  </wsdl:operation>
</wsdl:portType>
<wsdl:binding name="SoapServiceSoap" type="tns:SoapServiceSoap">
  <soap:binding transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http" style="document" />
  <wsdl:operation name="CheckUser ID">
    <soap:operation soapAction="http://市民塾サイト/CheckUser ID" style="document" />
    <wsdl:input>
      <soap:body use="literal" />
    </wsdl:input>
    <wsdl:output>
      <soap:body use="literal" />
    </wsdl:output>
  </wsdl:operation>
  <wsdl:operation name="InsertUserInfo">
    <soap:operation soapAction="http://市民塾サイト/InsertUser Info" style="document" />
    <wsdl:input>
      <soap:body use="literal" />
    </wsdl:input>
    <wsdl:output>
      <soap:body use="literal" />
    </wsdl:output>
  </wsdl:operation>
</wsdl:binding>
</wsdl:service>
```

(続く)

(続き)

```
<wsdl:operation name="UpdateUserInfo">
  <soap:operation soapAction="http://市民塾サイト/UpdateUserInfo" style="document" />
  <wsdl:input>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:input>
  <wsdl:output>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:output>
</wsdl:operation>
<wsdl:operation name="DeleteUserInfo">
  <soap:operation soapAction="http://市民塾サイト/DeleteUserInfo" style="document" />
  <wsdl:input>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:input>
  <wsdl:output>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:output>
</wsdl:operation>
<wsdl:operation name="SetLectureAttend">
  <soap:operation soapAction="http://市民塾サイト/SetLectureAttend" style="document" />
  <wsdl:input>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:input>
  <wsdl:output>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:output>
</wsdl:operation>
<wsdl:operation name="GetAttendHistory">
  <soap:operation soapAction="http://市民塾サイト/GetAttendHistory" style="document" />
  <wsdl:input>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:input>
  <wsdl:output>
    <soap:body use="literal" />
  </wsdl:output>
</wsdl:operation>
</wsdl:binding>
<wsdl:service name="SoapService">
  <wsdl:port name="SoapServiceSoap" binding="tns:SoapServiceSoap">
    <soap:address location="http://市民塾サイト/SoapServer.php" />
  </wsdl:port>
</wsdl:service>
</wsdl:definitions>
```

## SoapCommand.cs

```
using System;

namespace PortalServer
{
    public class SoapCommand
    {
        [STAThread]
        static void Main(string[] args)
        {
            PortalServer.SoapService obj = new SoapService();
            switch(args[0])
            {
                case "1": rtn = obj.CheckUserID(args[1]); break;
                case "2": rtn = obj.InsertUserInfo(args[1]); break;
                case "3": rtn = obj.UpdateUserInfo(args[1], args[2]); break;
                case "4": rtn = obj.DeleteUserInfo(args[1]); break;
                case "5": rtn = obj.SetLectureAttend(args[1], args[2]); break;
                case "6": rtn = obj.GetAttendHistory(args[1], args[2], args[3]); break;
            }
            Console.WriteLine(" " + rtn);
        }
    }
}
```

## SoapService.cs

```
using System;

namespace PortalServer
{
    using System.Diagnostics;
    using System.Xml.Serialization;
    using System;
    using System.Web.Services.Protocols;
    using System.ComponentModel;
    using System.Web.Services;

    [System.Diagnostics.DebuggerStepThroughAttribute()]
    [System.ComponentModel.DesignerCategoryAttribute("code")]
    [System.Web.Services.WebServiceBindingAttribute(
        Name="SoapServiceSoap", Namespace="http://市民塾サイト/")]
    public class SoapService : System.Web.Services.Protocols.SoapHttpClientProtocol
    {
        public SoapService()
        {
            this.Url = "http://市民塾サイト/SoapServer.php";
            this.Proxy = new System.Net.WebProxy();
        }

        [System.Web.Services.Protocols.SoapDocumentMethodAttribute("http://市民塾サイト/CheckUserID",
            RequestNamespace="http://市民塾サイト/", ResponseNamespace="http://市民塾サイト/",
            Use=System.Web.Services.Description.SoapBindingUse.Literal,
            ParameterStyle=System.Web.Services.Protocols.SoapParameterStyle.Wrapped)]
        public string CheckUserID(string uid)
        {
            object[] results = this.Invoke("CheckUserID", new object[] {uid});
            return ((string) (results[0]));
        }

        public System.IAsyncResult BeginCheckUserID(
            string uid, System.AsyncCallback callback, object asyncState)
        {
            return this.BeginInvoke("CheckUserID", new object[] {uid}, callback, asyncState);
        }

        public string EndCheckUserID(System.IAsyncResult asyncResult)
        {
            object[] results = this.EndInvoke(asyncResult);
            return ((string) (results[0]));
        }
    }
}
```

(続く)

(続き)

```
[System.Web.Services.Protocols.SoapDocumentMethodAttribute("http://市民塾サイト
/InsertUserInfo",
    RequestNamespace="http://市民塾サイト/", ResponseNamespace="http://市民塾サイト/",
    Use=System.Web.Services.Description.SoapBindingUse.Literal,
    ParameterStyle=System.Web.Services.Protocols.SoapParameterStyle.Wrapped)]
public string InsertUserInfo(string inf)
{
    object[] results = this.Invoke("InsertUserInfo", new object[] {inf});
    return ((string)(results[0]));
}

public System.IAsyncResult BeginInsertUserInfo(
    string inf, System.AsyncCallback callback, object asyncState)
{
    return this.BeginInvoke("InsertUserInfo", new object[] {inf}, callback, asyncState);
}

public string EndInsertUserInfo(System.IAsyncResult asyncResult)
{
    object[] results = this.EndInvoke(asyncResult);
    return ((string)(results[0]));
}

[System.Web.Services.Protocols.SoapDocumentMethodAttribute("http://市民塾サイト/UpdateUserInfo",
    RequestNamespace="http://市民塾サイト/", ResponseNamespace="http://市民塾サイト/",
    Use=System.Web.Services.Description.SoapBindingUse.Literal,
    ParameterStyle=System.Web.Services.Protocols.SoapParameterStyle.Wrapped)]
public string UpdateUserInfo(string uid, string inf)
{
    object[] results = this.Invoke("UpdateUserInfo", new object[] {uid, inf});
    return ((string)(results[0]));
}

public System.IAsyncResult BeginUpdateUserInfo(
    string uid, string inf, System.AsyncCallback callback, object asyncState)
{
    return this.BeginInvoke("UpdateUserInfo", new object[] {uid, inf}, callback, asyncState);
}

/// <remarks/>
public string EndUpdateUserInfo(System.IAsyncResult asyncResult)
{
    object[] results = this.EndInvoke(asyncResult);
    return ((string)(results[0]));
}
```

(続き)

```
[System.Web.Services.Protocols.SoapDocumentMethodAttribute("http://市民塾サイト/DeleteUserInfo",
    RequestNamespace="http://市民塾サイト/", ResponseNamespace="http://市民塾サイト/",
    Use=System.Web.Services.Description.SoapBindingUse.Literal,
    ParameterStyle=System.Web.Services.Protocols.SoapParameterStyle.Wrapped)]
public string DeleteUserInfo(string uid)
{
    object[] results = this.Invoke("DeleteUserInfo", new object[] {uid});
    return ((string)(results[0]));
}

public System.IAsyncResult BeginDeleteUserInfo(
    string uid, System.AsyncCallback callback, object asyncState)
{
    return this.BeginInvoke("DeleteUserInfo", new object[] {uid}, callback, asyncState);
}

public string EndDeleteUserInfo(System.IAsyncResult asyncResult)
{
    object[] results = this.EndInvoke(asyncResult);
    return ((string)(results[0]));
}

[System.Web.Services.Protocols.SoapDocumentMethodAttribute("http://市民塾サイト
/SetLectureAttend",
    RequestNamespace="http://市民塾サイト/", ResponseNamespace="http://市民塾サイト/",
    Use=System.Web.Services.Description.SoapBindingUse.Literal,
    ParameterStyle=System.Web.Services.Protocols.SoapParameterStyle.Wrapped)]
public string SetLectureAttend(string uid, string lno)
{
    object[] results = this.Invoke("SetLectureAttend", new object[] {uid, lno});
    return ((string)(results[0]));
}

public System.IAsyncResult BeginSetLectureAttend(
    string uid, string lno, System.AsyncCallback callback, object asyncState)
{
    return this.BeginInvoke("SetLectureAttend", new object[] {uid, lno}, callback, asyncState);
}

public string EndSetLectureAttend(System.IAsyncResult asyncResult)
{
    object[] results = this.EndInvoke(asyncResult);
    return ((string)(results[0]));
}
```

(続き)

```
[System.Web.Services.Protocols.SoapDocumentMethodAttribute("http://市民塾サイト
/GetAttendHistory",
    RequestNamespace="http://市民塾サイト/", ResponseNamespace="http://市民塾サイト/",
    Use=System.Web.Services.Description.SoapBindingUse.Literal,
    ParameterStyle=System.Web.Services.Protocols.SoapParameterStyle.Wrapped)]
public string GetAttendHistory(string uid, string lno, string cno)
{
    object[] results = this.Invoke("GetAttendHistory", new object[] {uid, lno, cno});
    return ((string)results[0]);
}

public System.IAsyncResult BeginGetAttendHistory(
    string uid, string lno, string cno, System.AsyncCallback callback, object asyncState)
{
    return this.BeginInvoke("GetAttendHistory", new object[] {uid, lno, cno},
        callback, asyncState);
}

public string EndGetAttendHistory(System.IAsyncResult asyncResult)
{
    object[] results = this.EndInvoke(asyncResult);
    return ((string)results[0]);
}
}
```

### 3. 実用化と普及に向けた制度面・運用面における課題の解決策

#### 3.1 実用化と普及に向けた制度面・運用面における課題の解決策

地方と都市生活者の移住・交流を促進させるにあたり、既存の情報媒体や情報交換の仕組みでは不十分と考え、本実証実験の実施にあたり、下記の課題解決に向けた仕組みをワンストップ e-ラーニングサービスとして実施した。

##### 3.1.1 制度面の具体的な仕組み

###### (1) 利用者情報の通信連携

移住交流ポータルシステムから各地の e-ラーニングシステムを受講する際、利用者登録が必要となり、この情報を各地の e-ラーニングシステムと連携し通知する必要がある。

この利用者情報の伝送には暗号化通信（SSL：Secure Socket Layer）を行った。また、利用者情報を格納するサーバは強固なファシリティで保護されており、他サーバとのネットワーク接続などが不可能な環境を構築したデータセンタ（IDC：Internet data center）とした。

###### ① ワンストップポータルの提供

移住・交流希望者へ、スムーズな移住に向けた地域生活学習のための「移住・交流ワンストップポータル」を構築し、情報提供を実施した。このポータルサイトの構築にあたり、インターネット市民塾システムとの連携においては、地域情報プラットフォーム標準仕様書 V 2. 0 での認証機能、監査証跡機能を活用し、利用者認証（シングルサインオン）や e-ラーニング受講履歴、アクセスログ収集を実行できる環境を実現した。

また、移住・交流への情報提供に取り組んでいる移住交流推進機構（JOIN）等と相互リンクを実施することで、提供情報の密度も向上させた。

###### ② インターネット市民塾の活用

地域の住民（市民）自らが講師となり、自発的に様々な種類の講座をインターネット上で学習する仕組みの一つであり、地域コミュニティの活性化や社会参加を促進する場所と活動の機会を創出するという狙いとしている。

本事業では、受入側住民（地域の住民）へ移住・交流に対する意識向上に資する仕組みとして活用した。

###### (2) 各地の移住交流関連施策、制度および受け入れを希望する対象の相違

ポータルシステムから各地の移住交流施策、制度の比較が容易に行えるワンストップサービスを提供した。また、地方自治体側の移住交流施策が評価されることになり、今後はより良い施策が開発されることが予想される。

###### ① 利用者登録時アンケートの実施

「移住・交流ワンストップポータル」から利用者登録時に移住・交流に関するニーズや動向を把握するため Web アンケートを実施した。なお、実施結果は 4 章にて記載する。

## ② e-ラーニング受講後アンケートの実施

e-ラーニング受講前と受講後において、移住・交流への意識の高まりや地域に対するイメージの変化などを把握するため、e-ラーニング受講後にアンケートを実施した。なお、実施結果は4章にて記載する。

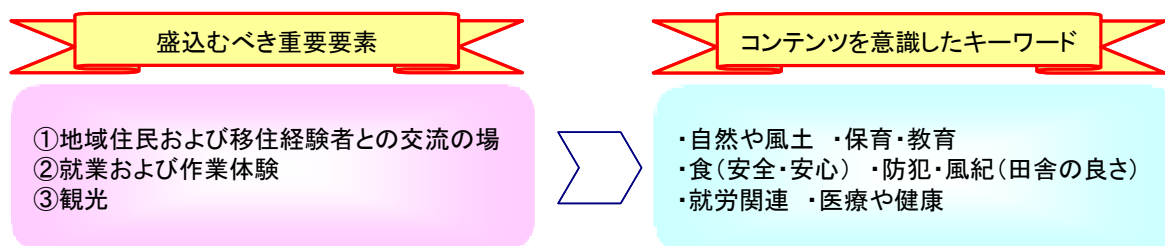
## ③ 現地調査の実施

本事業にて提供した仕組みが有効に機能していたかを客観的に効果測定するために、移住・交流に興味や関心を持っている都会生活者を対象に一般公募を実施し、モデル地区（和歌山県田辺市、高知県室戸市、鹿児島県薩摩川内市）への現地調査を各地域3組6名の体制で実施した。

評価情報の収集は、現地調査後のヒアリング結果に基づくものとした。

### ア. 現地調査プログラム

移住者向け移住・交流データに盛込んだ情報を検証するため、現地調査プログラム（モニターツアー）を企画・設計した。この企画の策定に際しては、各モデル地区の職員や地域コミュニティ等の住民協力者と連携し、新たな魅力発信素材の創出も視野に入れ立案した。



ここで重要視すべきは、現地調査（視察）に留めず、可能な限り「体験メニュー」とすることである。地域住民との触れ合う時間を多く持ち、共同作業等を通じて体現的コミュニケーションを図ることで、相互理解への深まりが可能であると考え。以下に今回の「体験メニュー（一例）」を紹介する。

- ・就農体験（収穫作業等）
- ・地域特産品生産作業（ジュース作り、干物作り等）
- ・郷土料理体験（郷土料理の調理、試食等）
- ・祭りやイベント参加（観光開き、史跡や遺産散策による文化の習得）
- ・交流会（民泊、車座等）

### イ. 移住者向け移住・交流データ（コンテンツデータ）とのギャップについて

「移住・交流ワンストップポータル」を經由し「インターネット市民塾」より情報収集し受講した移住者向け移住・交流データが実際の地域情報と合致しているかヒアリングしたところ、「情報提供項目の網羅性から大きなギャップが無い」との総合的に高い評価を頂いた。

しかし、情報発信するターゲット属性（年齢等）や移住・交流目的の違いにより、情報過多や興味のある項目に関する物足りなさを感じる恐れがあるとの指摘も頂いた。従って、提供情報の網羅性を高めつつ移住目的（ニーズ）に合致した情報提供のあり方も検討の必要がある。

- ・自然の豊かなところに住みたいから
- ・都市部より広い家に住みたいから
- ・人や車が多過ぎずのんびりしたところに住みたいから
- ・農業、林業、漁業など都市部ではできない仕事をしたいから
- ・安全で体に良い食品を食べたいから

- ・物価の安いところに住みたいから
- ・今住んでいる土地を離れたいから

#### ウ. 現地調査員よりの提言

- ・住宅物件の情報について
 

住宅物件の情報の充実化は強く求めるところである。だが、都市住民は「移住」＝「転居」の発想であり、物件さえあれば移住可能と考えることがある。しかし、地域は町や地域住民のコミュニティに「受け容れられれば住むところは世話をする」という発想（空き家や地方の物件は借地借家法になじまず、人間関係に基づく相対交渉）が強い。つまり、物件（家）を探す都市住民と地域の魅力を語る地域住民とでは発想の視点が違う。このギャップがあることを相互が強く認識するべきである。
- ・相談窓口とコーディネーター
 

移住者が移住を希望しても「地域コミュニティへ受け入れられるか」という暗黙的な悩みが生じており、移住者と地域コミュニティをつなぎ、安心して相談できる窓口とコーディネーターが必要となっている。行政がその担い手となるケースもあるが、表層的な対応になる場合も見受けられる。地域の将来に危機感を持ち、地域の活性化に意欲的な組織や団体の支援があることが望ましい。
- ・新たな地域ブランドの想像について
 

一次・二次産業の衰退により、地域産業や地域振興のあり方も変化しているにも関わらず、移住・交流を検討している世代の多くは、地域へ抱くイメージが刷新されていない。また、地域が有する魅力あるファシリティ（ハード事業）が有効活用されておらず、付加価値とサービス（ソフト事業）を組み合わせ、新たな町づくりの方向性（ビジョン）と価値（ブランド）を創出に取り組む必要がある。
- ・情報発信について
 

昨今の移住・交流希望者は情報収集を念入りに行い、数箇所の候補を選定し、何度か足を運び検討、選定する。従って、複数ある候補の中で順位を上げるための魅力が無ければ、移住希望者数の増加につながらない。しかし、多くの地域は移住・交流情報に限らず、観光や地域の魅力情報の発信が圧倒的に不足しており、興味を頂き、魅力を伝え、順位を上げる機会を喪失している。

### (3) 移住希望者が必要となる情報の整備

移住希望者は移住先を土地、職業、目的をあらかじめ決めている場合が多い。今後は、ポータルシステムにこれらの目的から移住先を検索できる機能を付し、移住希望者の情報入手を容易にしていく。このためには本ポータルシステムに参加する地方自治体を増加させる必要があり、本実験で策定する移住交流に関する標準データインタフェースを整備し、全国的に利用可能なものとした。

#### ① 移住者向け移住・交流データ（コンテンツデータ）の提供

移住者向け移住・交流データ（コンテンツデータ）の考え方として、移住経験者等の当事者が出演する映像を見てもらうことにより、単なる移住情報や地域の魅力PR映像の陳列ではない、「人の顔が見える」・“現実感のある”コンテンツを目指し、「是非来て欲しい」という地域側の思いも表現できるような内容を検討した。また、視聴者が具体的な行動（問い合わせ）を起こすことを目標とした。

また、移住者向け移住・交流データ（コンテンツデータ）へ必要とされる情報項目を検討し、網羅性を高めた。従って、魅力ある情報のみの提供に留まらず、ネガティブな情報も現実的に正しく伝えることとした。以下の表は移住・交流者ニーズを想定した情報項目である。

生活分野	提供情報項目
医療・保健	病気やケガをしたとき、必要な診断、治療がいつでも受けられること
	病気の予防や健康の相談、指導が受けられること
	費用の心配をせずに、治療が受けられること
教育・文化	保育所、幼稚園が近くにあること
	小学校、中学校、高等学校等の充実した教育が受けられること
	大学、専門学校等の高度な教育を受けやすいこと
	図書館、カルチャーセンター等の教養を高める機会が得られやすいこと
	演劇、演奏会、美術展などがひんぱんに開催されること
勤労生活	文化遺産や史跡が大切にされること
	働く場が確保されていること
	職業紹介や職業訓練のための施設や内容が充実していること
	物価や地価が安定していること
	身近なところで食品や日用品が買えること
	ごみの分別収集がゆきとどいていること
	下水道が整備されていること
	大気汚染、水質汚濁、騒音、環境ホルモンなどの心配がないこと
	まわりに美しい自然が残されていること
除雪がゆきとどいていること	
交通	美しい街並があること
	通勤、通学など身近な交通の便がよいこと
	道内各地域への交通の便がよいこと
安全	市外・県外への交通の便がよいこと
	地震、水害、火災等への対策がしっかりしていること
	犯罪などの心配がなく安心して生活できること
	食品や日用品の安全性が確保されていること
	子供やお年寄りなどが車に脅かされずに道路を歩けること
	老人ホーム、障害者のための施設等の社会福祉施設が整備されていること
	寝たきりの老人や障害のある人が家庭で介護などを受けられること
	障害のある人が地域で生活するための条件が整っていること
老後に年金等の収入が十分確保されること	
余暇生活	老後に生きがいを持った生活が送れること
	公園、緑地、子供の遊び場等が近くにあること
	気軽にレジャーやスポーツが楽しめること
	身近なところでファッション等のショッピングが楽しめること
住宅 ／ 地域生活	自由な時間がとれること
	良質な住宅に住むこと
	近隣と助け合って生活していること
	子供を健やかに生み育てられる環境が整っていること
	祭り、美化運動等の自分が住んでいる地域の行事や活動が盛んなこと
国際化	行政に住民の要望や意見が十分に取り入れられること
	身近なところで法律相談、行政相談などが受けられること
	身近に外国人の友達がいること
情報化	地域で国際的な行事や催しものが開催されること
	気軽に外国へ行ったり、外国の人が来たりできること
情報化	知りたい情報がいつでも手に入ること

### 3.1.2 運用面の具体的な仕組み

#### (1) 地域情報プラットフォームに準拠したワンストップサービス導入のメリット

移住交流に関連するデータを標準化することにより、ポータルシステムおよび各地の移住交流サイトとの情報流通が容易に行う。標準化されたデータインタフェースを全国的に展開し、地域間の格差を是正していく。データ項目は移住希望者にとって有益な情報を整理して作成した。

---

### ① 受け入れ側住民向け移住・交流データ（コンテンツデータ）の提供

受け入れ側住民向けに具体的な心構えを作り移住者とのギャップを知ることで、地域コミュニティの活性化や社会参加から始めてみようという気持ちと行動を起こすことを目的とし、全地域共通の受け入れ側住民向け移住・交流データ（コンテンツデータ）を作成した。

なお、受け入れ側住民向け移住・交流データ（コンテンツデータ）を作成する上で、都会生活者と地方生活者における認識の違いを払拭するために必要な情報項目を以下に設定した。

- ・地域の人の思い、都会から来る人の思い（移住の目的）
- ・つきあい（人間関係）
- ・土地や家屋の貸借について（地域独自の慣習）
- ・よくあるトラブル（事例）
- ・地域の活性化（心構えと方向性）

### (2) 各地域のデータ更新頻度の差異により発生する課題

ポータルシステムに、各地の移住者の声や最新情報を定期的に発信できる仕組みを搭載する。これにより、情報登録作業を容易にし、更新頻度を高めた。

### ① 掲示板、相談支援窓口の設置

地方での暮らしにおける質問や疑問を効果的解消する仕組みとして、講座受講者が自由に相談できる掲示板を提供し、その対応窓口を地域住民の講師が担う仕組みを構築した。これにより、一方的に発信される情報取得や情報発信と異なり、双方向型の課題解決に資する機会と場所を提供した。

## 4. 地域活性化分野でのワンストップサービスの定量的・定性的効果

### 4.1 移住・交流ポータルにおける定量的・定性的効果

#### 4.1.1 ポータルサイト利用における定量的効果

ポータルサイト利用における定量的効果については以下のとおりである。詳細については5章「相互接続検証結果の提示」において記述する。

図表 1

サイトアクセス	セッション	3,379
	総ページビュー	19,126
	平均ページビュー	5.66
直帰率		1.51%
平均サイト滞在時間		00:07:28
新規セッション率		59.63%

(2008年12月8日開設、2009年3月26日現在累計)

図表 2 ポータルサイトにおけるアクセス数と eラーニング受講者数、アンケート回答者数

(単位/セッション・人、いずれも累計数)

		12/24	1/4	1/8	1/15	1/22	1/29	2/6	2/13	2/20	2/27
ポータルシステム											
	ポータルアクセスユーザ数	266	862	991	1186	1313	1413	1572	1668	1747	1819
	セッション数 (訪問数)	641	1351	1629	1964	2179	2379	2627	2780	2908	3016
	利用者登録数	40	91	102	132	147	156	165	171	176	179
	ポータルアンケート回答数 (受講前)	8	41	50	62	75	78	80	83	88	88
eラーニング受講数											
田辺市	生活情報ガイド受講者数 (受講後アンケート回答者)			32 6	39 10	42 13	46 14	39 10	42 13	52 14	42 13
	移住者の声 (受講後アンケート回答者)			20 6	27 8	28 10	29 10	30 10	32 10	36 10	32 10
室戸市	生活情報ガイド受講者数 (受講後アンケート回答者)			33 8	39 11	41 14	46 14	39 11	41 14	46 14	54 17
	移住者の声 (受講後アンケート回答者)			24 5	27 6	29 8	33 10	33 10	34 11	34 11	36 11
薩摩川内市	生活情報ガイド受講者数 (受講後アンケート回答者)			40 7	50 12	63 12	63 13	63 13	63 13	64 14	67 14
	移住者の声 (受講後アンケート回答者)			29 7	31 9	31 9	35 9	35 9	36 9	38 9	38 9
移住者向けコンテンツデータ合計 (受講後アンケート回答者)				178 39	213 56	234 66	252 70	239 63	248 70	270 72	269 74
共通	地域住民向けコンテンツデータ (受講後アンケート回答者)			68 4	81 7	84 8	89 8	96 7	107 8	121 8	127 8

#### 4.1.2 ポータルサイト上での Web アンケートから見た定量的・定性的評価

移住・交流ポータルサイトにおいては、ユーザーを対象とした以下のアンケートを実施した。アンケートの対象・種類とサンプル数、回答率は以下のとおりである。

		アンケート回答者数	母数(※)	回答率	
受講前	受講前アンケート	90	1819	4.9	
受講後	都市住民向けコンテンツ受講後アンケート				
	(A) 地域生活情報ガイドコンテンツデータ	田辺	16	42	38.1
		室戸	18	54	33.3
		薩摩川内	14	67	20.9
	(B) 既存移住者の声コンテンツデータ	田辺	9	32	28.1
		室戸	11	36	30.6
		薩摩川内	10	38	26.3
	(2) 地域住民向けコンテンツ受講後アンケート	9	127	7.1	

※受講前アンケートにおいてはアクセスユーザー数、受講後においては受講者数を母数とした。

#### (1) 利用者属性

サイトの利用者属性は以下のとおりである。

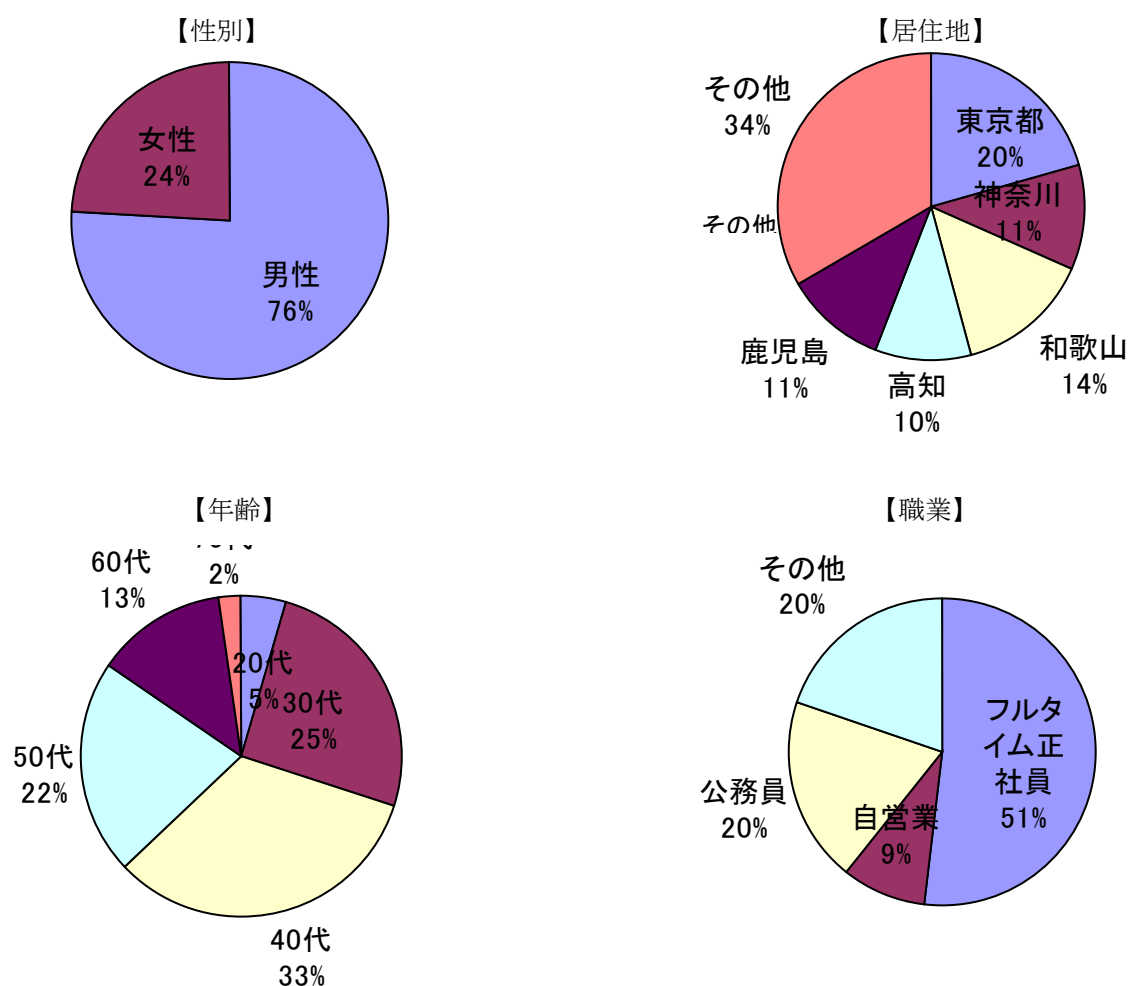
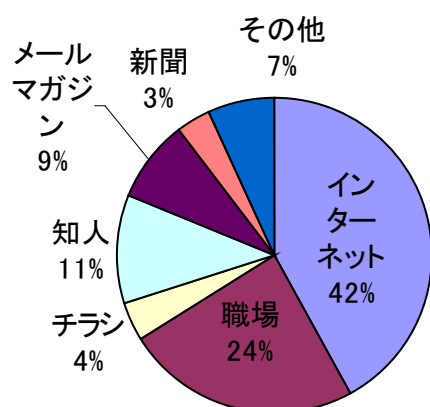
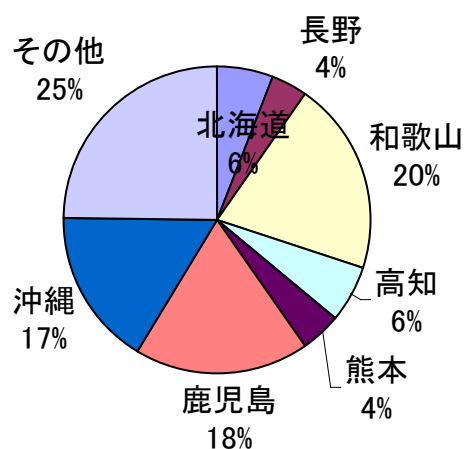


図 1

【サイトを知った媒体】



【移住したい都道府県】

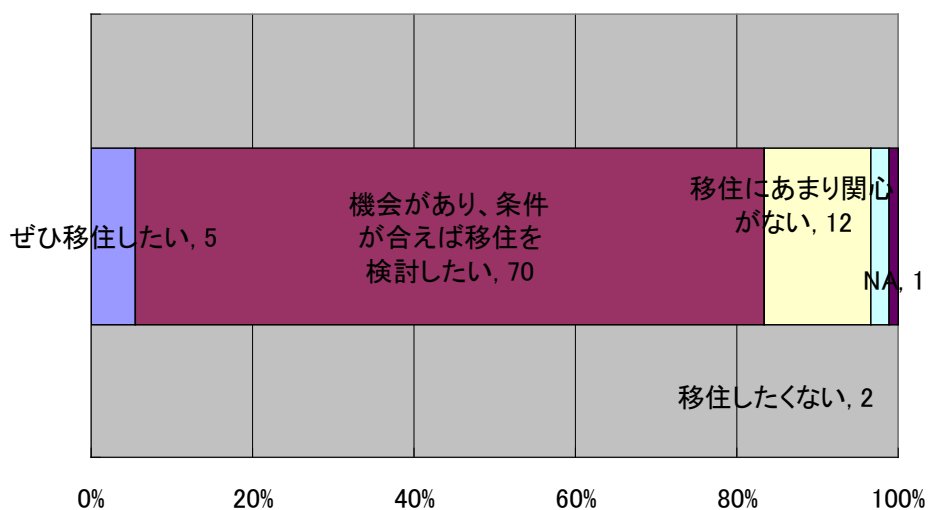


(2) 受講前アンケート

①移住への意向

移住への意向については、回答者の80%強が、「ぜひ」もしくは「機会があり、条件が合えば」移住をしたい、または検討したいと回答した。

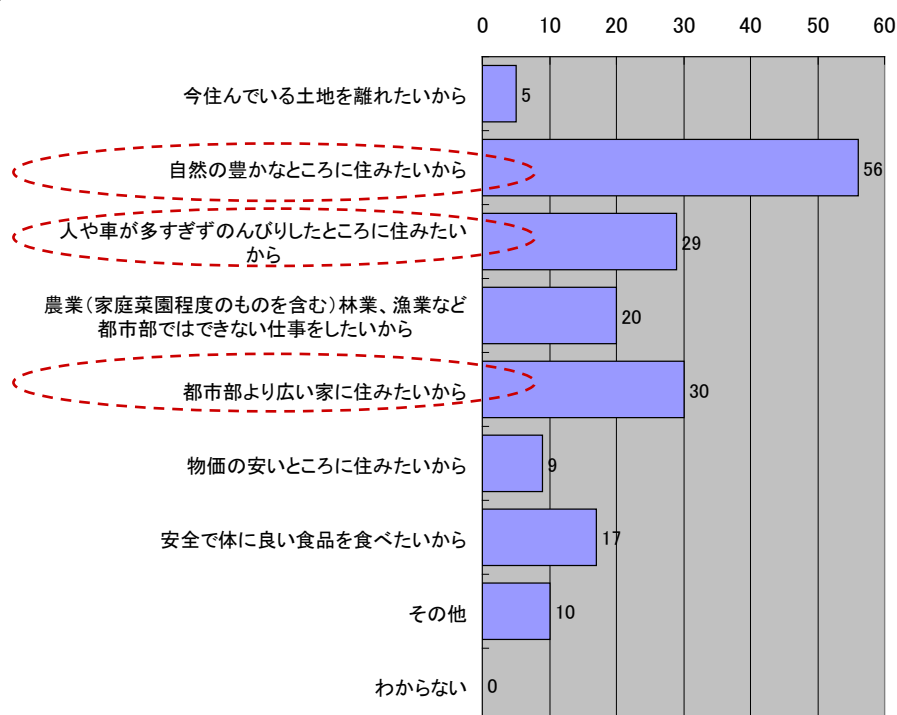
図表 3



## ② 移住の目的

移住の目的としては「自然の豊かなところに住みたいから」「都市部より広い家に住みたいから」「人や車が多過ぎずのんびりしたところに住みたいから」等の回答が多かった。

図表 4



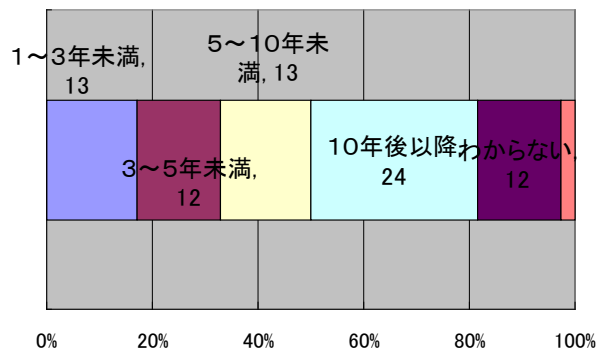
「その他」の回答としては以下のようなものがあった。おだやかな気候と地域コミュニティへの期待についてふれたものが多かった。

- ・ 夏涼しいところと冬暖かいところで2地域居住したいため
- ・ 暖かい気候のところに住みたい
- ・ 地域の方と交流を持ちながら、自然体でいきいきしたいから。
- ・ 都会では「隣は何をする人ぞ」みたいな付き合いでしかないし無関心でいられるが、隣近所とは本音でお付き合いしたい。
- ・ 子どもの教育環境が、田舎の方が良いと思うので。(自然に囲まれる。地域の方々との交流が多い。等)
- ・ 友人が石垣島に移住して、その土地の人々との交流など、本当に楽しそうに生活をしているため。
- ・ 勉強のため参加しています。
- ・ 海外・国内を問わず旅行が好きで、将来は移住を含めたセカンドライフを思案しています。
- ・ 東京は、便利であり捨てるのがたいので、東京の家は残したい
- ・ 歴史文化に興味あり。

③移住したい時期

移住したい時期についての回答は以下のとおりであった。おおよそ10年を区分とし、それ以前に移住したい人、それ以降かわからない等とする人がほぼ半数ずつであった。

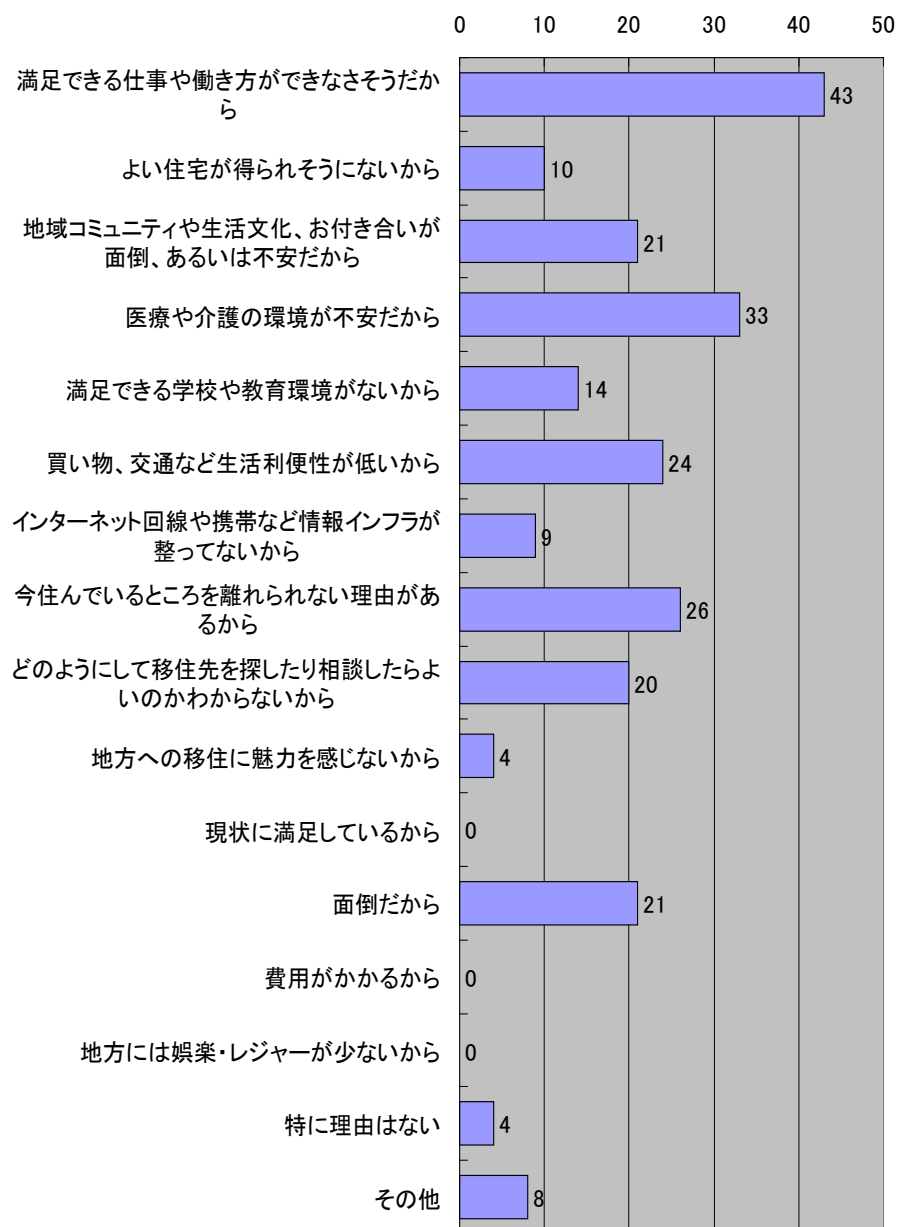
図表 5



## ④移住の阻害要因

移住の阻害要因としては満足できる仕事や働き方の困難、医療・介護環境の不安、現在の居住地を離れられない、買い物・交通など生活利便性への不安などが多くあげられた。

図表 6



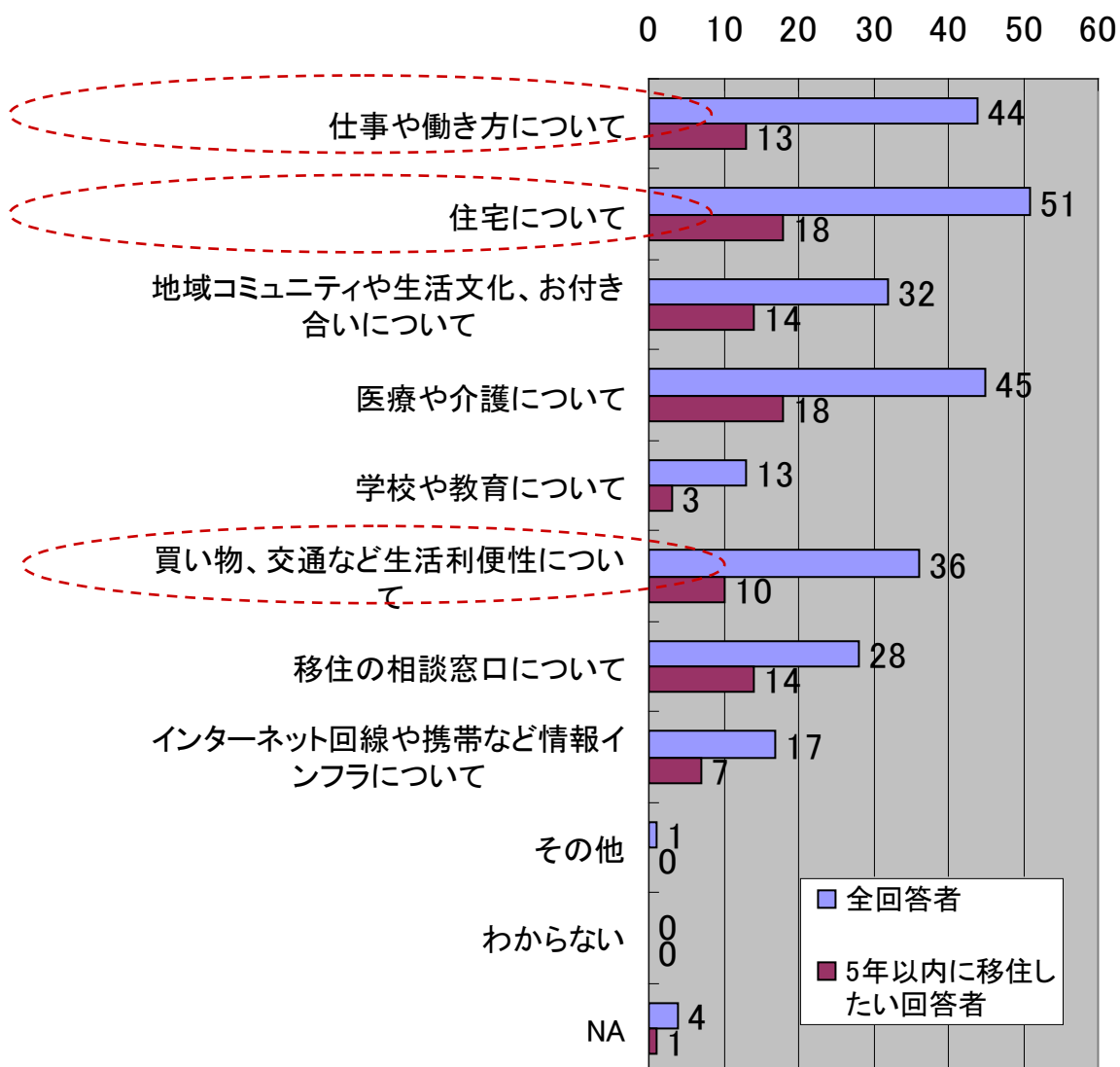
「その他」の回答としては以下があげられた。

- ・ 将来に向けた構想の一つ
- ・ 子どもが通っている学校への通学が困難になるから。
- ・ 子供の学校のことや、親の老後のことなど

⑤移住検討に必要な情報

移住検討に必要な情報としては住宅、医療・介護、仕事・働き方、買い物・交通など生活利便性、などが多くあげられた。しかし、5年以内に移住したいと回答した回答者に限ってみると、住宅、医療・介護、の次に「地域コミュニティや生活文化、お付き合い」「移住の相談窓口」があげられており、移住を抽象的・長期的な希望としてでなく近々具体的に考えている人であればこそ、こうした情報へのニーズが強いことが現れているといえる。

図表 7



その他の回答としては以下があげられた。

- ・ 実践者の暮らしぶり

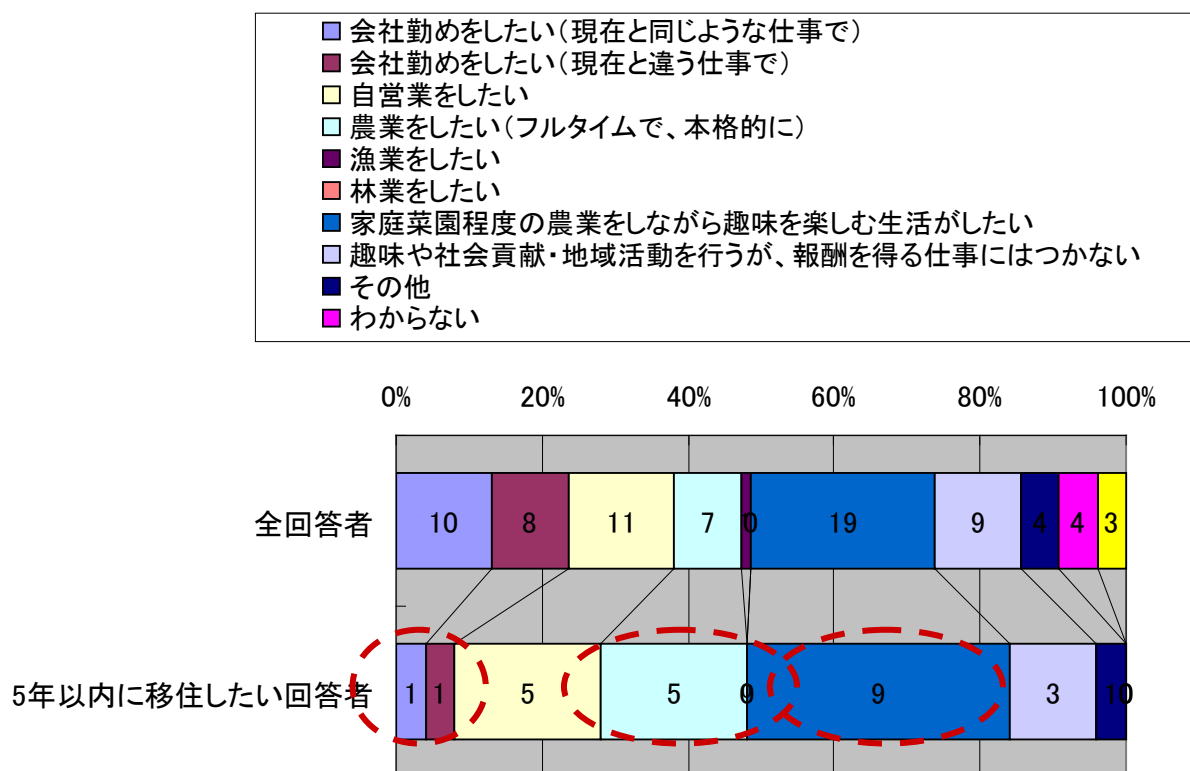
### ⑥移住先での仕事へのニーズ

移住先での仕事のニーズについて聞いたところ、最も多く支持されたのは「家庭菜園程度の農業をしながら趣味を楽しむ生活がしたい」、ついで「自営業をしたい」であった。

5年以内に移住したい回答者のみに絞ってみると「家庭菜園程度の農業をしながら趣味を楽しむ生活」はよりウエイトが高くなっており、また「フルタイム農業」が「自営業」と同じくこれに次いでいる。一方で全回答者よりも「会社勤めをしたい」は現在と同様の仕事、違う仕事いずれにおいてもウエイトが減少している。

これは移住を現実的に考えている層がより年代が高いために、会社勤めへのニーズが減少していると考えられると共に、移住先の情報を収集することにより、企業勤務の可能性が低いことについて認識が進んでいくためと考えられる。

図表 8



「その他」としては以下があげられている。

- ・ とりたてて特技はないし、高齢で体力も落ちているので、自分に出来る仕事があれば、形態は問わずに働きたい。
- ・ 東京では出版関係の仕事を手伝う機会が多いが、地方ではほぼ無理なこと
- ・ ある程度の現金収入が見込める仕事。農業で可能かどうか自信がない。今までの経験を活かして、地域・人のためにできる仕事がベスト。
- ・ 手に技術を付けてから仕事を考えたい

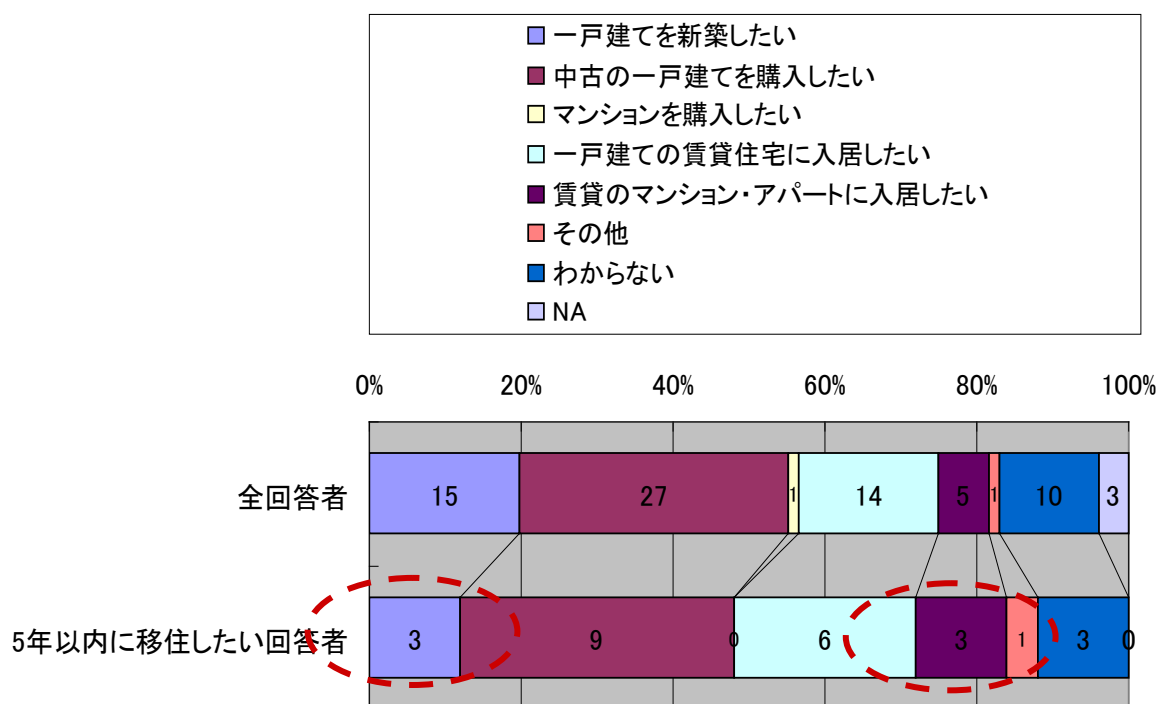
⑦移住での住宅へのニーズ

移住先でどのような住宅に住みたいかを聞いたところ、中古の一戸建て購入への意欲がもっとも強かった。次いで新築の一戸建て、賃貸の一戸建てがあげられた。

5年以内に移住したい回答者についてみると、新築一戸建てが減少し、賃貸マンション・アパートが増加している。

これは移住をより短期的に考えている層においては長期的に貯蓄をした上での移住を念頭に置くのではないために、自己の資産状況についてより現実的に認識せざるを得ないためと考えられる。

図表 9



### (3) 都市住民向けコンテンツデータ受講後アンケート

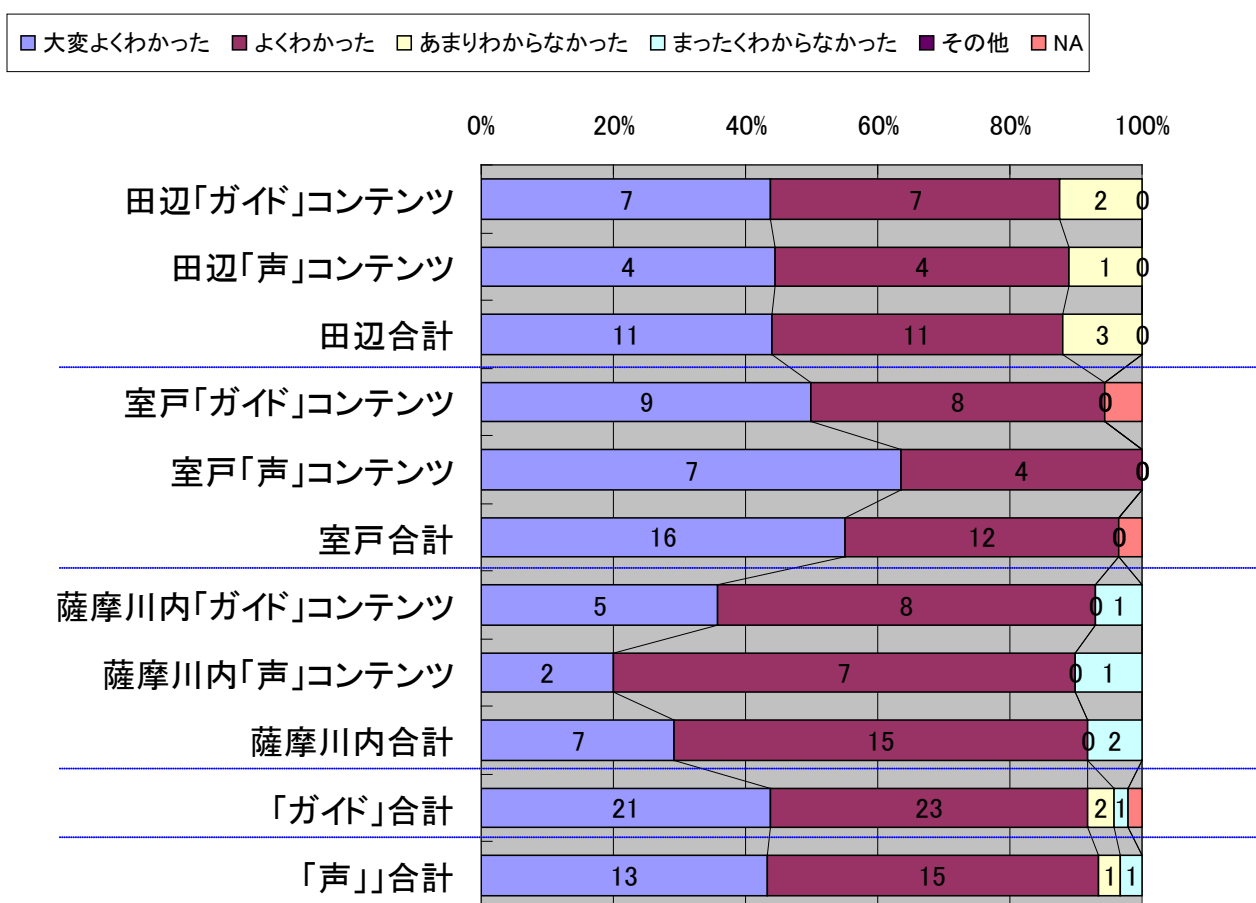
都市住民向けの「生活情報ガイド」「移住者の声」の2種類、3地域別、計6つのコンテンツデータごとに、アンケートへの回答を募った。

#### ①コンテンツデータの理解度

コンテンツデータの理解度についての回答及びコンテンツデータごとの比較は次のとおりである。いずれも90%前後が「大変よくわかった」「よくわかった」と回答している。

田辺市以外の2市においては、コンテンツデータの理解度に「ガイド」コンテンツデータと「声」コンテンツデータに逆の理解度傾向が現れているが、2市の4つのコンテンツデータはいずれも定量的にはほぼ同様の作成を行っており、この要因についてはシナリオ・出演者・映像そのものなど多岐の要素が関係するため、残念ながら今回得られたデータのみでは評価し得ない。

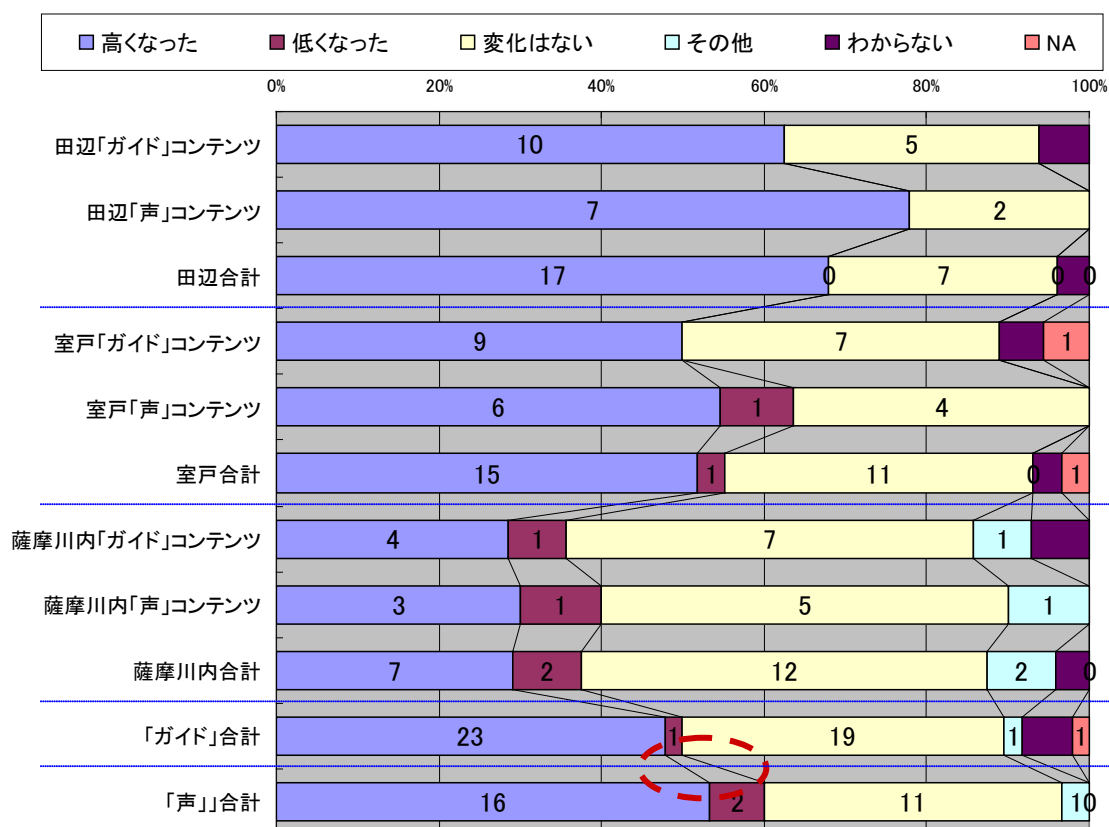
図表 10



## ②コンテンツデータ学習による当該地域への移住への関心の変化

コンテンツデータ学習によって、当該地域への移住の関心がどのように変化したかを尋ねたところ、地域格差があった。ただし全地域とも「ガイド」コンテンツデータよりも「声」コンテンツデータのほうが、移住への関心を高める効果があった。

図表 1 1



## ③地域ブランド、地域活性化に向けての意見

回答者に、地域ブランドづくりや地域活性化についての自由意見を求めたところ、以下のような回答が得られた。

(田辺市コンテンツデータにおける回答)

- ・ 温暖な気候、ゆったりとした生活、人のぬくもりを感じる地域であることをもっとアピールすると良いと思われます。
- ・ 移住実践者から見た田辺市を気に入っている点を集めてアピールすること。
- ・ 田辺市は合併して範囲が拡大してしまい、すべてをカバーするような観光政策は難しいと思います。この講座を拝見しただけで、いきなりアドバイスをと質問だれても答えられません。地元学(吉本哲郎)の勉強をされたらいかがですか。
- ・ 移住されている方がみなさん共通して、楽しそうだったので、もっと広くアピールしていかれたらよいと思います。
- ・ 移住者と地元の人たちの交流の様子をもっとアピールしたらどうでしょうか？
- ・ 体験者の話ばかりではなく、もっと観光、名所を紹介しては如何でしょうか？
- ・ 山間部の事業の説明はあったが、漁業はどうなのだろうか。あるいは海洋観光等は？

- ・ 田辺市の自然に囲まれた暮らしの良さを具体的に見せてほしい
- ・ 現在は団塊の世代がリタイアしている最中であり、その世代を受け入れ、地域の活性化を進める施策を推進するビジョンを打ち出すことが必要と思います。60代は今後二十数年は地域に貢献できるエネルギーは持ち合わせていると思います。
- ・ 全国ブランドとなっている備長炭やゆずなど、地域の特色を都会の人に打ち出していくと同時に、自分もその輪の中に気軽に入っていけるという気にさせるイベントなどがあると良いと思いました。
- ・ 田舎すぎてあまり魅力がない
- ・ 他の地方のブランドを研究して行くことが大切です
- ・ 田辺市にくわえて、和歌山県の良さをもっとアピールしたらどうでしょうか？和歌山県って、少し地味なイメージ（そこが良いのでしょうか）があるので、和歌山県自体の良さがよくわかりません。
- ・ 基本的に気候が温暖というのは理解できるが、台風の到来状況や夏・冬の温度差等説明が欲しい。特に山間部。また、インターネットの接続状況（具体的には、イーモバイル・ウィルコム）はどうなのか？戸建・マンションの賃貸物件はどの程度あるのか？
- ・ わかりやすく情報公開していく、常に新しい情報を更新する、できるだけ多くの人に知ってもらうためにはどうすればいいか、というような内容を考えていく必要があると思います。

#### (室戸市コンテンツデータに対する回答)

- ・ 健康増進に役立つ資源がたくさんあります。深層水、温浴施設、少年自然の家、室戸公園、海山の食材、吉良川の町並み、イルカなどなど。室戸に来たら体も心も元気になる、などのアピールをしてみたいかでしょうか？
- ・ 民宿経営・漁業者と少し特殊な事例かと思う。サービス業等の雇用状況等の説明が欲しい
- ・ 古きよき時代の「文化」「史跡」などを地域の宝「ブランド」としてアピールすればどうでしょうか
- ・ 高齢者なんで、終の棲家としての移住を考えています。このビデオでは、そういう人はこれそうにないですね。
- ・ 車が無い人はどうしたらいいのかの説明が欲しい。
- ・ イルカがいるなんて知りませんでした。かわいいし癒されるのもっと宣伝してみたらよいと思います。
- ・ 移住をテーマにするなら、住宅事情やインフラについて教えて欲しい。
- ・ 講座のビデオの内容は中高年向けではない。
- ・ 地域ブランドとして、海洋深層水のことをもっともっとアピールするべきです。日本中にマーケットが広がるのではないのでしょうか？

#### (薩摩川内市コンテンツデータに対する回答)

- ・ 川のきれいな様子を動画で見られたらよかったですと思います。
- ・ 実際に移住された方たちは、どのように暮らしているのでしょうか？特に農業で作物を育てて出荷し収入を得て、生計は成り立っているのでしょうか、知りたいところです。
- ・ 薩摩川内市内のイベントはどれもとても興味深いので、もっとHPなどでPRするべきだと思います。温泉、焼酎、素朴な人たち、大自然、とどれをとっても良いとこばかりなのですから！！
- ・ 風光明媚で自然豊かなところをもっと全面的にアピールして売り出すことだと思います。
- ・ 人口が少ないので無理な注文かもしれませんが、もう少し活気があったら良いのに、と思いました。暮らしている方たちの日常（農業や趣味や）を見たい。
- ・ 気候など、薩摩川内特有のもので差別化図るべき。
- ・ 何をアピールしたのかよく分からないですね。移住者を歓迎してるとは思えないビデオです

よ。次の質問にあるような、薩摩川内市の魅力は何なのか、まずはそれをはっきりさせてください。

- ・ アピールするものがなんなのかよく分かんないですね。もっと突っ込んで教えて下さい。
- ・ 鹿児島といえば、やはり焼酎！！それも「薩摩川内」というすばらしい市の名前があるので、もっともっと焼酎をPRしてみたらどうでしょうか？
- ・ 内容が解らないのでアドバイス不能動画再生出来ず
- ・ 田園文化ゾーンの自然・農業のよさを一層広報すべきです。
- ・ 塩を買いたいと思いました。手打地区は沖縄や奄美のような魅力があるような気がします。何も無いというのは、自然が豊かということだと思いますので、特に小さな子どもを持つ親にとっては非常に魅力的です。

①～⑤はコンテンツデータによらず地域によらず共通の設問であったが、以下、次の④-1～⑥-6までは、3市において独自に設定した設問である。これは市ごとの移住支援施策の立案に活用できることをねらいとしたものである。

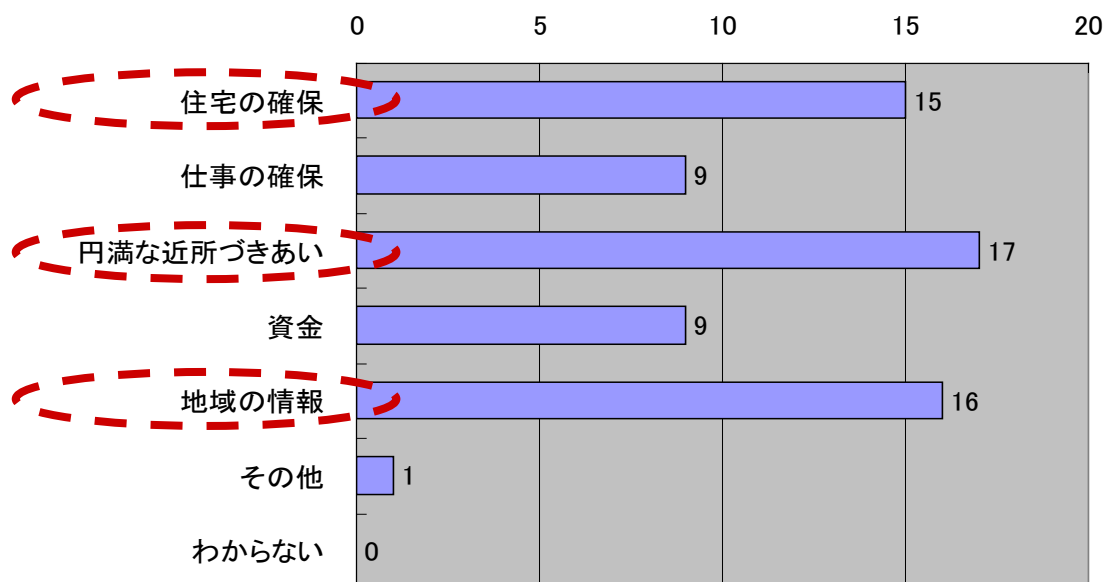
「魅力的な移住支援施策」「移住意向の変化」など一部には同じ設問もあるが、3市によって選択肢の設定等が異なるため3市の比較はしばらく、市別に記載している。

#### ④-1（田辺市独自設問）田舎暮らしに必要なもの

田舎暮らしに必要なものとしては、円満な近所づきあい、地域の情報、住宅の確保などがあげられた。

「田舎暮らし」というキーワードから、移住という「移動」でなく移住後の生活というイメージが喚起され、移住後に地域に溶け込む段階に必要な近所づきあいや地域の情報、という連想がなされたものと想定される。

図表 1 2



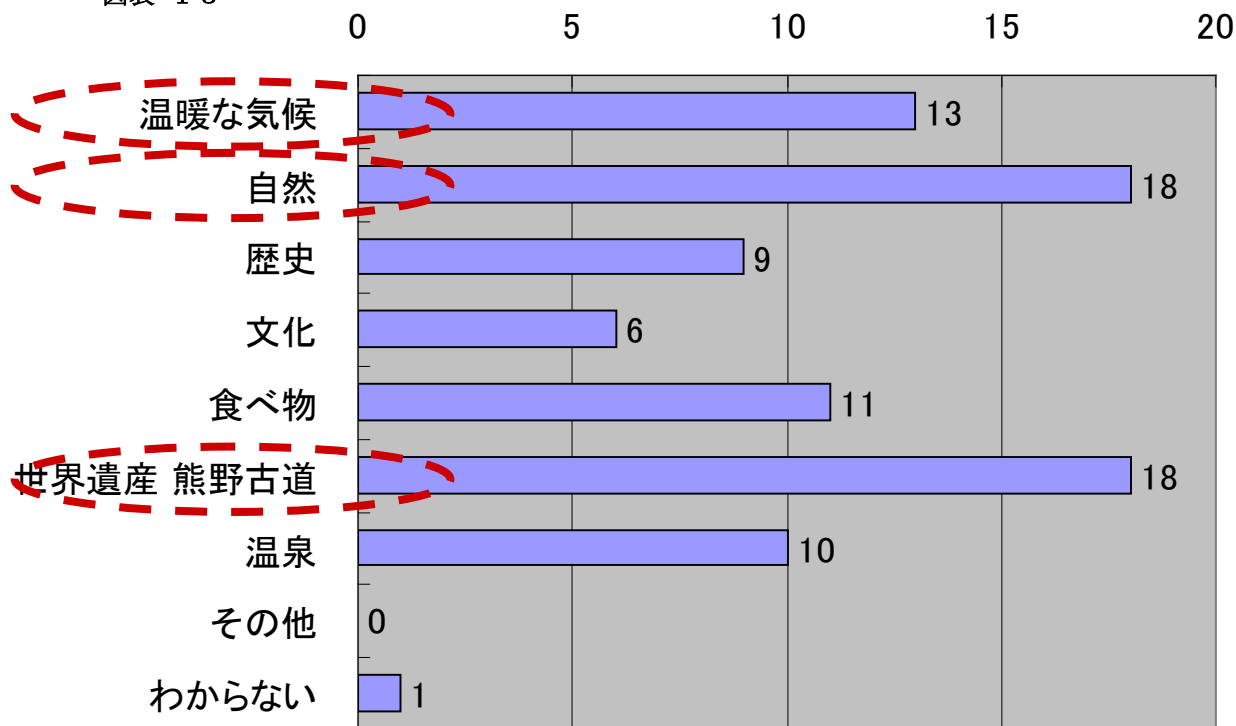
その他としては以下があげられた。

- ・ 自分自身がどのような生活を送りたいかという考え方をしっかり持つこと

④-2（田辺市独自分設問）田辺市の魅力で気に入ったもの

田辺市の魅力で気に入ったものとしては、自然、世界遺産熊の鼓動、温暖な気候があげられた。

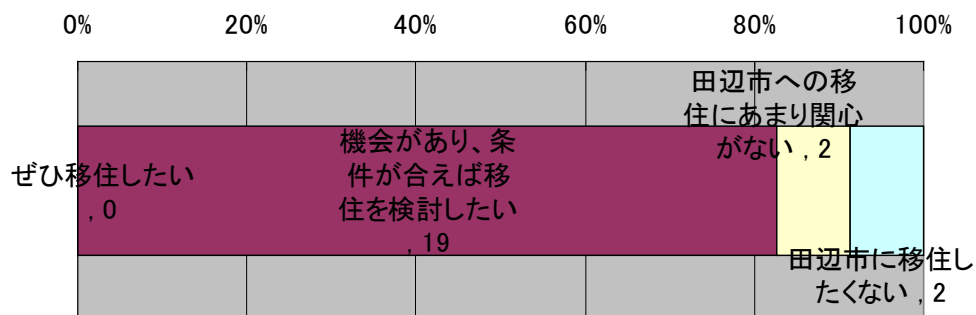
図表 1 3



④-3（田辺市独自分設問）田辺市への移住意向

田辺市への移住意向についての設問には、8割強が「機会があり条件が合えば移住を検討したい」と回答した。

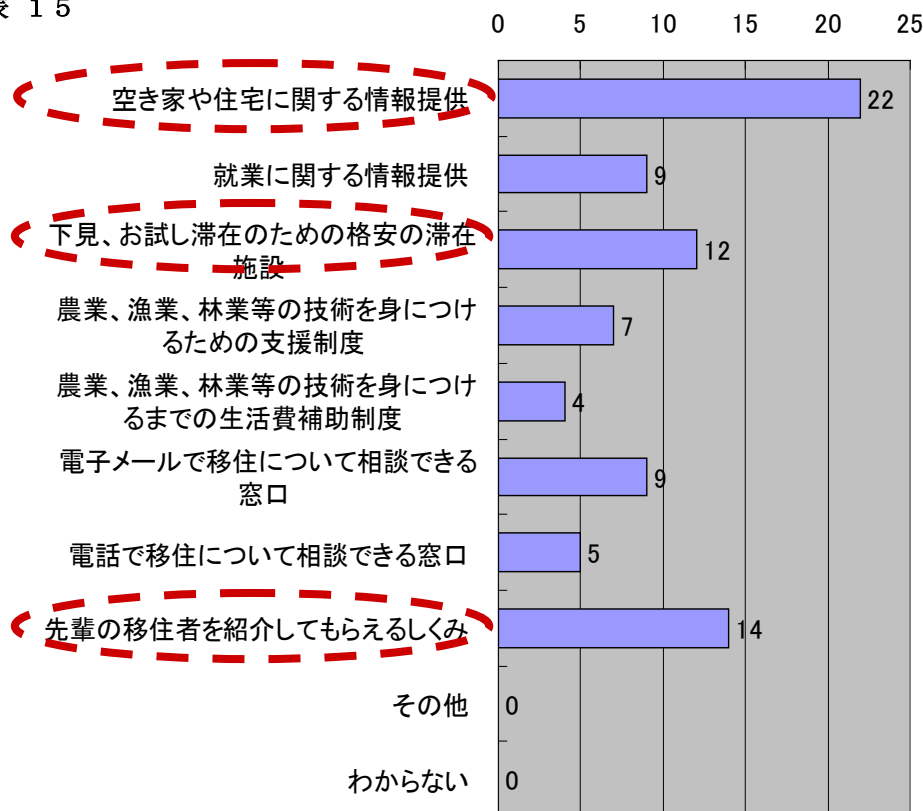
図表 1 4



④-4 (田辺市独自分設問) 魅力的な移住支援施策

魅力的な移住支援施策としては、空き家や住宅に関する情報提供、先輩の移住者を紹介してもらえらるしくみ、下見・お試し滞在のための格安の滞在施設 等があげられた。

図表 1 5

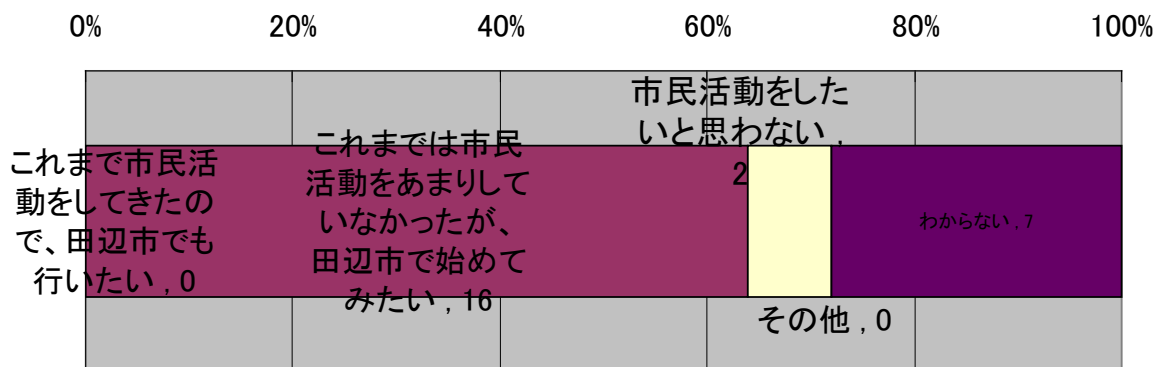


④-5 (田辺市独自分設問) 移住後の市民活動への意向

田辺市においては市民活動が活発に行われている。移住後に市民活動への参加意向について尋ねたところ、6割強がこれまであまりしていなかったが、田辺市で始めてみたいと回答している。

ただし「わからない」とした回答も2割を超えており「市民活動」が具体的にイメージされにくかったとも考えられる。

図表 1 6



④-6 (田辺市独自分設問) 田辺市の地域社会に貢献できそうなこと

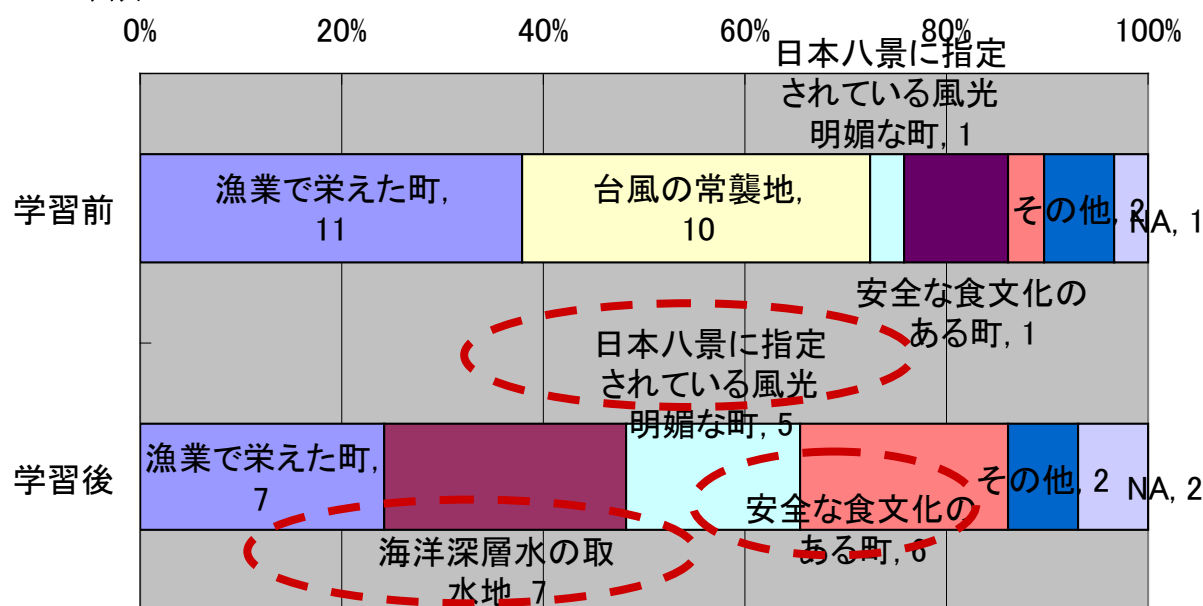
田辺市の地域社会に貢献できそうなことについての回答は以下のとおりであった。ビジネスや留学経験を活かしたいとするものが複数みられた。

- ・今は思いつきませんが、自分が自分らしく生きること中で、地域にお役に立てることがあれば積極的に活動したい。
- ・何に貢献できるかという具体的なものは有りませんが、共同で行う作業や行事には積極的に参加したいと思います。
- ・広報の知識を活かし、より魅力的にアピールする企画を考えてみたりすること。
- ・企業の広報室で働いている経験を活かし、地域の文化活動と結びつけた地域全体の広報に貢献できればと思います(上段と同一回答者)。
- ・関西弁と標準語の通訳。
- ・英語の先生。
- ・留学をしていた経験があり、仕事では海外から研修生の受け入れなどを行っていたので、田辺市にいらっしゃる海外の方へのおもてなしができます。
- ・当初は地域の状況を把握することが優先されると思う。
- ・田辺の持つ魅力を最大限利用しつつぜひ活気のある地域作りに挑戦したいと思います。いろんなジャンルや年代の人が集える場作り、田舎と都市に住む人との交流(経済活動も含めて)、エコロジーなコミュニティ(環境にも人にもやさしい地域)作りをしてみたいと考えています。

⑤-1 (室戸市独自分設問) 学習による「室戸市」のイメージの変化

学習前と後で、室戸市についてのイメージがどのように変化したか聞いたところ、漁業とほぼ並んでいた「台風の常襲地」というイメージが払拭され、日本八景や海洋深層水、安全な食文化等が強い印象を残したものと考えられる。

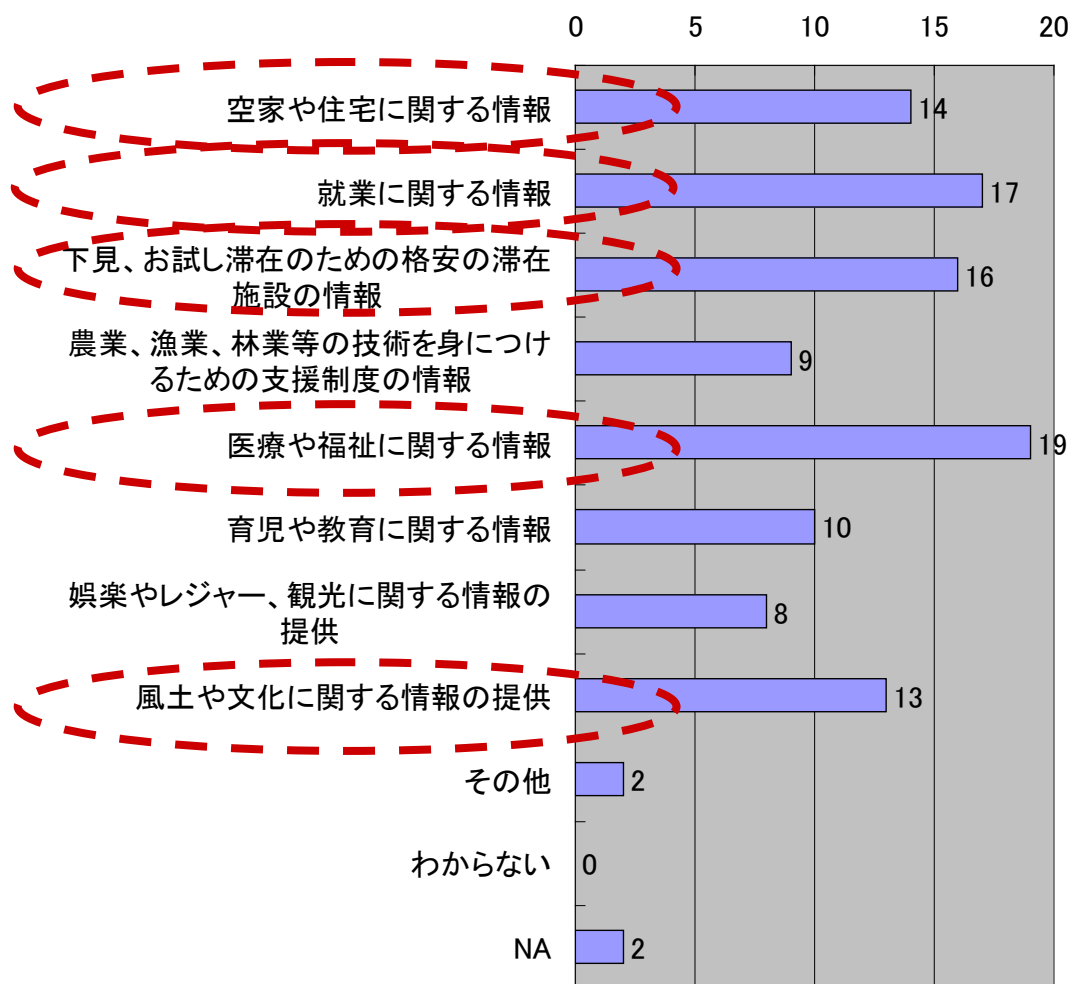
図表 17



⑤-2 (室戸市独自分設問) 魅力的な移住支援施策

魅力的な移住支援施策としては、医療や福祉に関する情報、就業に関する情報、下見・お試し滞在のための格安の滞在施設の情報の提供が多くあげられた。

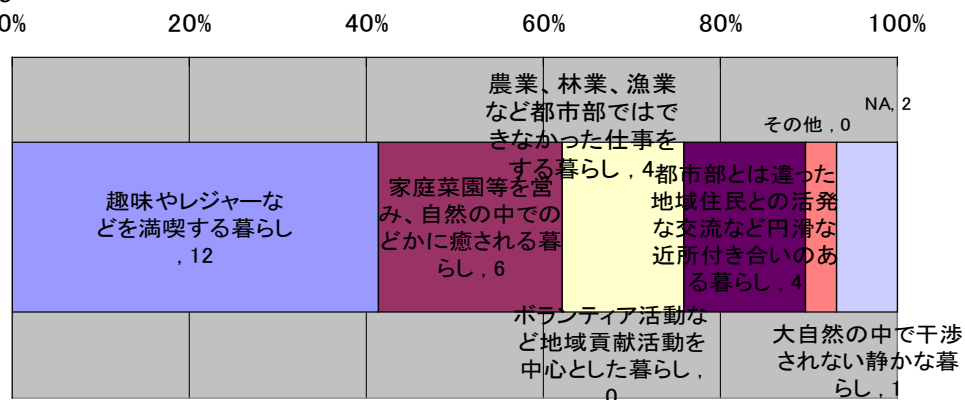
図表 18



⑤-3 (室戸市独自分設問) 室戸市で望むライフスタイル

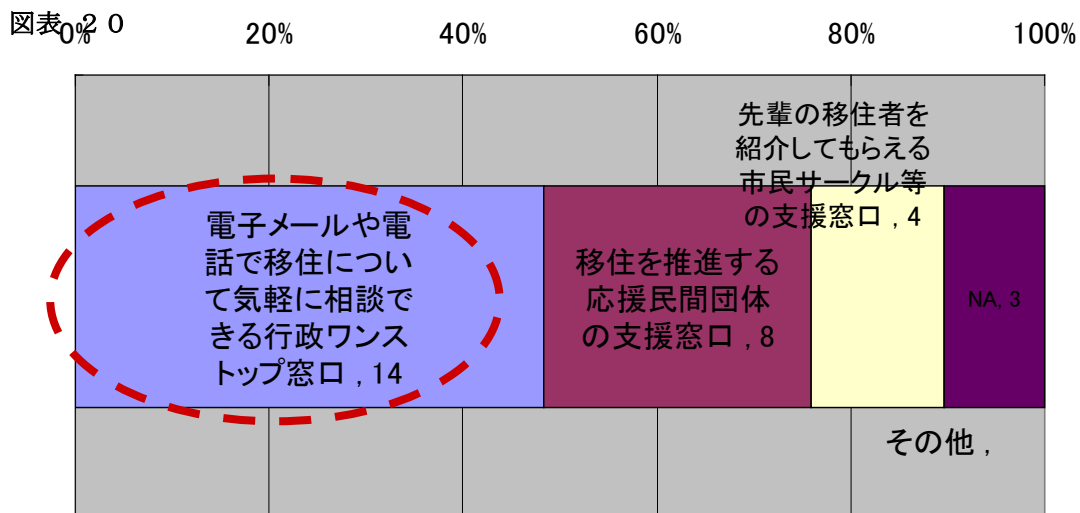
室戸市で望むライフスタイルとしては、趣味やレジャーを満喫する暮らしがもっとも多く、次いで家庭菜園を営み、自然の中でのどかに癒される暮らしがあげられた。

図表 19



⑤-4（室戸市独自分設問）情報収集しやすい窓口形態

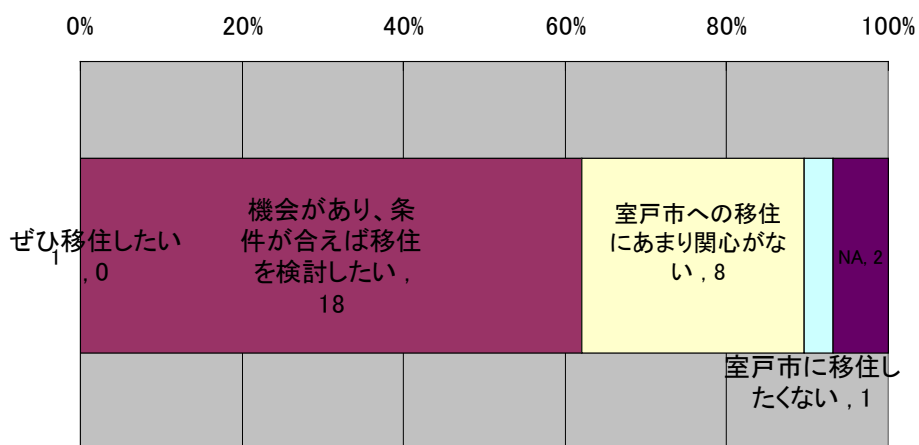
どんな携帯の窓口が情報収集しやすいか聞いたところ、「電子メールや電話で気軽に相談できる行政ワンストップ窓口」が半数近くを占め、次いで「移住を推進する応援民間団体の支援窓口」となっている。



⑤-5（室戸市独自分設問）室戸市への移住意向

室戸市への移住意向については6割強が「機会があり条件が合えば移住を検討したい」としている。

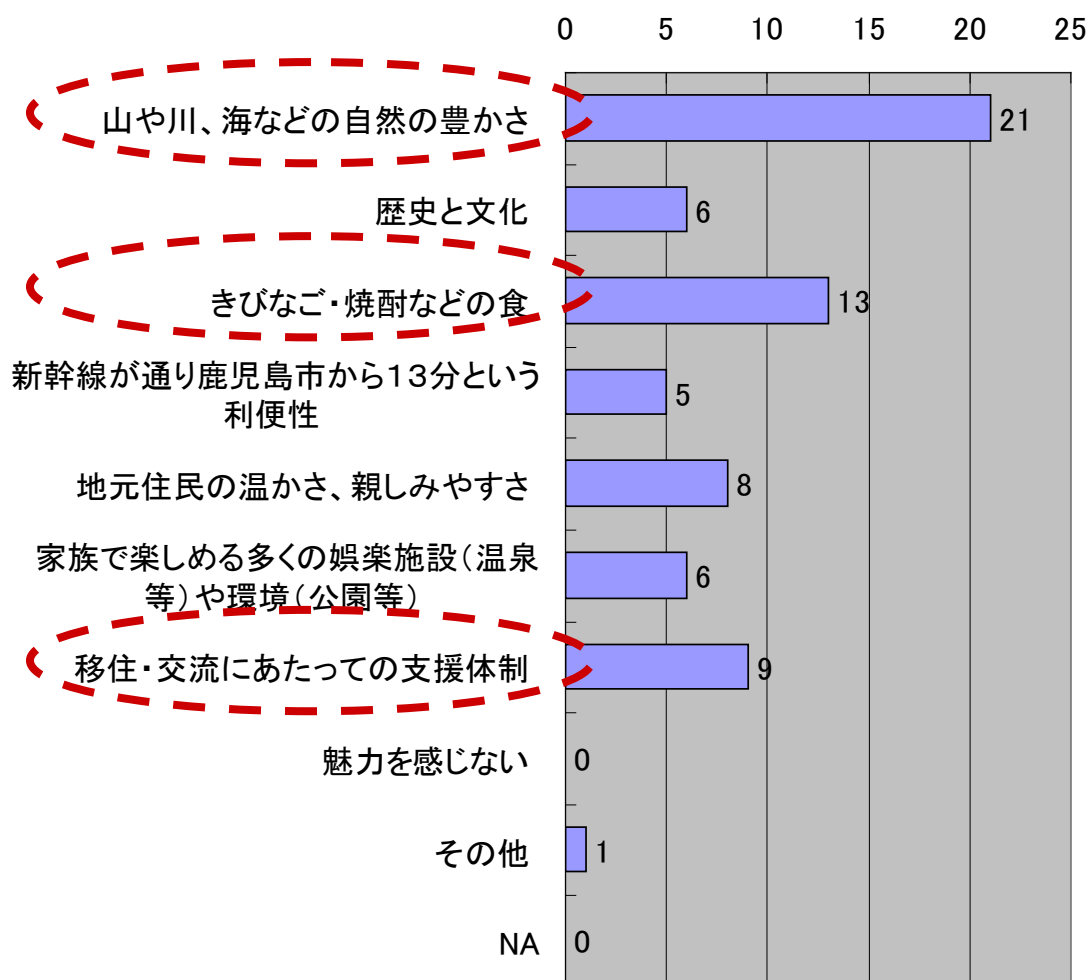
図表 21



⑥-1 (薩摩川内市独自分設問) 薩摩川内市の魅力で気に入ったもの

薩摩川内市の魅力で気に入ったものとしては、「自然の豊かさ」が極めて多く、次いで「きびなご、焼酎などの食」「移住・交流にあたっての支援体制」があげられている。

図表 2 2



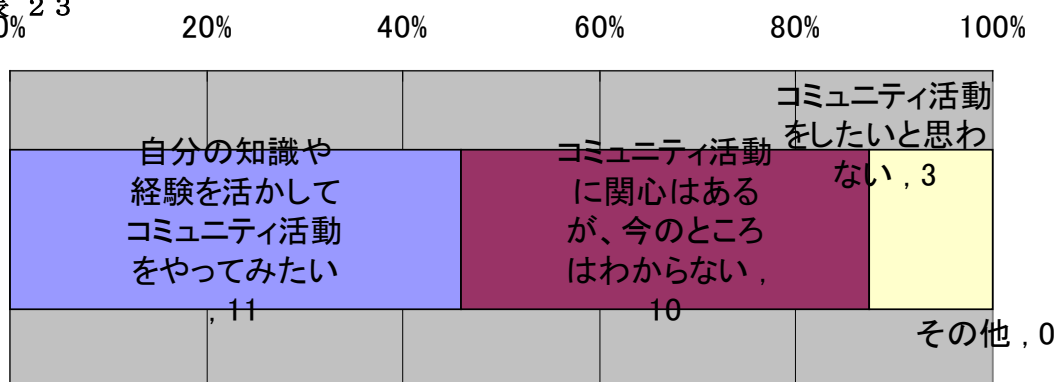
「その他」としては以下があげられている。南九州西回り自動車道については複数がふれている。

- ・ テックしなかった項目に関して、とても興味があるのですが、ビデオではほとんど紹介されてない。支援体制も農業従事者だけですか。
- ・ 南九州西回り自動車道の開通期待
- ・ 薩摩川内市が解らない
- ・ 南九州西回り自動車道の開通期待

⑥-2（薩摩川内市独自分設問）薩摩川内市でのコミュニティ活動への意向

薩摩川内市でのコミュニティ活動への意向については、半数が知識や経験を活かしてやってみたいと回答したものの、関心はあるが今のところわからないとするものもほぼ同数を占めている。

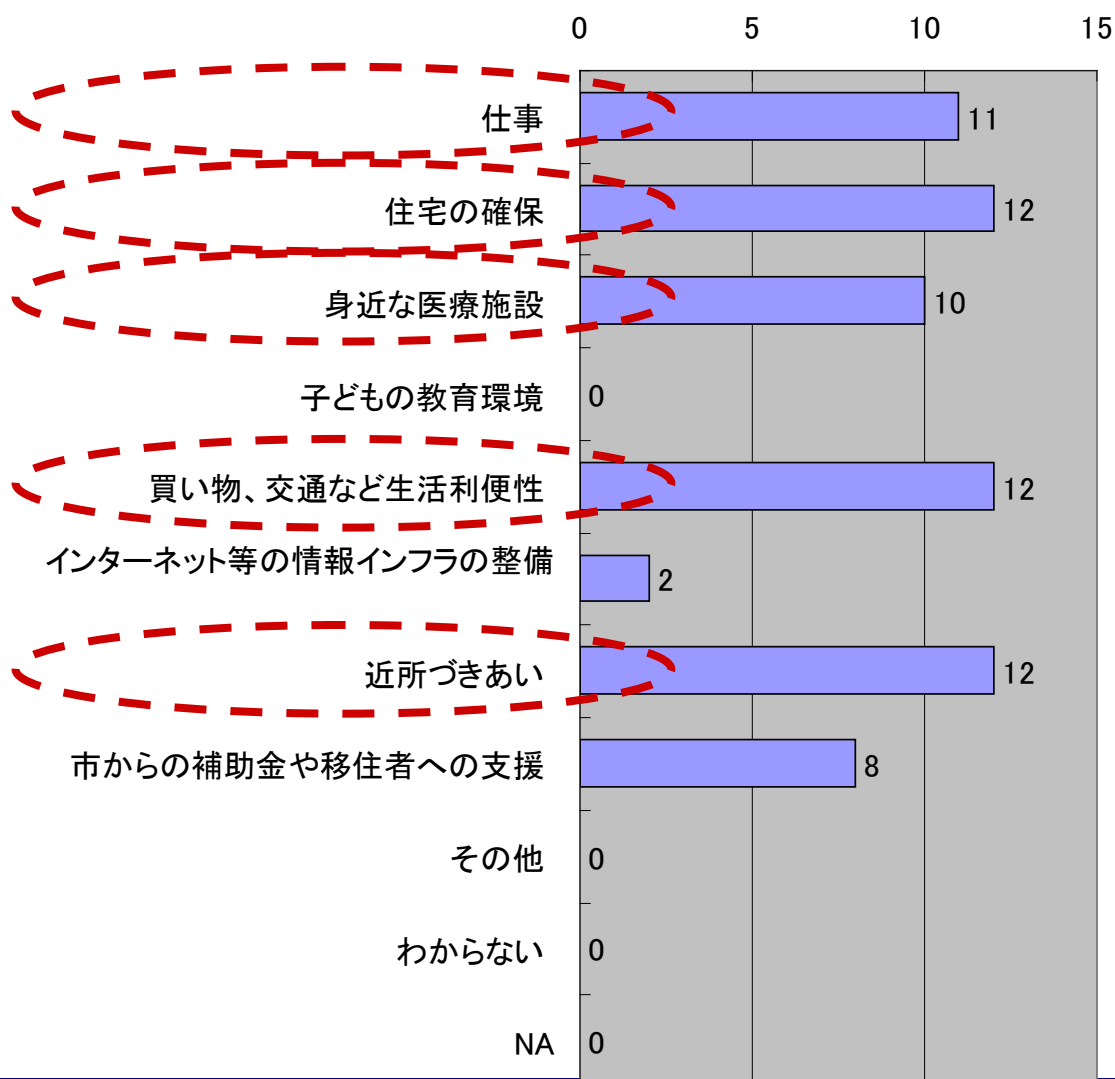
図表 2 3



⑥-3（薩摩川内市独自分設問）薩摩川内市での田舎暮らしで重視するもの

薩摩川内市での田舎暮らしで重視するものとしては、住宅の確保、買い物・交通などの生活利便性、近所づきあい、仕事がほぼ同数で多くあげられている。

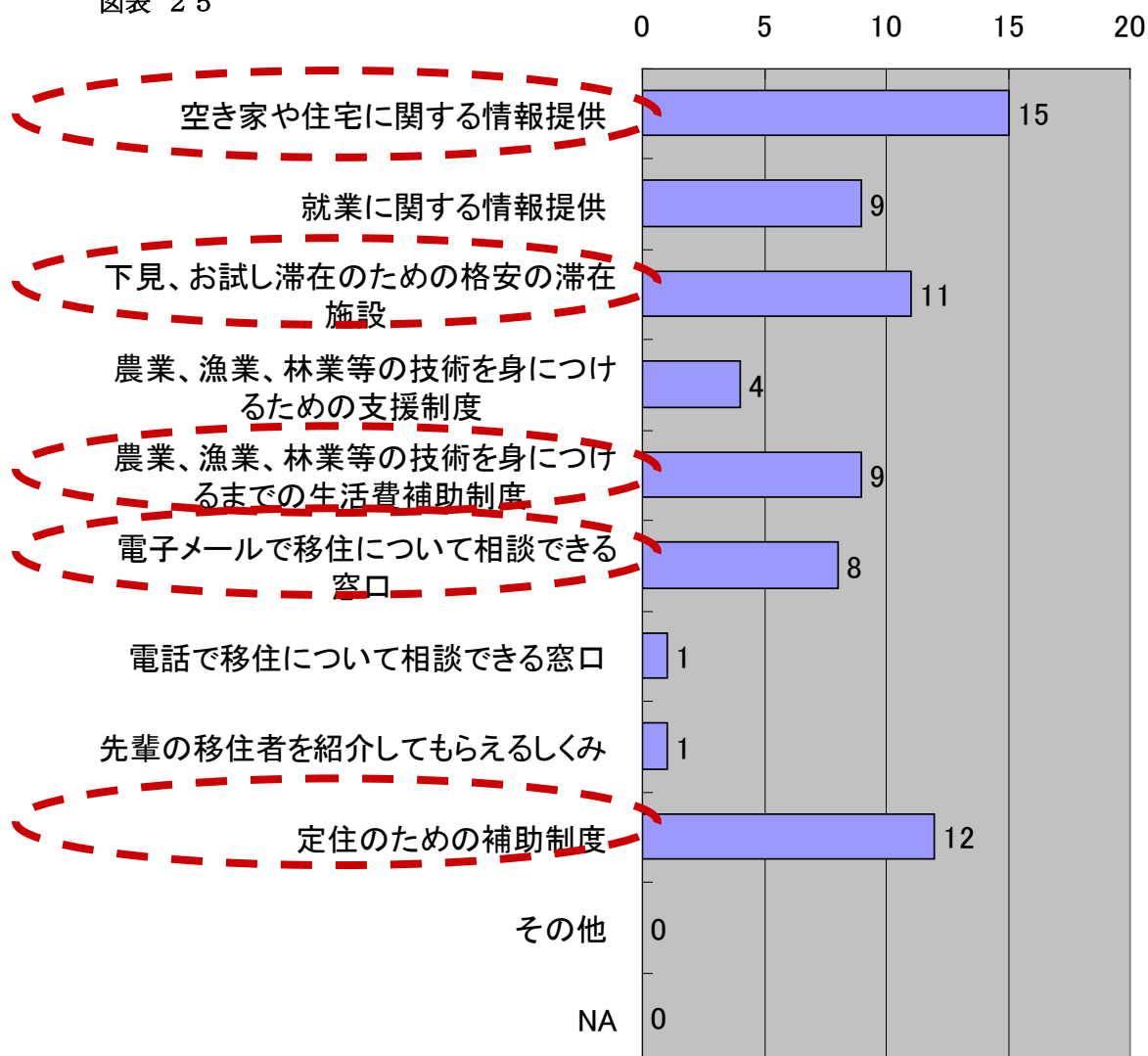
図表 2 4



⑥-4 (薩摩川内市独自分設問) 魅力的な移住支援施策

魅力的な移住支援施策としては、空き家や住宅に関する情報提供、定住のための補助制度、下見・お試し滞在のための格安の滞在施設が多くあげられている。

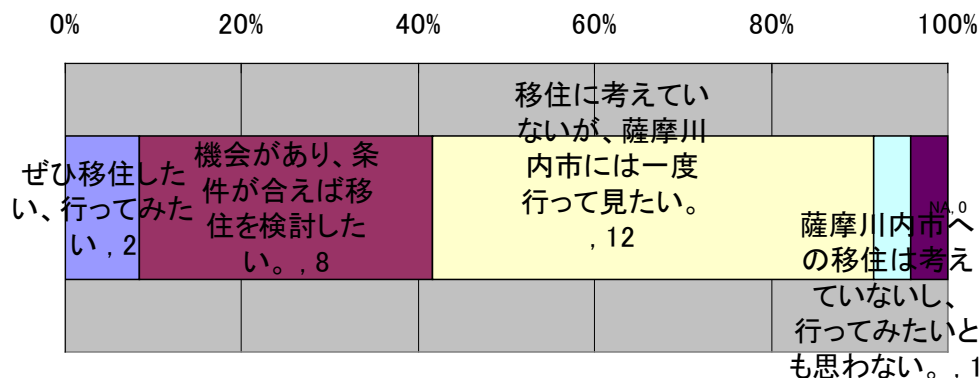
図表 2 5



⑥-5 (薩摩川内市独自分設問) 薩摩川内市への移住意向

薩摩川内への移住意向については、「ぜひ移住したい」「機会があり条件があえば移住を検討したい」が約 4 割を占める一方、移住は考えていないが一度は行ってみたいとする回答がこれを上回っており、「交流」マーケットの大きさを示している。

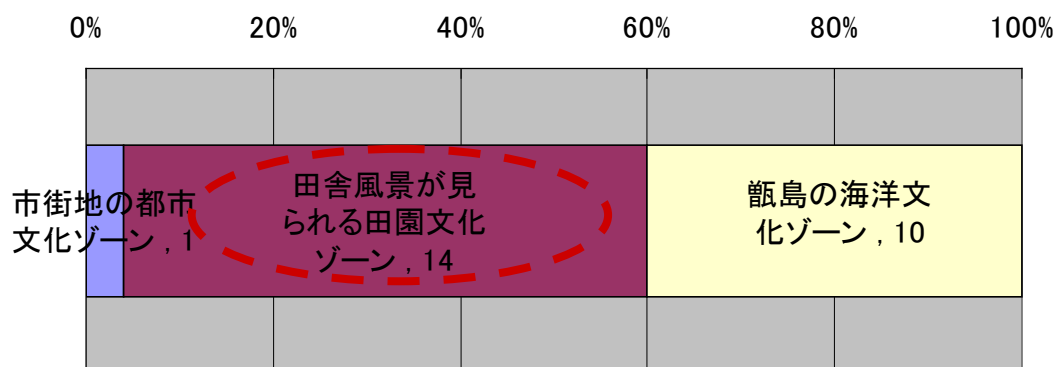
図表 2 6



## ⑥-6（薩摩川内市独自設問）薩摩川内市で住んでみたいゾーン

薩摩川内市で住んでみたいゾーンについて尋ねたところ、半数強が「田舎風景が見られるゾーン」を、4割が「甌島の海洋文化ゾーン」との回答であった。

図表 27

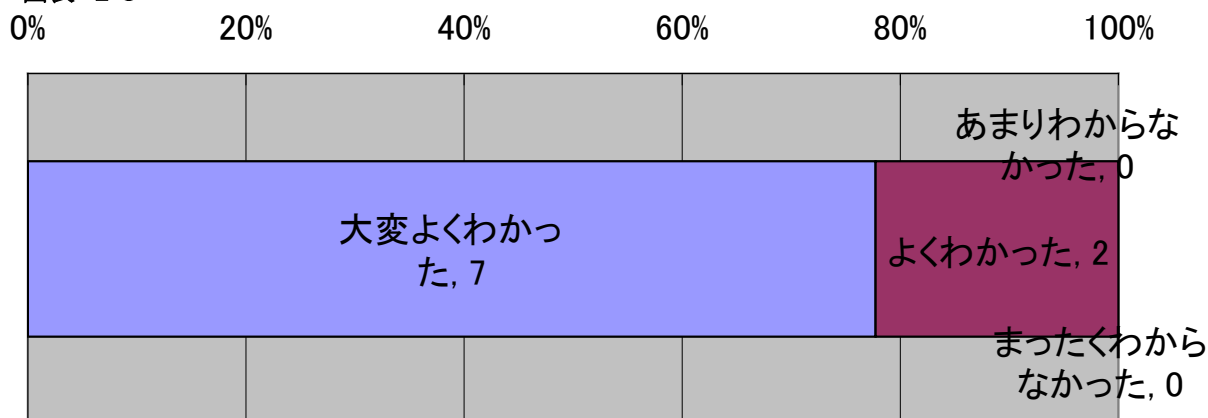


(4) 地域住民向けコンテンツデータ受講後アンケート

①コンテンツデータの理解度

コンテンツデータが理解できたかどうかについての設問に対しては、「大変よくわかった」「よくわかった」がほとんどを占めており、コンテンツデータの難易度の設定は適切であったと考えられる。

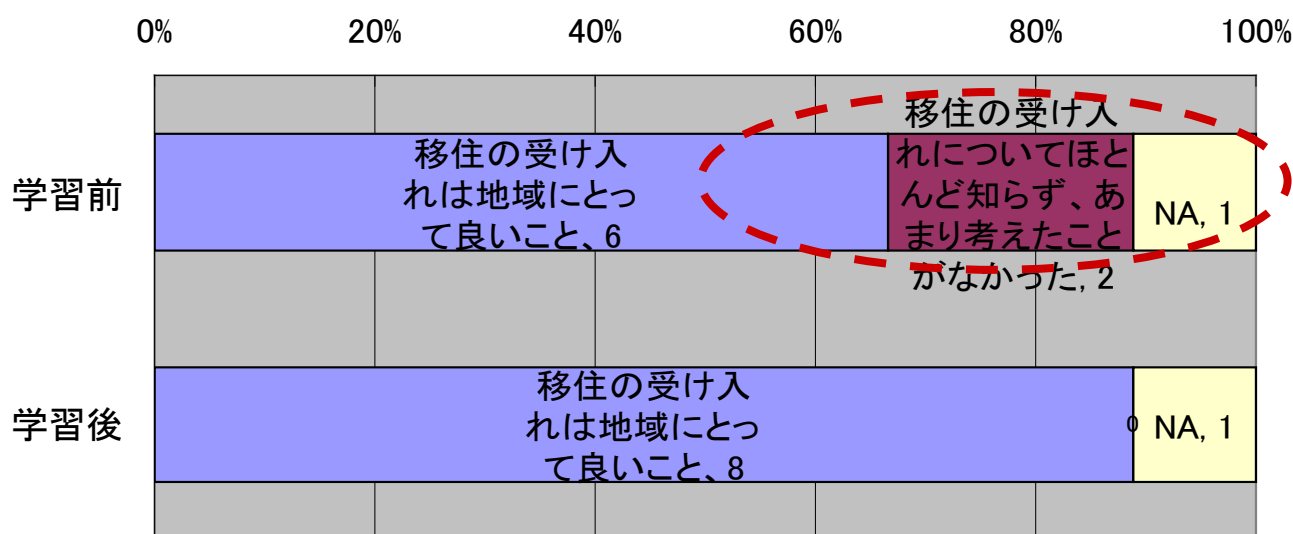
図表 28



②コンテンツデータ学習前後の移住受入意向の変化

コンテンツデータ学習前後の、移住を受け容れる意向への変化について尋ねたところ、「移住の受入についてあまり知らず、あまり考えたことがなかった」と回答したユーザーが、そのまま「移住の受入は地域にとってよいこと」と変化しており、このコンテンツデータによる地域住民への移住の重要性に関する教育・啓蒙の効果はあるものと考えられる。

図表 29

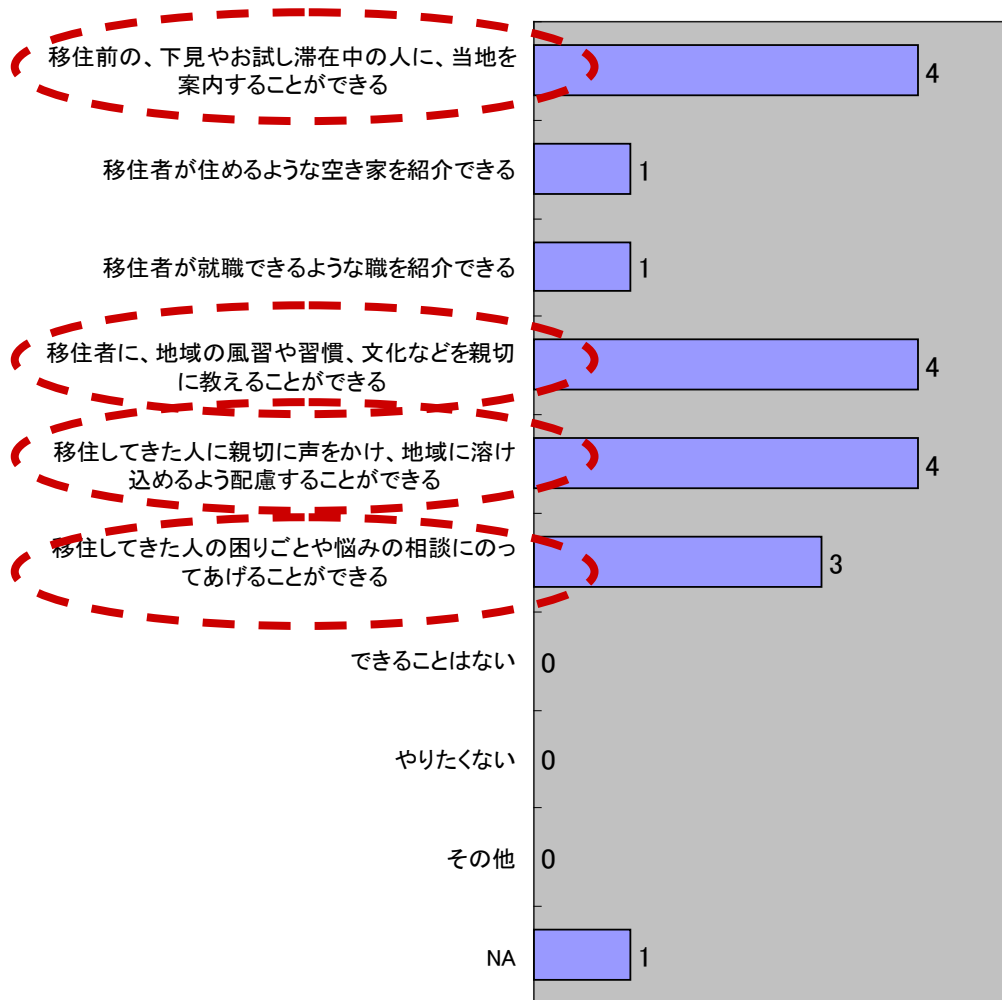


### ③移住受入にあたって協力できること

移住受入にあたって協力できることとしては、当地の案内や習慣・文化を教える、地域に溶け込めるよう配慮する、困りごとや悩みの相談にのる、などがあげられた。

一方移住者のニーズとして多くあげられた空き家や職についての協力ができるとした回答は極めて少なかった。

図表 30



### ④移住受入についての意見

移住受入についての自由な意見を求めたところ、以下のような回答が得られた。

- ・ いままでの生き方とまったく違う考え方をどう受け入れてもらうか？ある程度のマニュアルは必要だと思います
- ・ 高齢化や後継者不足の農村にとって、新規就農者を地域外から求める事も考えなくてはいけない状況だと感じています。また、労働力としても期待します。ただ、農村では、地域外からの移住に対して、まだまだ拒否反応も多いと感じていますので、いっそうの啓発が必要です。こうしたe ランニングも良いのですが、シンポジウムや広報誌等での地域への啓発を求めます。
- ・ 人が増えれば過疎化や少子高齢化に歯止めをきかせることになり、たくさんの方が地域を通して交流すればまちも活力に溢れ、大変良いことだと思う。

## 4.2 ロジックモデルに沿った評価

本事業においては、ロジックモデルを活用し、

- A.都市生活者の移住・交流対象地域への関心を高めることによって、地域経済の活性化、定住人口の増加などをもたらす「地域活性化効果」、
- B.地域情報プラットフォームを活用した「ワンストップサービス実現による利便性向上」の2つの観点に照らして、事業の効果を評価する。

### 4.2.1 地域活性化に関する評価

地域活性化に関する評価のフレームは以下のとおりである。

図表 31

アウトカムの分野	最終アウトカム	中間アウトカム	アウトプット		スループット	
			測定対象・測定項目	測定対象・測定項目		
地域活性化	移住・交流の促進	移住・交流希望ニーズの醸成	サイト閲覧者の中の移住・交流希望の増加	アンケート回答者の人数(サイト閲覧前/後)	サイトの利用者属性	サイト利用者の性別、年齢、居住地等
					サイト内の利用動向	利用検索エンジン、利用時間帯、滞在時間、リピート回数
					リンクした市や既存の各地コンテンツデータの閲覧	他のサイトへのアクセス遷移数
					コンテンツデータ連携の実感性	サイト利用者によるアンケート回答
		受入側における移住・交流受入意識の醸成	受入側における移住・交流の動向・意義に関する理解の向上	受入側の地方公共団体職員、受入側向けコンテンツデータ利用者の人数	サイト内の利用動向	サイト利用者によるアンケート回答

以下、アウトプットの項目ごとに記述する。

#### ①サイト閲覧者の中の移住・交流希望の増加

回答者人数は、前述**エラー! リンクが正しくありません**。ポータルサイトにおけるアクセス数と**eラーニング受講者数、アンケート回答者数**のとおりである。

利用者属性は前述の図表 1 のとおりである。男性が75.8%を占めており、年代は40代が32.8%、30代が25.3%、50代が21.5%を占めている。また職業ではフルタイム正社員が46.8%、公務員が17.7%、自営業が8.1%となっている。居住地は東京・神奈川の首都圏が全体の約1/3を占め、3つのモデル地域で6割弱を占める。移住したい地域になると、それぞれモデル地域が支持されている他は、北海道・長野・熊本との回答が多くあげられている。

サイト内の利用動向は同**エラー! リンクが正しくありません**、**エラー! リンクが正しくありません**のとおりである。

平均ページビュー及び平均サイト滞在時間からは、ほとんどのユーザーが、少なくとも移住・受入コンテンツデータの名称や趣旨を表記したページには到達しているが推測される（掲載されてい

る移住・交流コンテンツデータはいずれも1点15分前後)。

また直帰率は大多数のユーザーが複数ページに遷移していることを示しており、ストレスなくサイトの閲覧ができ、データ連携の実感性が低かったことが推測される。

リンクした市や既存の各地コンテンツデータの閲覧動向については、本サイトからの遷移先は把握できないが、本サイトの直前には、今回の事業関係先の自治体や移住交流推進機構が閲覧されている。サイト閲覧者における移住・交流希望は、サイト閲覧の前後において、すべてのコンテンツデータで「(閲覧前より)高くなった」が「低くなった」を上回っており、コンテンツデータ学習は移住・交流希望を増加させる効果があったと考えられる。

②受入側における移住・交流の動向・意義に関する理解の向上

利用者人数は前述エラー!リンクが正しくありません。ポータルサイトにおけるアクセス数とエラーニング受講者数、アンケート回答者数」のとおりである。

サイト利用者のアンケート回答(コンテンツデータ学習前/後の移住受入意向の変化)においては、コンテンツデータ閲覧によって移住・交流の受入について認識が進んだものと考えられる。自由回答においても移住・交流の意義についての言及やさらなる普及啓発活動についての言及が見られる。

4.2.2 地域情報プラットフォームに関する評価

地域情報プラットフォームに関する評価のフレームは以下のとおりである

図表 3 2

アウトカムの分野	最終アウトカム	中間アウトカム	アウトプット			
			測定対象・測定項目	スループット		
地域情報プラットフォーム	地域情報の利便性向上	利便性の高い移住交流ワンストップサービス	地域情報プラットフォームを活用したワンストップサービス	サイト利用者によるアンケート回答、システム構築プロセスの動向	引越しワンストップサービスと移住・交流ワンストップサービスの相互利用による有益な情報活用	サイト利用者によるアンケート回答、システム構築プロセスの動向
					地域情報プラットフォーム標準仕様書 v2.0 に準拠したワンストップサービスの分析・設計手順による容易なシステム構築	サイト利用者によるアンケート回答、システム構築プロセスの動向
					地域情報プラットフォーム標準仕様書 v2.0 に準拠した、利便性の高いワンストップサービスの接続環境及び操作性の高い情報入手環境	サイト利用者によるアンケート回答、システム構築プロセスの動向
					利便性の高いワンストップ基盤	サイト利用者によるアンケート回答、システム構築プロ

						セスの動向
--	--	--	--	--	--	-------

以下、アウトプットの項目ごとに記述する。

#### ①地域情報プラットフォームを活用したワンストップサービス

引っ越しワンストップサービスと移住・交流ワンストップサービスの相互利用については、相互接続は行ったものの業務的なシナリオを設定した業務連携までには至っていない。

システム構築においては、地域情報プラットフォーム標準仕様書 v2.0 に準拠したワンストップサービスの分析・設計手順に準拠したことによって、システム間のデータインタフェース機能の構築が容易に行え、接続テストも双方での仕様に関する誤解を生じることなく、円滑に実施できた。

ワンストップサービスの接続環境及び情報入手環境については、地域情報プラットフォーム標準仕様書 v2.0 に規定された B P M 機能を利用することなくシステム実装した。本システムがデータをベルトコンベア式に回送するものではなく、情報提供を主としたものであるためである。

ポータルシステムのみ利用者登録すれば、実証自治体の管理する e ラーニングシステムにシステム連携を意識することなく実現でき、利便性の向上は認められた。

### 4.3 モデル地域へのフィードバックによる成果

現地調査にかかる企画および実証結果をモデル地区へフィードバックしたことにより、行政施策への反映や取り組み検討、地区コミュニティ活動への変化から本事業の副次的な成果が見て取れる。

以下、各地域別に副次的な成果を記述する。

#### 4.3.1 和歌山県田辺市

- ・移住者向け移住・交流データ（コンテンツデータ）を地域の情報発信素材として、また、地域住民向けコンテンツデータを、移住・交流受入促進のための地域住民の理解醸成のためのツールとして、新規に構築する田辺市定住支援協議会の HP に活用していく。また、インターネット市民塾「わかやまインターネット市民塾」の講座として登録し、継続利用を行う。
- ・地域情報の発信の仕組みとして、より効果的な市民塾システムのあり方やコンテンツデータ（移住・交流者向け移住・交流データを含む）の活用方法を検討する。
- ・和歌山県との連携事業として、不動産事業者のネットワークを含めた移住者受入のための住宅情報の基盤づくりを引き続き実施していく。

#### 4.3.2 高知県室戸市

- ・移住者向け移住・交流コンテンツデータを地域の情報発信素材として、市の広報 PR 用に活用していく。また、インターネット市民塾「kochi くろしお学校」への登録し、継続利用を検討していく。
- ・ハード事業の付加価値を向上させるため、総務省「頑張る地方応援プログラム」室戸市観光振興プロジェクトによる「観光ガイド」に資して、効果の高いプロモートおよびコーディネートが可能となるよう事業推進を図る。
- ・高知県と連携して、東部地域の体験ツアーの企画、体験プログラム、受入準備等を各市町村と連携コーディネートする役割を担う人材の創出を検討する。
- ・現地調査にて策定して体験プログラムをメニュー化し、汎用的に活用できる仕組みを検討する。また、メニューの多様化と拡販が可能となるよう地域協力者を募りたい。このメニューを体験プログラム等に組み込むことで、有効活用を実現したい。
- ・室戸市内の空き家を調査し、「モニターハウス」に転用可能か把握する。

#### 4.3.3 鹿児島県薩摩川内市

- ・本事業を契機とし、地域住民と現地調査員（首都圏在住者）とのつながりが生まれ、情報交換や訪問による交流が継続している。
- ・現地調査対象となった大馬越地区コミュニティにおいて、今回の現地調査の成功体験が地域住民の自信となり、来年度以降も移住・交流活動に持続的に取り組む気運が生まれた。具体的には、次年度の地区コミュニティ振興計画に「交流の促進」が盛り込まれ、地区の地域資源（人、自然、食材等）を活用した交流・体験活動のメニュー化等が検討されている。
- ・地域情報の発信の仕組みとして、より効果的な市民塾システムのあり方やコンテンツデータ（移住・交流者向け移住・交流データを含む）の活用方法を検討する。
- ・薩摩川内市の知名度向上を図るため、各種団体の人材育成や、市を含めた推進体制を構築し、市民協働型として継続可能な仕組みの実現を目指す。
- ・既存の農業体験や自然体験が中心となっていたグリーンツーリズムに加え、本事業での成果を踏まえ、地域コミュニティでの新たなグリーンツーリズムの形を模索する。

## 5. 相互接続検証結果の提示

### 5.1 地域活性化分野(地域内外の交流促進)

#### 5.1.1 検証環境の開発

##### (1) システム構成

定義した検証環境にもとづき、地域活性化分野(移住・交流支援系)の検証用環境を構築した。また、テストドライバは、送信処理を行う「リクエスタ」、受信処理を行う「レスポнда」から構成され、図 3.2 に示すような流れで、移住交流分野基盤、基準分野横断基盤間の処理を行う。また、テストドライバに実装される機能の概要を表 3.13 に示す。

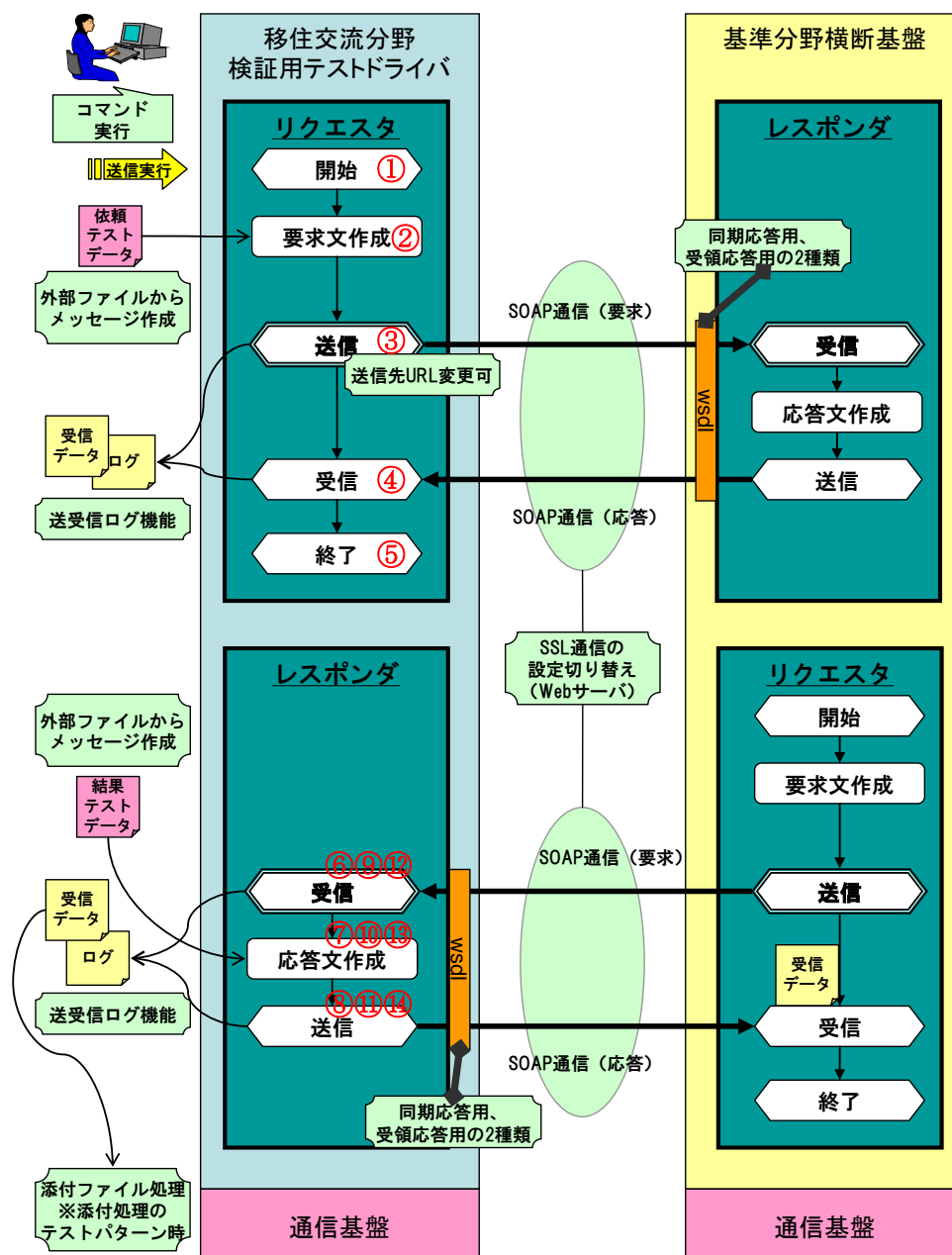


図 3-1 相互接続検証のシステム概要図

表 3-1 相互接続検証処理説明

No.	機能	詳細機能	処理概要
1	リクエスタ 機能	開始	処理を開始する。
2		要求文作成	外部ファイルとして読み込んだ要求テストデータを元に SOAP 要求電文を作成する。
3		送信	外部設定ファイルより取得した送信先 URL に作成した SOAP 要求電文を送信し、ログ出力を行う。 送信先 URL によってそれぞれ異なる通信手段を持つリクエスタ機能が動作する。 また、SSL 相互認証の場合、指定したクライアント証明書を用いて暗号化通信を行う。
4		受信	応答電文を解析しログ出力を行い、XML 形式として、外部ファイルへ保存する。
5		終了	処理を終了する。
6	レスポнда 機能 (pf_suisin)	受信	要求電文を解析しログ出力を行い、受信メッセージをファイル保存する。 また、添付書類タグに値がセットされている場合、添付ファイル処理（デコード）を行う。
7		応答文作成	外部ファイルとして読み込んだ応答テストデータを元に SOAP 応答電文を作成し、XML 形式として、外部ファイルへ保存する。 また、添付書類タグに値がセットされている場合、添付ファイル処理（エンコード）を行い、外部ファイルとして保存する。
8		送信	リクエスト元に作成した SOAP 応答電文を送信する。
9	レスポнда 機能 (pf_suisin_SSL_SVR)	受信	要求電文を解析しログ出力を行い、受信メッセージをファイル保存する。 リクエスト機能の送信処理との間で暗号化通信を行う。またその際にサーバ認証を行いサーバが正しい通信相手かどうかの確認を行う。
10		応答文作成	外部ファイルとして読み込んだ応答テストデータを元に SOAP 応答電文を作成し、XML 形式として、外部ファイルへ保存する。
11		送信	リクエスト元に作成した SOAP 応答電文を送信する。
12	レスポнда 機能 (pf_suisin_SSL_CLI)	受信	要求電文を解析しログ出力を行い、受信メッセージをファイル保存する。 リクエスト機能の送信処理との間で暗号化通信を行う。またその際に相互認証を行いサーバ、クライアントがそれぞれ正しい通信相手かどうかの確認を行う。
13		応答文作成	外部ファイルとして読み込んだ応答テストデータを元に SOAP 応答電文を作成し、XML 形式として、外部ファイルへ保存する。
14		送信	リクエスト元に作成した SOAP 応答電文を送信する。

(2) 環境設定

各システムは、ネットワーク情報など接続に必要な情報を事前に設定するものとする。設定に必要な情報を以下に記す。

① IPアドレス/ホスト名

表 3-2 IPアドレス/ホスト名一覧

No.	施設	機器	IP アドレス	ホスト名
1	交通オアシスビル (ゲストルーム)	基準分野横断基盤	192.168.1.200	pf-kijyun1
2		地域活性化分野 (移住・交流支援) (移住交流分野横断基盤)	192.168.1.11	pf-bunya4

※C:\WINDOWS\system32\drivers\etc\hosts ファイルへ上記内容を追加しておくこととする。  
(OS を C ドライブへ標準インストールした場合のパス)

② エンドポイント URL

表 3-3 エンドポイント URL 一覧

相互接続検証実施用の定義			
No.	テスト ケース	wSDL	エンドポイント
1	TM1	Synchronous-2way.wSDL (Synchronous-2way)	(基準分野横断基盤) http://pf-kijyun1/pf_suisin/TM1.asmx (移住交流分野横断基盤) http://pf-bunya4/pf_suisin/TM1.asmx
2	TM2	Asynchronous-1way.wSDL (Asynchronous-1way)	(基準分野横断基盤) http://pf-kijyun1/pf_suisin/TM2-1.asmx (移住交流分野横断基盤) http://pf-bunya4/pf_suisin/TM2-1.asmx
3		Synchronous-2way.wSDL (Synchronous-2way)	(基準分野横断基盤) http://pf-kijyun1/pf_suisin/TM2-2.asmx (移住交流分野横断基盤) http://pf-bunya4/pf_suisin/TM2-2.asmx
4		Asynchronous-1way.wSDL (Asynchronous-1way)	(基準分野横断基盤) http://pf-kijyun1/pf_suisin/TM2-3.asmx (移住交流分野横断基盤) http://pf-bunya4/pf_suisin/TM2-3.asmx

表 3-4

相互接続検証実施用の定義				
No.	テストケース		wSDL	エンドポイント
5	TM3	TM3-1	Synchronous-2way.wsd1 (Synchronous-2way)	(基準分野横断基盤) https://pf-ki.jyun1/pf_suisin_SSL_SVR/TM3-1.asmx (移住交流分野横断基盤) https://pf-bunya4/pf_suisin_SSL_SVR/TM3-1.asmx
6		TM3-2	Synchronous-2way.wsd1 (Synchronous-2way)	(基準分野横断基盤) https://pf-ki.jyun1/pf_suisin_SSL_CLI/TM3-2.asmx (移住交流分野横断基盤) https://pf-bunya4/pf_suisin_SSL_CLI/TM3-2.asmx
7	TM4	TM4-1	Synchronous-2way.wsd1 (Synchronous-2way)	(基準分野横断基盤) http://pf-ki.jyun1/pf_suisin/TM4-1.asmx (移住交流分野横断基盤) http://pf-bunya4/pf_suisin/TM4-1.asmx

## ③サーバ証明書／クライアント証明書

テストモデル (TM3) において、各システムは SSL サーバ証明書／SSL クライアント証明書を事前にインストール設定するものとする。

## i) 事前準備

## (a) CSR (証明書発行要求) 作成情報の提供

CSR (証明書発行要求) 作成に必要な情報を基準分野横断基盤側から移住交流分野横断基盤側に送付する。

表 3-5 CSR に入力する情報

【CSRに入力する情報(ディステイングイッシュネーム)】		
項目	説明	値
コモンネーム	SSL接続サイトのURL(FQDN) (例: sample.verisign.co.jp)	pf-bunya1
組織名	申請団体の正式な英語組織名 (例: VeriSign Japan K.K.)	pf-suisin
部門名	部署やサービスなど任意の判別文字列 (例: Web Sales)	hikkoshi
市区町村名	所在地情報 (例: Chuo-ku)	
都道府県名	所在地情報 (例: Tokyo)	
国名	日本の国別記号 JP (例: JP)	JP

(b) CSR (証明書発行要求) の作成、送付

CSRに入力する情報をもとに、移住交流分野横断基盤側(自身のサーバ上)で作成を行い、基準分野横断基盤側に送付する。

表 3-6 CSR フォーマット

```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----  
MIIB4DCCAUKCAQAwwZ8xCzAJBgNVBAYTAkpQMREwDwYDVQQIEWhLYW5hZ2F3YTEV  
MBMGA1UEBxMMWW9rb2hhbWEtc2hpMRIwEAYDVQQKEwllwZi1zdWlzaW4xETAPBgNV  
BAstTCGhpa2tvc2hpMRIwEAYDVQQDEwllwZi1idW55YTEwKzApBgkqhkiG9w0BCQEW  
HHd3dy1hZG1pbkZzZXJ2ZXIuZXhhbXBsZS5jb20wgZ8wDQYJKoZIhvcNAQEBBQAD  
gY0AMIGJAoGBAK/aXrUpn95TDOE3UzGj2/xqXnJbzZAitHpEvHo7Qlpu0XTljYTT  
G1WyBye7L+3yGwc3l/FTmMNedgAwpJm5WarDZlj4Ij6woEnyiY71MWsDi+piJdBt  
+FnJ2SrZ/eC0m0PkS0dQAqxVXkFKKiltlyK96iu7KLtBvGFCJB1FHDCDAgMBAAGg  
ADANBgkqhkiG9w0BAQUFAAOBgQAWbrHFYewmtAGwiQ4F8rPszUHas8Og2g9mh1u  
UNmOPZDa1VBGdlUr8ZUAs6HrAlBrvw5jWLi/C/braf9iOoBiw3pd4Dtnhunjs1DR  
lnF6mwP1ro75CzmerSfEXQdOK/B32Dx/tz44DmFr0X4uv04Wf0wRMWs4eTTCvXUA  
008taQ==  
-----END CERTIFICATE REQUEST-----
```

## (c) 証明書の発行、送付

送付された CSR をもとに、基準分野横断基盤側で各証明書を発行し、移住交流分野横断基盤側に送付する。

## ■CA 証明書 (ca.cer)

```
Certificate :
  DATA :
    Version : 3
    SerialNumber : 2010
    Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
    Issuer :
      C=JP, O=pfsuisin, OU=kijyun, CN=kijyun1,
      /Email=kijyun1@pfsuisin.com
    Validity :
      notBefore : Jan 27 11:38:51 2009
      notAfter  : Feb 03 11:30:15 2009
    Subject :
      C=JP, O=pfsuisin, OU=kijyun, CN=kijyun1,

  Subject Public Key Info:
    Public Key Algorithm: rsaEncryption
    RSA Public Key: (512 bit)
    Modulus (512 bit):
      f1:f8:ac:07:cf:1e:07:4f:ec:69:67:a7:9d:84:2b:0c:27:98:c8:f1:
      c8:be:4e:9d:bf:83:78:33:7e:f4:b1:72:c0:45:36:f1:51:2e:be:31:
      78:0c:32:47:dc:8c:bb:eb:91:79:fc:0c:9b:aa:00:46:fc:5c:85:01:
      fe:a8:f2:83:
    Exponent:
      00:01:00:01:

  X509v3 extensions:
    x509 Basic Constraints: [critical]
      CA:TRUE
      PathLenConstraint:NULL
    x509 Key Usage: [critical]
      digitalSignature, nonRepudiation, keyEncipherment,
      dataEncipherment, keyAgreement, keyCertSign, cRLSign (0xfe)
    x509 Authority Key Identifier:
      5b:49:e4:96:23:06:47:2c:15:88:2d:cb:a7:86:89:ae:0a:d5:c6:f5:
    x509 Subject Key Identifier:
      e4:0e:a4:2a:c4:5a:86:3b:b6:bd:a5:2d:ca:ad:01:1e:9e:48:46:d8:

  Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
    8a:f7:4d:8c:e9:d4:78:84:14:fb:96:63:68:d2:b6:10:9b:be:
    78:fa:30:e7:0e:f0:f7:6f:11:bf:dc:44:90:48:fb:9c:47:2a:
    a6:44:e7:a1:d2:34:35:f7:d7:88:f7:2a:e6:07:30:8e:8c:c3:
    70:79:b9:f5:55:b0:32:f5:8b:4d:
```

## ■サーバ証明書 (bunya1.cer)

```
Certificate :
DATA :
  Version : 3
  SerialNumber : 2001
  Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
  Issuer :
    C=JP, O=pfsuisin, OU=kijyun, CN=kijyun1,
    /Email=kijyun1@pfsuisin.com
  Validity :
    notBefore : Jan 20 11:02:49 2009
    notAfter  : Jan 27 10:45:52 2009
  Subject :
    C=JP, ST=Kanagawa, L=Yokohama-shi, O=pf-suisin,
    OU=hikkoshi, CN=pf-bunya1, /Email=www-admin@server.example.com

Subject Public Key Info:
  Public Key Algorithm: rsaEncryption
  RSA Public Key: (1024 bit)
  Modulus (1024 bit):
    af:da:5e:b5:29:9f:de:53:0c:e1:37:53:31:a3:db:fc:6a:5e:72:5b:
    cd:90:22:b4:7a:44:bc:7a:3b:42:5a:6e:d1:74:e5:8d:84:d3:1b:55:
    b2:07:27:bb:2f:ed:f2:1b:07:37:97:f1:53:98:c3:5e:76:00:30:a4:
    99:b9:59:aa:c3:64:88:f8:22:3e:b0:a0:49:f2:89:8e:f5:31:6b:03:
    8b:ea:62:25:d0:6d:f8:59:c9:d9:2a:f3:fd:e0:b4:9b:43:e4:4b:47:
    50:02:ac:55:5e:41:4a:2a:29:6d:97:22:bd:ea:2b:bb:28:bb:41:bc:
    61:42:24:1d:45:1c:30:83:
  Exponent:
    00:01:00:01:

X509v3 extensions:
  x509 Basic Constraints:
    CA:FALSE
    PathLenConstraint:NULL
  x509 Key Usage:
    digitalSignature, nonRepudiation, keyEncipherment,
    dataEncipherment, keyAgreement, keyCertSign, cRLSign (0xfe)
  x509 Authority Key Identifier:
    5b:49:e4:96:23:06:47:2c:15:88:2d:cb:a7:86:89:ae:0a:d5:c6:f5:
  x509 Subject Key Identifier:
    5c:ed:21:10:91:bf:6a:9c:83:91:8a:05:f5:7e:48:13:da:13:b5:c7:

Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
25:27:60:4d:e4:ce:c0:53:6f:aa:a3:dd:a2:81:d4:26:79:4f:
d0:d5:c1:54:75:bf:d2:fd:6c:33:a4:70:ba:03:b2:6c:0c:58:
78:1c:6c:85:29:ca:50:79:b4:ab:20:e4:75:2d:92:aa:9e:7e:
34:09:99:b5:75:f8:13:66:5d:5d:
```

## ■ クライアント証明書 (pfki.jyun1.p12)

```
PKCS#12 file version : 3

----- PKCS#12 v1 Private Key Bag -----
Friendly Name: pf-kijyun1-cli
Local Key ID: 01 00 00 00
RSA Private Key:
modules:
  ae:f7:ab:b6:8d:d6:d5:69:fc:f7:63:e5:80:cc:e3:4c:33:b4:c9:54:
  9a:3c:92:90:68:9f:d0:ac:74:88:40:e5:b6:ff:e5:9e:a3:5c:3f:fa:
  03:41:ef:1c:4c:6e:93:79:0a:cf:21:4a:90:4b:aa:92:de:46:7f:ff:
  ee:10:93:31:
publicExponent:
  00:01:00:01:
privateExponent:
  7a:b7:10:c3:27:f6:2e:96:78:aa:d6:70:a8:06:8b:c0:ed:5e:f5:fa:
  15:77:38:60:7a:50:e4:9d:9f:d9:d4:91:5f:7b:c6:69:eb:1b:98:8d:
  b2:f0:f7:5f:5b:87:64:5b:35:71:26:8e:c0:7c:09:41:58:e8:f0:aa:
  a1:f9:5e:31:
prime1:
  e0:f0:5a:4f:4f:0f:4c:db:d8:e1:44:49:5a:57:64:77:ee:34:cb:87:
  c7:ce:49:a2:35:b1:0f:71:32:38:a5:c5:
prime2:
  c7:20:d0:cd:3a:c0:29:4b:bc:d5:77:d8:50:ae:ff:17:b1:01:2b:5f:
  4e:90:7e:96:f7:94:4c:e0:5e:05:3a:7d:
exponent1:
  72:3e:00:50:09:62:46:f1:dd:7b:c3:97:d1:b7:53:02:8a:4b:ec:17:
  01:06:a7:65:28:09:ce:42:fa:73:c4:d5:
exponent2:
  b4:28:ce:81:40:2c:67:b0:6c:72:be:71:69:de:4a:51:87:05:c5:d5:
  fe:e0:e0:87:7a:0c:24:d9:c2:76:fc:89:
coefficient:
  3b:b0:5b:dd:80:2e:41:fb:36:d5:96:3e:3b:7b:24:05:b6:b2:cb:35:
  c7:80:3c:eb:7e:80:4a:96:2d:6a:8e:8b:
----- END of Private Key Bag -----

----- PKCS#12 v1 Cert Bag -----
Friendly Name: kijyun1
Local Key ID: 00 00 00 00
Certificate :
  DATA :
    Version : 3
    SerialNumber : 1
    Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
    Issuer :
      C=JP, O=pfsuisin, OU=kijyun, CN=kijyun1,
      /Email=kijyun1@pfsuisin.com
    Validity :
      notBefore : Jan 27 11:30:15 2009
      notAfter : Feb 03 11:30:15 2009
    Subject :
      C=JP, O=pfsuisin, OU=kijyun, CN=kijyun1,
      /Email=kijyun1@pfsuisin.com

  Subject Public Key Info:
    Public Key Algorithm: rsaEncryption
    RSA Public Key: (512 bit)
    Modulus (512 bit):
      d0:61:41:c9:dd:32:6d:2c:85:f8:f4:20:d3:1c:82:7d:78:53:60:e6:
      74:29:13:74:d7:d1:65:67:1f:fa:b4:4c:35:d5:9e:77:fa:4f:f8:73:
      46:d7:be:7d:69:c6:30:03:80:72:e8:49:0b:ac:a3:bc:07:9f:a3:ed:
      ca:38:f9:77:
    Exponent:
      00:01:00:01:
```

※次ページに続く

## ■ クライアント証明書 (pfkijyun1.p12) 前ページ続き

```
X509v3 extensions:
  x509 Basic Constraints: [critical]
    CA:TRUE
    PathLenConstraint:NULL
  x509 Key Usage: [critical]
    digitalSignature, nonRepudiation, keyCertSign, cRLSign (0xc6)
  x509 Subject Key Identifier:
    5b:49:e4:96:23:06:47:2c:15:88:2d:cb:a7:86:89:ae:0a:d5:c6:f5:

Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
c2:05:a6:ef:a1:c8:d1:56:0c:60:26:0c:6e:8f:7f:8c:db:ef:
ba:b4:89:a8:75:42:0f:e1:45:d7:f5:01:34:75:38:68:33:83:
78:9c:81:1e:80:36:17:11:4a:68:6d:35:65:c4:07:cb:0c:4d:
6b:ab:be:4f:ca:e7:e7:4f:e6:72:
----- END of Cert Bag -----

----- PKCS#12 v1 Cert Bag -----
Friendly Name: pf-kijyun1-cli
Local Key ID: 01 00 00 00
Certificate :
  DATA :
    Version : 3
    SerialNumber : 5
    Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
    Issuer :
      C=JP, O=pfsuisin, OU=kijyun, CN=kijyun1,
      /Email=kijyun1@pfsuisin.com
    Validity :
      notBefore : Jan 27 11:30:44 2009
      notAfter  : Feb 03 11:30:15 2009
    Subject :
      C=JP, O=pfsuisin, OU=kijyun, CN=pf-kijyun1-cli,
      /Email=pf-kijyun1-cli@pfsuisin.com

  Subject Public Key Info:
    Public Key Algorithm: rsaEncryption
    RSA Public Key: (512 bit)
    Modulus (512 bit):
      ae:f7:ab:b6:8d:d6:d5:69:fc:f7:63:e5:80:cc:e3:4c:33:b4:c9:54:
      9a:3c:92:90:68:9f:d0:ac:74:88:40:e5:b6:ff:e5:9e:a3:5c:3f:fa:
      03:41:ef:1c:4c:6e:93:79:0a:cf:21:4a:90:4b:aa:92:de:46:7f:ff:
      ee:10:93:31:
    Exponent:
      00:01:00:01:

X509v3 extensions:
  x509 Basic Constraints: [critical]
    CA:FALSE
    PathLenConstraint:NULL
  x509 Key Usage: [critical]
    digitalSignature, nonRepudiation, keyEncipherment,
    dataEncipherment, keyAgreement, keyCertSign, cRLSign (0xfe)
  x509 Authority Key Identifier:
    5b:49:e4:96:23:06:47:2c:15:88:2d:cb:a7:86:89:ae:0a:d5:c6:f5:
  x509 Subject Key Identifier:
    4a:4f:45:e9:bb:58:5c:c3:0c:e9:52:c6:4a:e7:1e:db:71:f8:e1:ea:

Signature Algorithm: SHA1WithRSAEncryption
c9:b8:d3:a4:c1:4b:6f:b0:e1:6e:f5:89:87:bc:0d:57:dd:2f:
52:6d:5b:af:44:b9:44:1c:18:c8:78:2a:2d:95:c6:3a:17:1f:
59:d1:42:6e:4f:63:a1:50:65:37:c7:02:d8:5f:19:46:ba:75:
54:8f:1f:d5:d0:55:4b:36:cf:2f:
----- END of Cert Bag -----
```

## ii) 証明書の取込

基準分野横断基盤側が用意した各証明書を移住交流分野横断基盤マシンへインストールする。今回使用する証明書はテスト用となっているため、信頼された証明書として、ブラウザやテストドライバ側で処理するものとする。

## ■ サーバ側取り込み (CA 証明書, サーバ証明書)

用意された CA 証明書を、Windows のキーストアに「信頼されたルート証明機関」として取り込む。

用意されたサーバ証明書を I I S に取り込む。

サーバ証明を行うサイト (PF\_suisin\_SSL\_SVR) のディレクトリセキュリティに、「セキュリティで保護されたチャネル (SSL) を要求する」を設定する。

クライアント証明を行うサイト (PF\_suisin\_SSL\_CLI) のディレクトリセキュリティに、「セキュリティで保護されたチャネル (SSL) を要求する」及び、「クライアント証明書を要求する」を設定する。

## ■ クライアント側取り込み (CA 証明書, クライアント証明書)

「証明書インポートウィザード」を使用し、ブラウザへ信頼されたルート証明機関として登録する。

用意されたクライアント証明書を、Windows のキーストア「個人」に取り込む。但し、今回使用したリクエストは、WebApplication として動作する為、ローカルユーザのキーストアは参照出来ない。よって、ローカルコンピュータのキーストアを対象として、上記の取り込みを行う。

リクエスト機能は、ローカルコンピュータのキーストアに登録されたクライアント証明書を用いて、サーバとの暗号化通信を行う。

なお、利用する証明書の指定は、“¥web¥pf-suisin¥pf\_suisin\_client¥App\_Data¥File\_In”に配置し、クラス「PFsuisin.SyncService」のメソッド「Sync2way」に記述する。

```
System.Net.ServicePointManager.ServerCertificateValidationCallback = new System.Net.Security.RemoteCertificateValidationCallback(OnRemoteCertificateValidationCallback);

if (TestNo == "32")
{
    string certPath = "D:¥¥H20 実証実験資産¥¥web¥¥pf-suisin¥¥pf_suisin_client¥¥App_Data¥¥File_In¥¥pf-kijyun1-cli.cer";
    this.ClientCertificates.Add
    (
        System.Security.Cryptography.X509Certificates.X509Certificate.CreateFromCertFile(certPath)
    );
}
}
```

## ④ その他

検証機器にはシステム保護のためウイルス対策ソフト「ServerProtect」のインストールを行う。

## (3) テストデータ

## ① TM1\_IN.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PF サイト間電子封筒形式>
<共通ヘッダ>
<受付番号>20090127IJU@0001 </受付番号>
</共通ヘッダ>
<メッセージ属性>
<属性名>userID</属性名>
<属性値>pf0001</属性値>
</メッセージ属性>
<メッセージ属性>
<属性名>地域情報プラットフォーム相互接続検証用メッセージ</属性名>
<属性値>移住交流促進  情報提供</属性値>
</メッセージ属性>
</PF サイト間電子封筒形式>

```

## ② TM1\_OUT.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PF サイト間電子封筒形式>
<共通ヘッダ>
<受付番号>20090127IJU@0001 </受付番号>
<業務サービス結果情報>100</業務サービス結果情報>
<結果情報>0</結果情報>
</共通ヘッダ>
<メッセージ属性>
<属性名>userID</属性名>
<属性値>pf0001</属性値>
</メッセージ属性>
<メッセージ属性>
<属性名>地域情報プラットフォーム相互接続検証用メッセージ</属性名>
<属性値>移住交流促進  情報提供</属性値>
</メッセージ属性>
</PF サイト間電子封筒形式>

```

## ③ 受領 Ack.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<受領 Ack>
<共通ヘッダ>
<受付番号>20090127IJU@0001</受付番号>
<業務サービス結果情報>100</業務サービス結果情報>
<結果情報>0</結果情報>
</共通ヘッダ>
<受領ステータス>0</受領ステータス>
<受領日時>
<日付>
<年>2009</年>
<月>01</月>
<日>27</日>
</日付>
<時>18</時>
<分>00</分>
<秒>00</秒>
</受領日時>
</受領 Ack>

```

④ TM1\_IN\_attached.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PF サイト間電子封筒形式>
<共通ヘッダ>
<受付番号>20090127LJU@0001</受付番号>
</共通ヘッダ>
<メッセージ属性>
<属性名>userID</属性名>
<属性値>pf0001</属性値>
</メッセージ属性>
<メッセージ属性>
<属性名>地域情報プラットフォーム相互接続検証用メッセージ</属性名>
<属性値>移住交流促進  情報提供</属性値>
</メッセージ属性>
<添付書類>
<添付書類名称>モニターツアー情報提供その1</添付書類名称>
<添付書類ファイル名称>attached.txt</添付書類ファイル名称>
<添付書類内容>
>gZqDgoNqg16BW4Njg0GBW5Xl1eXdo2AgZoNCg0KDQqCUIFEjcONc4r6itSBaYr6k/qBag0
KgUCBQIFAKm6I5oLJguaCwYLEjcONc4r6k/qCqojZgsiC6IFBglGUKYJSk/qBYIJSJGCU5P
6gsyDdoOJg5OC8IKyl3CI04K1gsSCqILogtyCt4FCDQqBQIFAgUCKZZJuiOaCzIngg4mDVo
LwljGPxpK4gq2CqYFBklOTlo7SgtyCxYKoluKNh4K5ibqCs4KigUIgDQqCUYFEkdiN3ZJuI
A0KgUCBQIFAMGgJzI5SjKeTY5XTjnOBQY2Ckm2Mp466jMuOc4FBjq2OmZOHjKeORpaA
kOyT4I5zqgmC54KokUmC0Ym6grOCooFCIA0KglKBR19olJGJ04+KDQqBQIFAgUCKZZJui
OaCzI3DjXODdoOJg5OCyYlmgSGCxljZgsiC6ILegreCqoFBjMOWr4nGguKDgoNqg16BW4N
ug0WDWIFB17eK2ZOZgsyPaJSRjnuQ3YFBjPaJY457kN2CxoLlGuiC3IK3gUKBlo/ajdeCyYL
CgqKCxILNUGSU5OWjtKCyYKokHGcy4Ktgr6Cs4KiIIFCIA0KglOBRI5RicGP8IyPIA0Kg
UCBQIFADQqCVIFEFyCtY2egt2BWZDYDQqBQIFAgUCVvZCsglGCUJROglCMjOjYk/qBa
YvggWoNCg0KDQoNCoGcgrKIxJPggWmVS4K4gqiTx4LdibqCs4KigWoNCg0KDQqCUIFEiV
6JY47lkwNCoFAGUCBQJZ7jpaLxolNgXWVvZCsglGCT5ROk3iBQJJuiOaP7pXxg3aDiYNi
g2eDdINgVuDgJCEkGmOlovGgUCSbojmioiQq4m7laqW7IFpiNqPWofFFjPCXrI54iYeBaoF2
gsmCxIFBkY2WsY/IDQqBQIFAGsyIz5H1gvCO84KvgUGBaYqUgWqVeI5tksqRjYykgqqK6Yn
mgUWJXoljgrWCxIKigumOwI/YjsCMsYLFgreBQg0KgUCBQIFAgZaWe46Wi8aCzZe3jXOPp
JVpgsWczYKygrSCoolcgrmC8YLMgsWBQZe3jXOLxpZAgSiC54LRgsmXt41zi8aW8Yq8gsyT
S5dwik+CxoLlGuiC3IK3gUKKZY6pgsmCxI+dilENCofAGUCBQIFAlduMr5OZgtaCsonBk/yC
rYK+grOCooFCDQqCUYFEIO+XcILMgqiOeJWllfuWQA0KgUCBQIFAJlGJwY7SjliS6ILMgq
iSbYLngrmCxoLlGguCCyYFBgqiOeJWllfuWQILwgrKYQZeNgqKCvYK1gtyCt4FCDQqCUoF
Elc+NWILGkoaOfg0KgUCBQIFAlXORqoLMjpaR11LJguaC6IFBg4KDaoNegVuDY4NBgVuC
zi3DjXOCqpXPjViBRZKGjn6CxoLlGsgCvY/qjYeCyYKogquC3IK1gsSCzYFBk+CXZYLLigieC
0YLJj/CMj4LwgrKS8Y6mDQqBQIFAgrWBQY+zkfiC8IKoiuiCooK3gumP6o2HgqqCsoK0gqK
C3IK3gUKCu4LMjduCyYLnUGOlo/ugvCCspedifCCzI/jgUGCoILngqmCtoLfrKXuY+zgq2
CvoKzqgKC3IK3guaCpIKoiugNCoFAGUCCopBcgrWP44KwgtYct4FCDQqCU4FEjlgJwY6Ri
mkgDQqBQIFAgUCWe46Wi8aCzZGNlrGPyILMiM+R9Y6Wi8aCyYlmgumOwI/YjsCMsYLM
gr2C34FBP4OJgVuDaoOTg0+O8411gsiC54LRgsmDQYOTg1CBW4NnkrKNuIFBg4KDaoNe
gVuDY4NBgVuCyQ0KgUCBQILCgqKCxILMg0GDk4NQgVuDZ5KyjbiBaYNxg0GDioOTg0+
K3ILegWqCyYKy6aXzYKigr2CvoKrgtyCt4FCDQoNCg==</添付書類内容>
</添付書類>
<添付書類>
<添付書類名称>モニターツアー情報提供その2</添付書類名称>
<添付書類ファイル名称>attached.pdf</添付書類ファイル名称>
<添付書類内容>※PDFファイルをBASE64エンコーディングした値をセット</添付書類内
容>
</添付書類>
</PF サイト間電子封筒形式>

```

⑤ TM1\_OUT\_attached.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PF サイト間電子封筒形式>
<共通ヘッダ>
<受付番号>20090127LJU@0001</受付番号>
<業務サービス結果情報>100</業務サービス結果情報>
<結果情報>0</結果情報>
</共通ヘッダ>
<メッセージ属性>
<属性名>userID</属性名>
<属性値>pf0001</属性値>
</メッセージ属性>
<メッセージ属性>
<属性名>地域情報プラットフォーム相互接続検証用メッセージ</属性名>
<属性値>移住交流促進  情報提供</属性値>
</メッセージ属性>
<添付書類>
<添付書類名称>モニターツアー情報提供その1</添付書類名称>
<添付書類ファイル名称>attached.txt</添付書類ファイル名称>
<添付書類内容>
>gZqDgoNqg16BW4Njg0GBW5Xlj1eXdo2AgZoNCg0KDQqCUIFEjcONc4r6itSBaYr6k/qBag0
KgUCBQIFAKm6I5oLJguaCwYLEjcONc4r6k/qCqojZgsiC6IFBglGUkYJsk/qBYIJSIJGCU5P
6gsyDdoOJg5OC8IKyl3CI04K1gsSCqLLogtyCt4FCDQqBQIFAgUCKZZJuiOaCzINgg4mDVo
LwjIGPxpK4gq2CqYFBklOTlo7SgtyCxYKoluKNh4K5ibqCs4KigUIgDQqCUYFEkdiN3ZJuI
A0KgUCBQIFAmGGJzI5SjKeTY5XTjnOBQY2Ckm2Mp466jMuOc4FBjq2OmZOHjKeORpaA
kOyT4I5zqgmC54KokUmC0Ym6grOCooFCIA0KglKBRI9oLJGJ04+KDQqBQIFAgUCKZZJui
OaCzI3DjXODdoOJg5OCyYlmsgCcxIjZgsiC6ILcgreCqoFBjMOWr4nGguKDgoNqg16BW4N
ug0WDWIFB17eK2ZOZgsyPaJSRjnuQ3YFBjPaJY457kN2CxoLIgUI3IK3gUKBlo/ajdeCyYL
CgqKCxILNgUGSU5OWjtKCcYKokHGcy4Ktgr6Cs4KiIIFCIA0KglOBRI5RicGP8IyPIA0Kg
UCBQIFADQqCVIFEkFyCtY2egt2BWZDYDQqBQIFAgUCVvZCsglGCUJROglCMjOJYk/qBa
YvggWoNCg0KDQoNCcGcgrKixJPggWmVS4K4gqiTx4LdibqCs4KigWoNCg0KDQqCUIFEiV
6JY47lkwNCoFAGUCBQJZ7jpaLxolNgXWVvZCsglGCT5ROk3iBQJJuiOaP7pXxg3aDiYNi
g2eDdINIGVuDgJCEkGmOlovGgUCSbojmioiQq4m7laqW7IFpiNqPwOFFjPCXrI54iYeBaoF2
gsmCxiFBkY2WsY/IDQqBQIFAgSyIz5H1gvCO84KvgUGBaYqUgWqVeI5tksqRjYykgqqK6Yn
mgUWJXoljgrWCxiKigumOwl/YjsCMsYLFgreBQg0KgUCBQIFAgZaWe46Wi8aCzZe3jXOPp
JVpgsWCzYKygrSCoolcgrmC8YLMgsWBQZe3jXOLxpZAgSiC54LRgsmXt41zi8aW8Yq8gsyT
S5dwik+CxolIguiC3IK3gUKKZY6pgsmCxi+dilENCoFAGUCBQIFAlduMr5OZgtaCsonBk/yC
rYK+grOCooFCDQqCUYFEIO+XcILMgqiOeJWllfuWQA0KgUCBQIFAJlGJwY7SjI6ILMgq
iSbYLngrmCxoLGguCCyYFBgqiOeJWllfuWQILwgrKYQZeNgqKCvYK1gtYct4FCDQqCUoF
Elc+NWLIGkoaOfg0KgUCBQIFAIxorqoLMjpaR1ILJguaC6IFBg4KDaoNegVuDY4NBgVuC
zI3DjXOCqpXPjViBRZKGjn6CxoLlgsGCvY/qjYeCyYKogquC3IK1gsSczYFBk+CXZYLlGueC
0YLJj/CMj4LwgrKS8Y6mDQqBQIFAgrWBQY+zkfiC8IKoiuiCooK3gumP6o2HgqqCsoK0gqK
C3IK3gUKCu4LMjduCyYLnGUGOlo/ugvCCspedifCCzI/jgUGCoILngqmCtoLfrKXuY+zgq2
CvoKzqgKC3IK3guaCpIKoiugNCoFAGUCCopBegrWP44KwgtYct4FCDQqCU4FEjlgJwY6Ri
mkgDQqBQIFAgUCWe46Wi8aCzZGNlrGPyILMiM+R9Y6Wi8aCyYlmgumOwl/YjsCMsYlMg
gr2C34FBP4OJgVuDaoOTg0+O8411gsiC54LRgsmDQYOTg1CBW4NnkrKNuIFBg4KDaoNe
gVuDY4NBgVuCyQ0KgUCBQILCgqKCxILMg0GDk4NQgVuDZ5KyjbiBaYNxg0GDioOTg0+
K3ILegWqCyYKy6aXzYKigr2CvoKrgtyCt4FCDQoNCg==</添付書類内容>
</添付書類>
<添付書類>
<添付書類名称>モニターツアー情報提供その2</添付書類名称>
<添付書類ファイル名称>attached.pdf</添付書類ファイル名称>
<添付書類内容>※PDFファイルをBASE64エンコーディングした値をセット</添付書類内
容>
</添付書類>
</PF サイト間電子封筒形式>

```

### 5.1.2 検証項目および結果

#### (1) スケジュール

相互接続検証スケジュールを以下に示す。

表 3-7 相互接続検証スケジュール

フェーズ	11月	12月	1月
開発 (基準分野横断基盤)	—————		
開発 (移住交流分野横断基盤)	—————		
事前検証(TM1)、総合テスト& 相互接続検証(TM1, 2, 3, 4)			1/27 ○

■事前検証（機器設置、環境確認、テストパターン TM1 検証）

1月27日（火） 17:00～17:30

■総合テスト&相互接続検証（テストパターン TM1～4 検証、チェックリスト記入）

1月27日（火） 17:30～19:00

(2) 検証結果

3章の実施手順にそって実施した相互接続検証の TM1, 2, 3, 4 の結果を以下に示す。

ア. TM1

①チェックリスト

表 3-8 TM1 チェックリスト

No.	項目	確認	実施日	確認	確認データ項目
1	(TM1) : PF通信 + PF規定のXMLパターン				
	同期通信に相当するメッセージ	同期通信に相当するメッセージが実行できたこと	2009.01.27	OK	
1-1	リクエスト 【送信メッセージ】	指定したエンドポイントに送信していること。	2009.01.27	OK	
1-2	XML	送信したメッセージがXML (TM1-IN用テストデータXML) の内容と同じであること。	2009.01.27	OK	TM1_IN.xml
1-3	ドキュメント/リテラル	ドキュメント/リテラル形式のXMLをリクエストメッセージとして送受信して問題が無いこと。	2009.01.27	OK	
1-4	日本語タグ	日本語タグを含むXMLをリクエストメッセージとして送受信して問題が無いこと。	2009.01.27	OK	
1-5	規定されたかなを含む	TM1-IN用テストデータですべて確認するようにする 値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	共通ヘッダ、メッセージ属性、添付ファイル名称
1-6	規定された漢字を含む	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	受付番号、属性名/属性値(2バイト系)、添付書類、添付書類名称、添付書類内容
1-7	タグ内の値	日本語タグ値を含むXMLを送受信して問題が無いこと。	2009.01.27	OK	
1-8	表示可能1バイトコードのみ	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	受付番号、属性名/属性値(1バイト系)、添付ファイル名称
1-9	表示可能2バイトコードのみ	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	属性名/属性値(2バイト系)、添付書類名称
1-10	空白(全角)を含む	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	メッセージ属性2バイトエリア(属性値)
1-11	レスポンス 【受信メッセージ】	同期通信のレスポンスメッセージとして送受信して問題がないこと。	2009.01.27	OK	
1-12	XML	同期応答したメッセージがXML (TM1-OUT用テストデータXML) の内容と同じであること。	2009.01.27	OK	TM1_OUT.xml
1-13	ドキュメント/リテラル	ドキュメント/リテラル形式のレスポンスメッセージとして送受信して問題がないこと。	2009.01.27	OK	
1-14	日本語タグ	日本語タグを含むXMLを受信して問題が無いこと。	2009.01.27	OK	
1-15	規定されたかなを含む	TM1-OUT用テストデータですべて確認するようにする 値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	共通ヘッダ、メッセージ属性、添付ファイル名称、業務サービス結果情報
1-16	規定された漢字を含む	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	受付番号、結果情報、属性名/属性値(2バイト系)、添付書類、添付書類名称、添付書類内容
1-17	タグ内の値	日本語タグ値を含むXMLを送受信して問題が無いこと。	2009.01.27	OK	
1-18	表示可能1バイトコードのみ	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	受付番号、属性名/属性値(1バイト系)、添付ファイル名称
1-19	表示可能2バイトコードのみ	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	属性名/属性値(2バイト系)、添付書類名称
1-20	空白(全角)を含む	値が正しく送信できること。	2009.01.27	OK	メッセージ属性2バイトエリア(属性値)

イ. TM2

①チェックリスト

表 3-9 TM2 チェックリスト (1/2)

No.	項目	確認	実施日	確認	確認データ項目
2	(TM2) : PF通信のMEP基本テスト(3種類)				
	リクエスト型同期受領Ackあり		2009.01.27	OK	
	正常系				
	リクエストに対して受領処理を実施し同期で受領アックを返す				
2-1-1	要求メッセージ	TM2-1 IN用テストデータは、TM1-INと同じとする。	2009.01.27	OK	TM1_IN.xml
2-1-2	受付番号		2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-1-3	リクエストXMLが正しくリクエスト		2009.01.27	OK	
2-1-4	受領Ack		2009.01.27	OK	受領Ack.xml
2-1-5	受付番号		2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-1-6	結果情報		2009.01.27	OK	0
2-1-7	受領Ackの各項目		2009.01.27	OK	受領Ack.xml内の項目
	リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス	TM2-2 IN用テストデータは、TM1-INと同じとする。	2009.01.27	OK	
	正常系				
	リクエストに対して同期でレスポンスを返す。				
2-2-1	要求メッセージ		2009.01.27	OK	TM1_IN.xml
2-2-2	受付番号		2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-2-3	リクエストXMLが正しくリクエスト		2009.01.27	OK	
2-2-4	応答メッセージ	TM2-2 OUT用テストデータは、TM1-OUTと同じとする。	2009.01.27	OK	TM1_OUT.xml
2-2-5	受付番号		2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-2-6	結果情報		2009.01.27	OK	0
2-2-7	業務サービス結果情報		2009.01.27	OK	100
2-2-8	レスポンスXMLが正しくレスポンス		2009.01.27	OK	

表 3-10 TM2 チェックリスト (2/2)

No.	項目	確認	実施日	確認	確認データ項目
	リクエスト・レスポンス型同期型受領Ack+非同期型レスポンス		2009.01.27	OK	
	正常系				
	リクエストに対して受領処理を実施し、同期で受領アックを返し、その後、非同期で応答メッセージを返す。				
2-3-1	要求メッセージ	正常に要求メッセージが送信できること。	2009.01.27	OK	TM1_IN.xml
2-3-2	受付番号	受付番号の値が設定されていること。	2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-3-3	リクエストXMLが正しくリクエスト	リクエストXMLが正しくリクエストされること。	2009.01.27	OK	
2-3-4	要求の受領Ack	正常に受領Ackを受信できること。	2009.01.27	OK	受領Ack.xml
2-3-5	受付番号	要求元で設定された値が引き継がれていること。	2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-3-6	結果情報	正常（0）終了が設定されていること。	2009.01.27	OK	0
2-3-7	受領Ackの各項目	受領Ackの各項目が正しく設計されていること。	2009.01.27	OK	受領Ack.xml内の項目
2-3-8	応答メッセージ	正常に要求メッセージが送信できること。	2009.01.27	OK	TM1_OUT.xml
2-3-9	受付番号	要求元が採番した受付番号の値が引き継がれ設定されていること。	2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-3-10	業務サービス結果情報	業務的な処理結果が設定されていること。	2009.01.27	OK	100
2-3-11	リクエストXMLが正しくリクエスト	リクエストXMLが正しくリクエストされること。	2009.01.27	OK	
2-3-12	応答の受領Ack	正常に受領Ackを受信できること。	2009.01.27	OK	受領Ack.xml
2-3-13	受付番号	要求元が採番した受付番号の値が引き継がれ設定されていること。	2009.01.27	OK	20090127IJJU@0001
2-3-14	結果情報	正常（0）終了が設定されていること。	2009.01.27	OK	0
2-3-15	受領Ackの各項目	受領Ackの各項目が正しく設計されていること。	2009.01.27	OK	受領Ack.xml内の項目

ウ. TM3

①チェックリスト

表 3-11 TM3 チェックリスト

No.	項目	確認	実施日	確認	確認データ項目
3	(TM3) : PF通信+ SSL (サーバ認証、クライアント認証)				
	サーバ認証	TM3のテストデータは、TM1と同じとする。	2009.01.27	OK	
3-1-1	サーバ認証書がサーバ側にインストールされている				
	HTTPSで通信する	正常に通信できると共に電文が暗号化されていること。	2009.01.27	OK	エンドポイントURLに対して、https://〜でアクセスでき、http でエラーとなる
	サーバ認証+クライアント認証		2009.01.27	OK	
	サーバ認証書がサーバ側にインストールされている				
	クライアント認証書がクライアント側にインストールされている				
3-2-1	HTTPSで通信する	正常に通信がSSLクライアントとして認証されできると共に電文が暗号化されていること。	2009.01.27	OK	エンドポイントURLに対して、https://〜でアクセスでき、http でエラーとなる

※「暗号化されていること」の確認方法としては、「Wireshark」等のツールを使用して、パケットモニタリングを実施する。

エ. TM4

①チェックリスト

表 3-12 TM4 チェックリスト

No.	項目	確認	実施日	確認	確認データ項目
4	(TM4) : PF通信+PF規定添付ファイル				
	[Type] 本文と添付 (本文内に埋め込み) 型	TM4のテストデータは、TM1と同じで、最後に添付のタグが2つあるとする。	2009.01.27	OK	
	添付ファイルの種類				
4-1-1	テキストデータ	送信でき、受信側で当該データを取り出せること。	2009.01.27	OK	TM1_IN_ attached.xml又はTM1_OUT.xml内添付書類ファイル名称タグ (attached.txt)
4-1-2	画像データ (PDF)	送信でき、受信側で当該データを取り出せること。	2009.01.27	OK	TM1_IN_ attached.xml又はTM1_OUT.xml内添付書類ファイル名称タグ (attached.pdf)
	Base64エンコーディング				
4-1-3	エンコーディングされている	送信でき、エンコーディングされている情報で受信側できること。	2009.01.27	OK	TM1_IN_ attached.xml又はTM1_OUT.xml内添付書類内容タグ
	添付ファイルのファイル名称				
4-1-4	付与されている	付与されたファイル名称で、受信側にファイルが作成されること。	2009.01.27	OK	attached.txt, attached.pdf

## 6. 実証実験成果に関する普及啓発に係る活動の実施の報告

### 6.1 プロモーション活動

#### 6.1.1 イベントにおけるプロモーション

##### (1) 「海外ロングステイ・国内デュアルライフフェア 2008」へのブース出展

2008年11月29日（土）に東京ビッグサイト会議棟で開催された「海外ロングステイ・国内デュアルライフフェア 2008」

（主催：財団法人ロングステイ財団、株式会社日本経済新聞社）に、本事業を紹介するブースを出展し、事業のプロモーションを行った。

展示ブースでは、実証フィールドである3自治体（和歌山県田辺市、高知県室戸市、鹿児島県薩摩川内市）で制作した、地域を紹介するコンテンツデータを放映すると共に、本事業の概要を記したチラシや3自治体を紹介するパンフレット等を来場者に配布し、来場者の興味に応じた情報提供を実施した。

当日は、全国から7,113名（来場者登録を希望しなかった者を除く）の来場者があり、本事業の展示ブースにも多くの来場者が立ち寄り、本事業の取組内容と3自治体への移住・交流に対して、興味関心を示された。



#### 6.1.2 インターネットを活用したプロモーション

##### (1) 移住・交流推進機構との協力・連携

地域と都市の移住・交流に役立つ情報や地方生活の魅力を発信する移住・交流推進機構（以下、JOIN）のサイト利用者は、その多くが、移住交流に関心があり、サイトに訪問していると考えられる。その利用者に対して本事業のプロモーションを行うことは、より効果的であると判断し、バナー広告を作成し、JOINのホームページ上に掲載した。

##### (2) 財団法人全国地域情報化推進機構との連携

財団法人全国地域情報化推進機構（以下、APPLIC）のAPPLIC通信に本事業の紹介を掲載し、APPLICの会員に対して告知を行った。

##### (3) オプトインメールの配信

オプトインメールは、ダイレクトメールの一種であり、利用者にあらかじめ受け取りを許可するジャンルを登録してもらい、そのジャンルのメールのみを送るサービスである。このサービスを利用することで、ターゲットをある程度絞った効果的なプロモーションが可能になる。

本事業では、このサービスを活用し、移住・交流に関心の高い登録者層に対してメールの配信を実施した。

送信対象者は、首都圏1都3県（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）に在住する45歳以上の男女、かつ「旅行・レジャー」「地域限定情報」「エコロジー」「不動産」を受け取りたいジャンルとして登録している方とし、12月に計28,725通の配信を行った。

配信から1週間の間に548人が移住・交流ポータルシステムへのリンクをクリック（延べ804クリック）した他、本事業や実証フィールドである3自治体に関する問合せも電話・メール等で寄せられた。

---

**(4) NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会等のインターネット市民塾との連携**

NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会は、インターネットを活用して地域に根ざした生涯学習の普及を行っている団体である。この地域学習プラットフォーム研究会の活動と連携することで、全国のインターネット市民塾の関係者・利用者に向けた本事業のプロモーションや、交流づくりを実施した。

**(5) 関連するサイトとのリンク**

各フィールド自治体のサイトでの情報提供、また本事業と関係する以下のサイトにリンクを貼ることで、より多くの移住交流に関心を持つ人、また地域住民に対して本事業に関する情報提供を実施した。

各フィールド自治体においては、市の既存事業等とうまく連携しながら、主として地域住民に向けたプロモーション活動を実施した。

**① 和歌山県田辺市**

田辺市の公式ホームページ上に本事業の情報を提供することに加え、和歌山県が公式に提供する「田舎暮らし応援県わかやま」に情報を掲載した。

また、2009年1月10日に相田みつを美術館（東京国際フォーラム内）において実施された『「熊野で暮らす」わかやま田舎暮らしセミナー』において、本事業のプロモーション活動を実施した。

**② 高知県室戸市**

高知県の公式ホームページ内に移住サイト「高知で暮らす」のページに、本事業の情報を掲載した。

**③ 鹿児島県薩摩川内市**

薩摩川内市では、薩摩川内市への移住・UJI ターンの案内を目的とした「よかまちきやんせ倶楽部」を会員組織として有しており、その会員に対する定期メールを活用し、本事業の情報の提供を実施した。

また、薩摩川内市の公式ホームページでも、本事業の告知を行った。